

学 生 要 覧
(令和 2 年度)



次

目 次

年間行事予定表		P. 4
学 章		P. 6
建 学 の 精 神		P. 6
教 育 理 念		P. 6
ディプロマ・ポリシー		P. 7
カリキュラム・ポリシー		P. 8
アドミッション・ポリシー		P. 9
学 院 歌		P. 10
聖母マリアへの賛歌		P. 10
沿 革		P. 11
大 学 の 組 織		
学校法人組織図・大学組織図		P. 12
教員一覧		P. 13
学 生 生 活		
学生生活の基本		P. 17
学生生活で守るべきこと		P. 19
学生サービス・支援・相談		P. 20
奨学金について		P. 24
課外活動等について		P. 26
学生自治について		P. 27
事務手続きについて		P. 28
図書館利用案内		P. 30
コンピュータシステム利用案内		P. 32
学 則		
履 修 要 項		
I 履 修		P. 49
II 授 業		P. 52
III 試 験		P. 55
IV 成績評価		P. 57

目 次

カリキュラム

英語観光学科	P. 61
--------	-------

令和2年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

令和元年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

平成30年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

平成29年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

海星キッズイングリッシュプログラムについて

教職に関する授業科目一覧（中学校・高等学校教諭1種免許状〔英語〕）

心理こども学科	P. 81
---------	-------

令和2年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

令和元年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

平成30年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

平成29年度入学生適用 授業科目一覧と卒業要件

平成30年度以前入学生適用 読替科目

教 職 課 程	P. 101
---------	--------

資 格 課 程	P. 143
---------	--------

保育士

情報処理士

実践キャリア実務士

観光ビジネス実務士・観光実務士（令和2年度入学生より、資格名称変更）

認定心理士

公認心理師

講 義 概 要（シラバス）	P. 165
---------------	--------

共通科目

専門科目（英語観光学科）

専門科目（心理こども学科）

教職に関する科目（英語観光学科）

規 程 一 覧	P. 339
---------	--------

シラバス索引 科目コード順	P. 349
---------------	--------

五十音順	P. 356
------	--------

建物配置図	P. 365
-------	--------

2020(令和2)年度 年間行事予定表(学生用)

春学期

授業日 補講日 日祝日 追再試

2020

4 <April>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 <May>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6 <June>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7 <July>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 <August>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 <September>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 4月 1日 入学式
2日 新入生オリエンテーション(～3・6・7・9日)
6日 2～4年次生履修登録説明会
春学期教科書一次販売(～8日)
履修登録(～8日)
8日 春学期授業開始
15日 履修登録変更期間(～17日)
16日 春学期教科書二次販売(～17日)
26日 OC
30日 履修取消最終日
教科書返本締切

- 5月 15日 <大学行事日> 1～3年次研修

- 6月 7日 OC(個別相談型)
20日 教育懇談会・後援会総会

- 7月 5日 OC(個別相談型)
15日 卒業研究計画書提出締切日
18日 第1回 TOEIC
19日 OC
26日 OC
27日 秋学期教科書一次販売(～29日)

- 8月 3日 試験実施週(～7日)
8日 OC
12日 追試験(・13日)
16日 OC
20日 春学期試験合否発表・再試験者手続(・21日)
23日 OC
24日 再試験(・25日)
28日 再試験合否発表
30日 OC

- 9月 18日 春学期卒業式
21日 秋学期授業開始 敬老の日(通常授業あり)
22日 秋分の日(通常授業あり)
26日 入試(登校禁止)
27日 OC
28日 履修登録変更期間(～30日)
29日 秋学期教科書二次販売(～30日)

※OC：オープンキャンパス

予定は変更されることがありますので、掲示や諸連絡に留意してください。

2020(令和2)年度 年間行事予定表(学生用)

秋学期

授業日 補講日 日祝日 追再試

10 <October>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 <November>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 <December>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2021

1 <January>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 <February>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 <March>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月 21日 秋学期授業開始 敬老の日(通常授業あり)
 22日 秋分の日(通常授業あり)
 26日 入試(登校禁止)
 27日 0C
 28日 履修登録変更期間(～30日)
 29日 秋学期教科書一次販売(～30日)

10月 11日 入試(登校禁止)
 16日 履修取消最終日
 教科書返本締切
 16日 4年次研修(～17日)
 18日 入試(登校禁止)
 24日 大学祭準備日
 25日 大学祭
 「大学祭」参加型 0C
 26日 大学祭後片付け(通常授業なし)

11月 8日 入試(午前中登校禁止)
 午後0C(個別相談型)
 21日 入試(登校禁止)
 22日 入試(登校禁止)
 23日 勤労感謝の日(通常授業あり)

12月 8日 大学創立記念日(通常授業あり)
 13日 入試(午前中登校禁止)
 午後0C(個別相談型)
 17日 <大学行事日> クリスマスミサ(1年次生)
 クリスマスキャロル
 クリスマスキャロル参加型0C
 18日 補講日(通常授業なし)
 22日 年内授業最終日
 23日 補講日(通常授業なし)
 24日 補講日(通常授業なし)
 25日 クリスマス(窓口閉鎖)
 26日 冬季休業開始

2021

1月 7日 秋学期授業再開
 15日 卒業研究提出締切
 16日 大学入学共通テスト(～17日)(登校禁止)
 23日 第2回 TOEIC
 24日 入試(登校禁止)
 26日 試験実施週(～2月1日)
 31日 入試(午前中登校禁止)
 午後0C(個別相談型)

2月 3日 追試験(～4日)
 9日 入試(登校禁止)
 12日 秋学期試験合否発表
 卒業研究合否発表
 再試験者・卒研再提出者手続(・15日)
 14日 キリスト教海外研修(8泊9日) 予定
 17日 再試験(・18日)
 卒業研究再提出締切
 23日 入試(登校禁止)
 24日 再試験合否発表

3月 9日 入試(登校禁止)
 11日 卒業感謝ミサ
 同窓会入会式
 卒業式の練習
 13日 卒業式(10:00～)
 午後0C(個別相談型)
 23日 入試(登校禁止)
 28日 0C(個別相談型)

※0C: オープンキャンパス

予定は変更されることがありますので、掲示や諸連絡に留意してください。

学 章



RESPICE STELLAM, VOCA MARIAM 星を見て、マリアの名を呼べ！

この句は昔のある聖人が言ったものです。

神戸海星女子学院大学は、キリストの母であるマリアの名前を大学の名前として持っています。聖母マリアには「海の星」という愛称があり、それが本学の名前になっています。

「海の星」の名前で示されている聖母マリアはすべての女性の理想です。この大学で学ぶ学生たちが、聖母マリアの保護をいただいていることをシンボルとして表しているのが、この学章です。

海は人生を、小舟は人生の旅を、そして飛沫は人生の戦いを表しています。まだ機械文明が発達していなかった昔、大海原を進んで行く船は、いつも夜空に光る星を目印として航海していたものでした。人生という旅路を小さな舟で航海している学生一人ひとり、激しい嵐で方向を見失いそうになることもあるでしょう。そのとき、「海の星」として夜空に輝く星のように、聖母マリアがその船路を導いてくださることを、この学章は表しています。聖母マリアの導きは在学中だけでなく、この^{まなびや}学舎を卒業した後もその小舟と共にあり、ここで学んだ方たちは神の愛に心豊かな者となって、人生の目的地に到達できるでしょう。学章には、人生の目に見えない目標が深く隠されているのです。

建 学 の 精 神

真理と愛に生きるというキリスト教的価値観に基づき、
人を支え、社会に奉仕する女性の育成を目指す。

教 育 理 念

真理を探究して専門分野の学問を学びながら、
知性と感性を身に付け、
世界的視野に立って考え、良識をもって判断し行動できる女性、
また、自らが神から愛された存在であることを知り、人を愛し、
人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成を目指す。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

卒業生全員に求められる共通の人格的素養を「KAISEIパーソナリティ」と定める。



K	Kindness (思いやり)	他者を思いやり、
A	Autonomy (自律)	自己を律し、
I	Intelligence (知性)	知性と奉仕の精神に富み、
S	Service (奉仕)	正しい倫理観と
E	Ethics (倫理)	豊かな国際感覚をもった女性に
I	Internationality (国際性)	

本学の建学の精神、「真理と愛に生きるというキリスト教的価値観に基づき、人を支え、社会に奉仕する女性の育成を目指す」に基づき、教育の理念・目的を「真理を探究して専門分野の学問を学びながら、知性と感性を身に付け、世界的視野に立って考え、良識をもって判断し行動できる女性、また、自らが神から愛された存在であることを知り、人を愛し、人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成を目指す」としている。この考えに基づき、卒業生全員に求められる共通の人格的素養としてKAISEIパーソナリティを定めている。これはKindness (思いやり)、Autonomy (自律)、Intelligence (知性)、Service (奉仕)、Ethics (倫理)、Internationality (国際性)であり、他者を思いやり、自己を律し、知性と奉仕の精神に富み、正しい倫理観と豊かな国際感覚を持った女性になることを目指すものである。

以上の考えを土台として、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を次のように定める。

大学（学部）全体

- ・建学の精神に基づき、愛について学び、社会に奉仕する必要性を理解している。(K, S)
- ・人と共感する感性をもち、異文化を理解し、平和のために協働する姿勢を有する。(K, In)
- ・社会人としての基本的な知識と技能を修得して自律し、正しい倫理観をもって判断する力を有する。(A, I, E)

英語観光学科

- ・英語による高度なコミュニケーション能力を有している。(I, In)
- ・異文化を深く理解し、ホスピタリティに関する知識および実践力を修得している。(K, S, In)
- ・ホテル・航空・旅行等の観光業界や国際ビジネスで活躍するために必要な専門知識及び実践力を修得している。または幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の英語教育に必要な専門知識及び指導技術を修得している。(A, I, E, In)

心理こども学科

- ・子どもの心理と発達に関する専門的知識と技能を修得している。(K, I)
- ・保育や幼児・児童教育に関する専門的知識と技能を修得している。(A, I, E)
- ・現代の子どもの諸問題を多面的に捉えて対処し、保護者も支援できる専門的知識と技能を修得している。(K, A, I, S, In)

※それぞれのディプロマ・ポリシーの末尾のアルファベットは、KAISEIパーソナリティに定める6つの人格的素養のどの部分にあたるかを示している。

各学科の人材育成及び教育目的

英語観光学科

<人材育成>

KAISEIパーソナリティを身に付け、英語力及び異文化理解力を生かし、ホスピタリティ精神を持って、ホテル・旅行等の観光業界や国際ビジネスで活躍することができる人材、又は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の英語教育に貢献することができる人材を育成する。

<教育目的>

英語によるコミュニケーション能力、異文化理解力、ホスピタリティに関する知識及び実践力を養い、ホテル・航空・旅行等の観光業界や国際ビジネスで活躍するために必要な専門知識及び実践力、又は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の英語教育に必要な専門知識及び指導技術を修得する。

心理こども学科

<人材育成>

KAISEIパーソナリティを身に付け、心理学の学びを生かして、子どもだけでなく保護者も支援できる保育士や教師、子どもや子育てにかかわる多様な問題に対応できる人材を育成する。

<教育目的>

子どもの心理と発達、保育や幼児・児童教育に関する専門的知識と技術を修得する。さらに現代の子どもの諸問題を多面的に捉えて対処し、保護者も支援できる専門的知識と技能を修得する。

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)

本学では、建学の精神と教育理念に基づいて、教育目標と学位授与方針の実現のため、共通科目と専門科目から課程を構成しているが、KAISEIパーソナリティを土台としてその編成・実施方針を次のように定めている。

- 1 本学の建学の精神にあるキリスト教に基づいた倫理観を涵養する。
グローバルな視野をもった人間として成長するために、歴史における神と人間との関係を理解し、人間が神に愛されている存在であることを知り、学生が自らの人生観を形成するための一助とする。
(共通科目：キリスト教)
- 2 現代社会で自律した人間として生きるための基礎的な汎用能力を育成する。
他者とのコミュニケーション能力を高めるため、アカデミックスキルを身につけるとともに日本語運用能力と情報活用力を高め、グループで協働して学ぶ力を養う。(共通科目：日本語、情報、外国語)
- 3 思考力を深め、他者の意見に耳を傾け、自ら判断して主体的に行動する力を養う。
問題を発見・検討・解決する能力、自分の考えを伝える能力を育てるために、対話を重視し、課題解決型の授業方法を適宜取り入れる。(共通科目：基礎、総合)
- 4 専門分野において基礎的な学びを出発とし、段階を追って知識の重層的な修得と実践力の向上を目指す。
英語観光学科では
・英語による基本的なコミュニケーション能力（基礎科目）
・クリティカルな思考を英語で表現できる高度なコミュニケーション能力（基幹科目）
・異文化理解力・ホスピタリティに関する知識及び実践力（基礎科目、展開科目）
・観光、英語教育等に関する専門的な知識及び実践力（基幹科目、展開科目）
を修得する。
心理こども学科では
・子どもの心理と発達に関する専門的な知識と技能（心理・臨床・発達）
・保育や幼児・児童教育に関する知識と技能（こどもの生活世界、こども関連）
・現代の子どもの諸問題に対処し、保護者を支援する専門的な知識と技能（資格関連科目）
を修得する。
各分野の特色に応じ、人間理解の広がりや国際的な視野のもと、社会に貢献できる豊かな知識を獲得するよう授業科目を構成する。また、実習・実地研修等、自ら行動して振り返る作業も重視する。演習の場で各自の課題の研究を深め、卒業研究作成を通して4年間の集大成を行う。
- 5 学生一人ひとりの社会における自己実現を支援するため、キャリア教育を重視する。
入学時からコミュニケーション能力の開発をはじめ、卒業にいたるまで、教職員との出会いを大切にするキャリア教育に力を入れる。(共通科目、専門科目)

アドミッション・ポリシー

(入学者受入方針)

現代人間学部のカリキュラム・ポリシー(学位授与の方針)及びその実現プロセスとしてのカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)を土台とした教育を受けるのに適した学生像は本学の入学生全員に求められる資質と各学科の教育目標に対応した資質からなり、以下のとおりである。

全学

- ・キリスト教的価値観に基づいた本学の建学の精神を尊重し、理解を示す。
- ・人と関わり、人と協力することを大切にする。
- ・高等学校で習得すべき基礎学力を有し、論理的に思考し判断する力をもっている。

英語観光学科

- ・英語・異文化を学び、国際化に向かう現代社会でその知識を生かしたい。
- ・英語や観光の専門分野に主体的に取り組み、自ら課題を発見し解決しようとする。
- ・ホスピタリティ精神を学び、奉仕する意欲がある。

心理こども学科

- ・「保育」「教育」「心理学」を学び、現代社会で多様な問題を抱える子どもや大人のために生かしたい。
- ・子どもに愛情をもち、保育士、幼稚園・小学校の教師になるという目的をもっている。
- ・現代の子どもを取り巻く問題に主体的に取り組み、自ら課題を発見し解決しようとする。

高等学校での学びについて

- ・科目全般を通して、基礎学力を身に付けること。
- ・部活動、スポーツ、資格取得等において、各自が関心を持つ分野に努力すること。
- ・何事においても粘り強く取り組む姿勢と熱意を身に付けておくこと。

学 院 歌

mp

1. み や ま 深 山 に 香 る 白 百 合 の
 2. わ だ つ み に 似 る 神 の 愛
 3. み は は 御 母 の 愛 と 徳 の 香 に

け だ か き す が た わ が う ち ち に
 の は ぞ み く て ひ ん り と き し る さ ん じ と 一
 あ い の ふ で も 一 一 て し る さ ん じ と 一
 し た ん り か と み う 一 一 を ひ り と そ う も と に 一
 と い ま と み び ら は の う み の ほ し て ふ よ う の ゆ き の
 あ め の み ほ く に の し さ ゐ る べ と め か み の き め を

き え ぬ ご と と わ な 一 の お 一 と ざ め に せ い ま リ ア ア
 み そ れ け と ま 一 び の お 一 み な せ い ま リ ア ア
 み そ れ け と ま 一 び の お 一 み な せ い ま リ ア ア

1. ^{みやま}深山に香る 白百合の
 気高き姿 わがうちに
 愛の筆もて 記さんと
 といしとびらは 海の星
 芙蓉の雪の 消えぬごと
 永遠のおとめ 聖マリア
2. わだつみに似る 神の愛
 望みて日毎 たゆみなく
 真理の道を 一筋に
 天つみ星の 導べにて
 真暗き時も おそれなく
 学びの業に いそしまなん
3. ^{みはは}御母の愛と 徳の香に
 育まれゆく わが友ぞ
 高く尊き 理想もて
 天の御国の 幸もとめ
 神の恵みを 身にうけて
 全き女性と ならんかな

聖母マリアへの賛歌

1. 希望の歌を 人々に
 心にそっと与えます
 すべての人に母マリア
 優しくみ手を差しのべる
2. 愛の光 人々に
 心にそっと燈します
 ほほえみうかべ母マリア
 すべての人を守ります
3. 平和のしらべ 人々に
 心にそっと奏でます
 すべての人の母マリア
 イエスの光あたえます

$\text{♩} = 88$

C7 F B $\flat$ Gm C C7

1. き ぼ う の う た を
 2. あ い の ひ か り
 3. へ い わ の し ら べ

ひ と び と に こ こ

F B $\flat$ F C F C

ろ に そ 一 つ と { あ た え ま 一 す す
 か な で ま 一 す ほ
 ま 一 す

F C Dm G7 C C7

べ て の ひ と に は は マ リ ア や さ
 ほ え み う か べ は は マ リ ア す べ
 べ て の ひ と の は は マ リ ア イ エ

F B $\flat$ F C F

し く み て を さ し の べ 一 る
 の ひ と を ま も り ま 一 す
 ス の ひ か り あ た え ま 一 す

沿 革

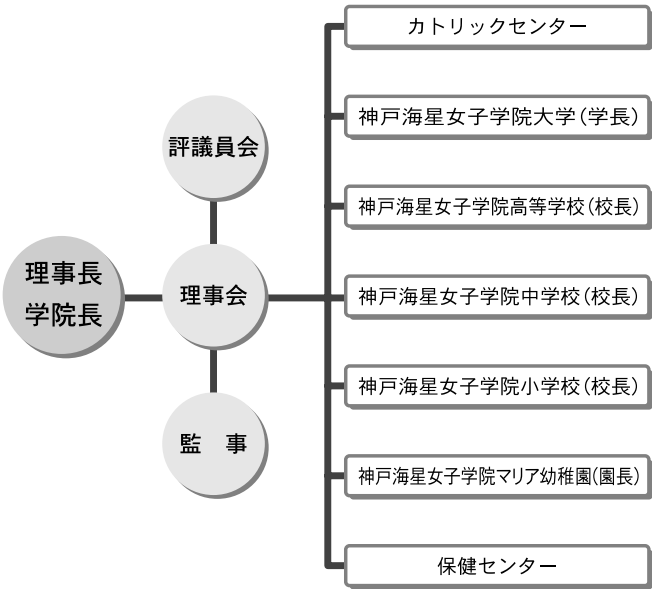
神戸海星女子学院大学は、「マリアの宣教者フランシスコ修道会」というカトリック女子修道会を設立母体としている。マリアの宣教者フランシスコ修道会は、1877年（明治10年）にフランス・ナント市出身のシスター マリ・ド・ラ・パシオンによって、キリストの愛の福音を世界中に伝えることをその目的として創立された。現在、約80の国籍からなる約7,200人のシスターが世界中に派遣され、それぞれの国において献身的に活動している。我が国におけるミッションは、熊本でハンセン病患者の世話をするために1898年に5名の会員が来日したことに始まる。以来、百余年、北は北海道から南は沖縄にいたるまで、約20の修道院で約220名のシスターが奉献生活をしながら、教育や福祉の分野において活動している。

本学の建学の精神は「真理と愛に生きる」であり、イエス・キリストの人間観、世界観、教育観に基づく、キリスト教の理念を根本とした人間の育成が本学の教育の基盤である。

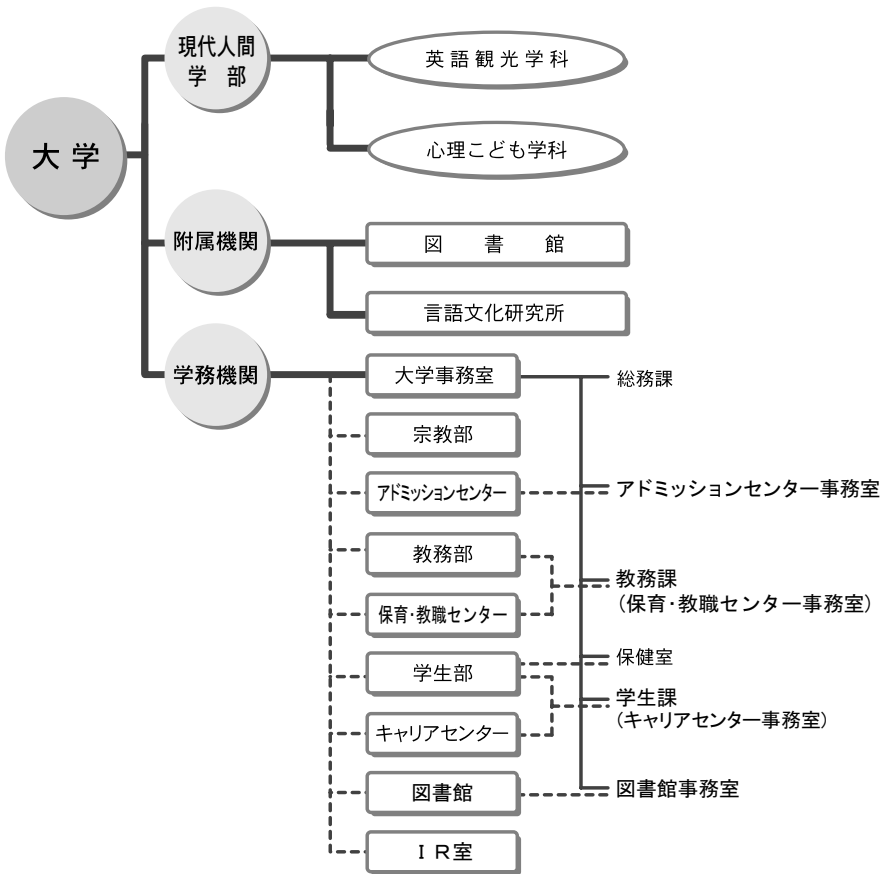
1947年（昭和22年）	神戸市生田区にあった高等聖家族女学校（旧制）の経営を引き継ぐ。この学校が神戸海星女子学院の前身であり、ここから本学院の歴史がはじまる。
1951年（昭和26年）	新学校教育法に則り、学校法人海星女子学院が設立認可され、六甲山麓の現在地（神戸市灘区青谷町）に小学校・中学校・高等学校を開設。
1952年（昭和27年）	海星女子学院マリア幼稚園認可。
1955年（昭和30年）	短期大学英語科開設。
1962年（昭和37年）	短期大学家政科開設。
1965年（昭和40年）	神戸海星女子学院大学文学部開設、英文学科・仏文学科設置。
1966年（昭和41年）	短期大学英語科が大学英文学科に発展解消され、廃止。
1984年（昭和59年）	神戸市須磨区にセミナーセンターを建設、研修・課外活動・全学的行事などに使用。
1985年（昭和60年）	短期大学創立30周年、大学創立20周年記念式典を挙行。
1998年（平成10年）	カリキュラムの内容に合わせて学科名を、英語英米文学科、フランス語フランス文学科と改名。
1999年（平成11年）	短期大学の募集を停止し、その定員を大学に移す。また、学校法人創立50周年記念事業として図書館棟を建築。
2004年（平成16年）	英語英米文学科とフランス語フランス文学科を、国際英語メディア学科、心理こども学科に改組。
2008年（平成20年）	国際英語メディア学科を、英語キャリア学科及び観光ホスピタリティ学科に改編し、心理こども学科と合わせ、3学科体制。 文学部から現代人間学部へ学部名称を変更。
2012年（平成24年）	観光ホスピタリティ学科の募集を停止し、英語キャリア学科・心理こども学科の2学科体制。
2014年（平成26年）	英語キャリア学科を英語観光学科に名称変更。
2015年（平成27年）	大学創立50周年記念式典を挙行。

大学の組織

学校法人組織図



大学組織図



教員一覧

英語観光学科専任教員

教 授		講 師	
石原 敬子	箕野 聡子	Rushton, Andy	佐伯 瑠璃子
宮副 紀子	小野 礼子	吉野 美智子	
酒井 新一郎			
准教授			
堀 正人	一尾 敏正		

心理こども学科専任教員

教 授		講 師	
浅井 由美	濱田 誠二郎	石畠 多恵	森 晴美
南 夏世	中植 満美子		
大岸 啓子	尾崎 秀夫		
准教授		助 教	
佐原 信江	渋谷 美智	中園 佐恵子	

非常勤講師

講 師			
青木 幹生	浅谷 豊	沈 竑	古谷 真樹
後藤 江里	後藤 磨也子	Hall, Angus	花房 雅剛
埴岡 忠清	長谷川 貴子	東内 則子	平田 淳子
久松 睦典	入江 和子	石田 伸子	石井 由美子
石川 慎一	和泉 有香	Jensen, James C.	釜須 久夫
樫本 雄三	片岡 安美子	Kern, Timothy	木村 敦子
木下 奈美	木岡 正雄	狐塚 善樹	國本 恵理香
栗木 契	前田 典子	Mckenzie, Cory	成木 智子
新美 裕之	西橋 隆三	王 嫻	大川 能子
坂口 文馨	佐々木 勝一	澤井 一夫	宋 京珠
惣谷 美智子	須河内 優子	高田 悦子	都賀 純
十倉 利廣	外村 晴美	津田 明子	若生 茂嗣
渡辺 卓也	藪内 順子	山本 博	柳本 有二
安岡 勇輝	米田 里香	由井 敦子	四本 健二

学 生 生 活

学生生活の基本

1. 学籍について
 - (1) 長期欠席
 - (2) 休学
 - (3) 退学
 - (4) 復学
 - (5) 転科
 - (6) その他
2. 学費の納入について
 - (1) 学費について
 - (2) その他
3. 学生証について
 - (1) 取り扱いについて
 - (2) 学生証の利用について
 - (3) 学生証の返還
 - (4) 学生証の再交付
 - (5) 学籍番号について
4. 通学定期券
5. 学生旅客運賃割引証（学割証）
 - (1) 有効期限
 - (2) 学割証使用時の注意

学生生活で守るべきこと

1. 通学
2. 正門および通用門の開閉時間について
3. 服装
4. 金銭および貴重品について
5. マナーについて
6. アルバイト
7. 学内の整備
8. エレベーターの使用について
9. 大学行事
10. 公示・掲示等連絡について
11. 住所・保証人等の変更
12. 国外旅行届
13. 学内における印刷物の設置
14. 集会・掲示
 - (1) 学内外において集会を行う場合
 - (2) 学外活動、合宿、対外試合などを行う場合
 - (3) 掲示物について

学生サービス・支援・相談

1. 学内施設の利用
 - (1) 食堂の利用
 - (2) コモンルームの利用
 - (3) 学生意見箱の利用
 - (4) 購買部（EBOK）の利用
 - (5) ロッカーの利用
 - (6) 教室・教具・器具の利用
 - (7) コピー機の利用
 - (8) 電話の利用
 - (9) 学内無線 LAN（Wi-Fi）の利用
2. 健康管理
 - (1) 定期健康診断
 - (2) 健康相談
 - (3) 禁煙相談
 - (4) 救急処置
 - (5) 学生保険
3. 就職について
 - (1) キャリアセンター
 - (2) 保育・教職センター
4. オフィス・アワー
5. 学生相談室
 - (1) 相談内容
 - (2) 開室時間
 - (3) 相談予約方法
6. サポートルーム Stella について
7. ハラスメント
8. 拾得物の取り扱い

奨学金について

1. 奨学金制度
2. ステラマリス奨学生について

課外活動等について

1. 宗教活動
2. 課外活動
 - (1) 同好会の創設とクラブへの昇格
 - (2) 責任者及び責任者の業務
 - (3) 部長会
 - (4) 課外活動の時間
 - (5) 学内施設の使用

学生自治について

事務手続きについて

図書館利用案内

コンピュータシステム利用案内

学生生活の基本

1. 学籍について

(1) 長期欠席

病気その他やむを得ない理由により、2週間を超え2か月以内継続的に欠席する場合には、長期欠席となります。所定の用紙に必要事項を記入し、保証人連署の上、速やかに教務課に提出してください。

(2) 休学

病気その他やむを得ない理由により、2か月を超えて継続的に欠席する場合には、保証人の承認を得た上で担任教員に相談し、休学を選択したなら、明確にその意思を担任教員に伝えた後、所定の用紙に必要事項を記入し、保証人連署の上、学長に願ひ出てください。なお、病気による場合には、医師の診断書を添えてください。休学期間は1年を超えることはできません。ただし、特別な事由があるときは、学長の許可を得て更に1年以内に限り休学することができます。休学期間は修業年数に通算されません。4年次が終わっても、8学期の修業を満たしていなければ卒業できません。休学が許可されても、その意思を担任教員に伝えた時点ですでに開始している学期（春学期は4月1日、秋学期は9月21日から）については学納金を全額納入しなければなりません。

(3) 退学

病気その他やむを得ない理由により退学しようとする場合には、保証人の承認を得た上で担任教員に相談し、退学を選択したなら、明確にその意思を担任教員に伝えた後、所定の用紙に必要事項を記入し、保証人連署の上、学長に願ひ出てください。なお、退学を希望してもその意思を担任教員に伝えた時点で開始している学期（春学期は4月1日、秋学期は9月21日から）までの学費が納入されていない場合には、除籍になります。退学が許可された場合、学生証、ロッカーの鍵など大学から交付されたものは学生課に返還してください。

(4) 復学

休学者が復学を希望する場合には、所定の用紙に必要事項を記入し、保証人連署の上、学長に願ひ出てください。復学を許可されたときには、教務課で履修について相談してください。

(5) 転科

所属学科から他学科への転科を希望するときは、まず保証人の承認を得た上で、担任教員と相談してください。転科の意思が固まったら、保証人連署の上、転科願を教務課に提出してください。転科の可否は、学長、教務部長、両学科主任による面接と教授会での審議で決定されます。詳しくは「転科に関する規程」を参照してください。

(6) その他

在籍したままで他大学等に転(編)入学することは認められません。

2. 学費の納入について

(1) 学費について

学費は以下のとおりです。詳細は「学費に関する規程」を参照してください。

学 科	費 目	金 額
英語観光学科	入学金	300,000
	授業料(年額)	840,000
	施設設備費(年額)	200,000
心理こども学科	入学金	300,000
	授業料(年額)	840,000
	施設設備費(年額)	200,000

(2) その他

- ・期限を過ぎ、督促を受けても学費を滞納した場合は、学則第43条-(3)により除籍となります。十分注意してください。
- ・休学・退学等にかかわる学費納入の詳細については、経理課に問い合わせてください。
- ・一旦納入された学費は返金しません。
- ・願ひ出により退学する場合でも、当該学期までの学費を完納していなければ、除籍となります。

3. 学生証について

(1) 取り扱いについて

入学時に交付される学生証は、本学の学生であることを証明するものです。次の注意事項を厳守して大切に取扱ってください。

- ①他人に貸与したり、譲渡することはできません。
- ②常時携帯してください。
- ③本学の教職員から呈示を求められたときは、直ちに応じてください。
- ④卒業後もその年度の3月末まで利用可能であるため取り扱いに注意してください。

(2) 学生証の利用について

次の場合に学生証が必要となります。

- ①在学証明書、学業成績証明書、学生旅客運賃割引証など各種証明書の交付を受けるとき
- ②通学定期券を購入するとき
- ③図書館で図書を貸出利用するとき
- ④定期試験・追・再試験を受けるとき
- ⑤レポート課題等の提出、受け取りのとき
- ⑥履修登録をするとき
- ⑦その他本人確認が必要なとき

※仮学生証の発行について

試験当日、学生証を忘れた学生には、教務課で仮学生証を発行します。仮学生証の有効期限は発行当日のみです。当日の試験の終了後直ちに教務課へ返却してください。

(3) 学生証の返還

次の場合には、学生証を学生課へ必ず返還してください。

- ①退学するとき ②除籍されたとき

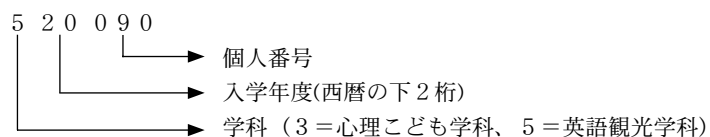
(4) 学生証の再交付

学生証を紛失または汚損した場合は、学生課へ届け出て実費を支払い、学生証再交付願に記入の上、再交付の手続きをしてください。

(5) 学籍番号について

学籍番号は、学生証に記入されている番号と同じです。試験のときや証明書申請のときなどに必要です。

学籍番号の仕組みは、次のようになっています。



4. 通学定期券

通学定期券の購入については「通学証明書」を必要とします。「通学証明書」は、現住所の最寄駅と本学の最寄駅との通学定期券購入の場合にのみ発行します。「通学証明書」は学生課・教務課内の用紙を使用してください。

本学の最寄駅は〔JR→灘・三ノ宮〕、〔阪急→王子公園・六甲〕、〔神戸市バス→青谷（②系統）〕となっています。

※阪急では、大阪方面から定期券を購入する場合、王子公園までしか購入できません。

5. 学生旅客運賃割引証（学割証）

JR線を片道100キロメートルを超えて乗車する場合、普通旅客運賃が2割引となります。

距離によって乗車券の有効日数が違いますので、下記の表を参考に上手に利用してください。

営業km	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1,000kmまで	1,200kmまで
有効日数(片道)	2日	3日	4日	5日	6日	7日

1000キロメートルを超えると、200キロメートルごとに1日を加えます。

往復乗車券の場合は、片道乗車券の2倍の有効日数になります。同一区間・同一経由で片道600キロメートルを超える区間を往復乗車すると、往復割引で1割引になった運賃がさらに学割で2割引になります。詳細は駅の窓口で尋ねてください。

(1) 有効期限

発行日から3か月です。

※使用しなかった学割証は、必ず学生課に返却してください。

(2) 学割証使用時の注意

- ① 学割証は本人以外、使用できません。勿論、他人に譲渡してはいけません。不正使用（他人名義のもの、あるいは期限切れの学割証の使用など）した場合多額の追徴金が課せられたり、大学全体が学割発行停止処分を受けることがあります。
- ② 学割証を使用する場合は、必ず学生証を携帯してください。
- ③ 使用にあたっては、学割証裏面の注意事項をよく読んで守ってください。

学生生活で守るべきこと

1. 通学

学生の自動車ならびにすべての二輪車による通学は禁止されています。

2. 正門および通用門の開閉時間について

- (1) 学生の学内利用時間は7:30から平日19:00まで、土曜日17:00までです。
- (2) 学生通用門（西門）の開閉時間は、8:30～16:30までです。
（ただし13:30～14:30の間、閉門しています。）
- (3) 中学、高校の正門は使用しないでください。
- (4) 気象警報が発令され臨時休講になった時、登校禁止となります。（履修要項Ⅱ授業5休講を参照）

3. 服装

- (1) 学生は、清潔で品位のある服装をするよう心掛けてください。
- (2) 入学式、卒業式、宗教行事、その他大学の指定する行事には、式典にふさわしい服装にしてください。その際、学章は必ずつけてください。

4. 金銭および貴重品について

盗難防止のため、貴重品の管理には充分気を付けてください。
個人ロッカーで保管する場合は、鍵は必ず施錠してください。

5. マナーについて

- (1) 授業時間中は、授業の妨げとならぬよう静粛にしてください。
- (2) 学内では静かに歩行するよう留意してください。
- (3) 学内及び敷地周辺は禁煙です。（加熱式タバコ〔電子タバコ〕も含む）
- (4) 教室では携帯電話の充電は禁止です。（ただし、本館コモンルーム、2号館コモンルームでは充電可）

6. アルバイト

アルバイトは、学業に支障のない範囲で、必要最少限に止めることが大切です。

7. 学内の整備

- (1) 教室、廊下、校庭に紙屑などを捨てる等しないよう各自で気をつけてください。
- (2) 不必要な電気、冷暖房のスイッチは切り、節電に協力してください。
- (3) 洗面所の流しには、頭髮、その他つまる恐れのあるものを流さないでください。

(4) 机、壁等に傷をつけないように気をつけ、壁や黒板に、セロテープやビニールテープを貼ったり、釘などを打ったりしないでください。

8. エレベーターの使用について

本館と2号館のエレベーターを使用することができますが、教職員、業者の方々、とりわけ器具を運ぶ教員が最優先となりますので、その妨げとならないよう注意してください。ただし、図書館内のエレベーターは使用できません。

9. 大学行事

学生は、大学行事に必ず参加してください。

10. 公示・掲示等連絡について

学生への連絡事項は緊急の場合を除き掲示によって行われます。従って、一度掲示した事項については周知されたものとして取扱われます。登校した時に、教務課、学生課・キャリアセンター前の掲示を必ず見てください。掲示を見なかったために生じる不都合、不利益は学生自身の責任となります。

11. 住所・保証人等の変更

住所、電話、保証人、その他の変更があった場合、直ちに所定の用紙により学生課まで届け出てください。

12. 国外旅行届

夏季・冬季等休業中に海外へ渡航する学生は「国外旅行届」を学生課に提出してください。

13. 学内における印刷物の設置

学生が学内で印刷物（雑誌、小冊子、ポスターなど）を設置するときは、あらかじめ所定の用紙「印刷物設置願」に記入のうえ、印刷物を添えて学生課に提出し、許可を受けてください。

14. 集会・掲示

(1) 学内外において集会を行う場合

代表者が本学所定の用紙「集会許可願」に目的、日時を明記したうえ、学生課に提出して許可を受けてください。原則として、日曜・祝日に学内の施設を使用することはできません。

※講師などを招く場合はあらかじめ学長の承認を得てください。

(2) 学外活動、合宿、対外試合などを行う場合

代表者は事前にその目的、参加者、場所、日時などを明記した所定の用紙（「学外活動願」等）を学生課に提出して許可を受けてください。

(3) 掲示物について

本学所定の用紙「掲示許可願」に掲示期間と代表者氏名とを記入し、現物を添えて、学生課に提出して許可を受けてください。掲示場所は、原則として、所定の掲示板（本館は階段踊場等、2号館は1階）のホワイトボードとします。掲示期間を経過したものは、代表者が速やかに撤去してください。届出の期限は原則として掲示の2日前までとします。

※掲示物には、掲示者(団体)名及び掲示期限を明記してください。

学生サービス・支援・相談

1. 学内施設の利用

(1) 食堂の利用

- ① 食堂の利用はすべてセルフ・サービスです。
- ② 食後は各自がテーブルを拭き、常に清潔を保ち、互いに気持ち良く使用できるよう心掛けてください。
- ③ 空き缶、ペットボトル、紙コップ類は必ず決められた場所に捨ててください。
- ④ 授業日に設定された日のみの営業となります。

(2) コモンルームの利用

- ① 談話、休憩などに使用してください。

② 飲食の後片付けは、きちんとしてください。

(3) 学生意見箱の利用

大学への意見や質問を聞かせてもらうため、意見箱としてコモンルームと学生課と階段おどり場（地下～1階）に「学生中央協議会議題箱」を設置しています。学生生活をより良くするため、日頃疑問に感じていることや要望等を寄せてください。

※授業・成績等に関することは、教務課の相談用紙^{エボック}を利用してください。

(4) 購買部(EBOK)の利用

筆記用具、軽食等の販売を行っています。

営業時間：平日10：00～16：30（授業期間のみの営業となります。）

(5) ロッカーの利用

学生用ロッカーを貸与します。

ロッカーの鍵は必ず施錠してください。

※鍵を紛失した場合は、直ちに学生課に届け出て、実費を支払ってください。

(6) 教室・教具・器具の利用

教室・教具・器具を使用する場合は、あらかじめ、教務課に願い出て許可を得てください。

(7) コピー機の利用

学生は本館3階東側の階段のそばに設置してあるコピー機を利用することができます。

（カード式コピー機のカードは購買部（EBOK）及び学生課・教務課で販売しています。）

(8) 電話の利用

特別の場合を除き、学外からの学生個人に対する電話の呼び出しは取り継ぐことはできません。

(9) 学内無線LAN(Wi-Fi)の利用

本館・2号館・図書館棟の決められた教室で無線LAN(Wi-Fi)を使うことができます。ただし、その教室で授業が行われている場合は利用できません。

2. 健康管理

学生生活を支える基盤として、健康上の問題には、特に注意を払ってください。

(1) 定期健康診断

学校保健安全法に基づき、毎年定期健康診断を実施しています。

①健康診断の項目や日程を、各自学内掲示やホームページで確認し必ず受診してください。

※大学の健康診断証明書が必要な方は、大学が実施する定期健康診断を受診してください。

②定期健康診断に基づく健康診断証明書は、就職時や実習時に必要となります。未受診の場合や健康診断の受診項目に不足のある場合は発行できません。

③学生定期健康診断を未受診の場合は、各自で医療機関で受診し証明書を保健センターに提出してください。

(2) 健康相談

保健センターで、健康一般についての相談と指導を行っています。

(3) 禁煙相談

禁煙のための各種相談・指導を保健センターにて行っています。

(4) 救急処置

急患に対しては、保健センターにて救急処置を行い、さらに医療が必要な場合は、速やかに近隣の救急病院に依頼しています。また、本館2階にAEDを設置しています。

(5) 学生保険

①学生教育研究災害傷害保険

学生の教育研究活動中、通学および学校施設等相互間の移動中に被った急激かつ偶然な外来の事故による身体の傷害に対して、学生に保険金が支払われる制度で、入学と同時に全員加入することになっています。

②学研災付帯賠償責任保険

インターンシップ・教職資格活動（介護等体験・教育実習・保育実習）等において、学生の被る種々の賠償責任事故に対する被害救済の措置として保険金が支払われる制度で、入学と同時に全員加入することになっています。

③学研災付帯学生生活総合保険

「学生教育研究災害傷害保険」の加入者が、その上乗せとして、任意で加入できる保険。疾病やプライベートの時間も含めた、学生生活全般に補償範囲を広げた補償制度です。

3. 就職について

(1) キャリアセンター

自分の適性に合った職業を選択するために、次のようなサポートを実施しています。

① 1・2年次生

各種資格取得支援講座等

また、1年次生では「キャリアデザイン入門」、2年次生では「海星学」で、教員と共にキャリアセンターの職員が、低学年からの進路指導のサポートを行います。

② 3年次生

就職準備セミナー、航空・旅行・ホテル業界受験対策特別講座、インターンシップ等

③ 4年次生

履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接、就職に関する個別相談等

※キャリアセンターのサポートは、保護者にも対応しています。就職説明会の他にも保護者向け個別相談会を実施していますので、相談が可能です。

(2) 保育・教職センター

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭を目指す学生には、次のようなサポートを実施しています。

① 保育士、幼稚園教諭

履歴書指導、個別面談、就職フェアの周知、採用試験対策（一般教養、専門教養、面接、模擬保育 他）、内定者向け研修会 等

② 小学校・中学校・高等学校教諭

採用試験勉強法指導、教職教養対策講座、受験願書の書き方指導と添削、一次試験集団面接対策講座、二次試験面接・模擬授業対策講座、体育・音楽実技試験対策（小学校）等

※保育・教職センターのサポートは卒業生にも対応しています。卒業後も4年次生対象の対策講座への参加や、保育や教科の指導、保護者対応等についての相談なども可能です。

4. オフィス・アワー

学生が授業時間以外でも、学生生活や学修に関する種々の事柄に関して教員に相談し、適切な指導を受けられるよう、「オフィス・アワー」を設けています。この時間帯に、授業担当教員はもちろんのこと、それ以外のすべての専任教員にそれぞれ専門的立場から個別に直接指導を受けることができます。時間帯の詳細は教務課前掲示板に貼り出しています。（オフィス・アワーの趣旨を十分に理解して、有効に活用してください。）

5. 学生相談室

学生の心身の健康保持、また大学生活を楽しく有意義に送るために、専門の臨床心理士等が相談に応じる体制を設けています。勉強、友人、家族や将来のことなど、困難な問題に対しての相談事等が生じた場合、学生相談室を利用してください。

(1) 相談内容

修学（単位、履修、成績、留年、転科、休学、退学）

進路（就職、進学、留学、転学）

生活（課外活動、経済、アルバイト）

異性問題

精神的な問題（対人関係、家族関係、性格、不安）

性格検査・査定

その他（懇談、雑談、インフォメーション等）

(2) 開室時間

教務課、学生課前の掲示板及び学生相談室前に貼り出しています。また、ホームページにも記載しています。

(3) 相談予約方法

次の場所等で申し込みを受け付けています。

① 学生相談室

② メール(soudan@kaisei.ac.jp)

※メールを利用の場合は、学籍番号・氏名・連絡先・希望日時を記載してください。

返信メール受信で受付が完了します。

6. サポートルームStellaについて

大学生活において相談したいことのある学生の支援（学習面など）を実施しています。
まずは担任の先生に相談しましょう。

7. ハラスメント

「真理と愛に生きる」という建学の精神のもと、勉学・教育・研究をおこなう神戸海星女子学院大学は、一人ひとりがたがいに尊重しあい、共に学び、分かち合う場です。

ハラスメントは、大学での人間関係において土台となる「信頼と尊重」を裏切るばかりでなく、人間の尊厳に反する許されざる悪質な行為です。本学は、一人ひとりの大切な人権を常に尊重し、すべての学生・教職員がハラスメントのない環境で、勉学・教育・研究・勤労に励む権利を保障します。

教務課、学生課、キャリアセンター、保健センター、学生相談室、相談員、どの窓口でも受け付けています。直接訪ねるかメールで、相談に行く日時と場所を予約してください。秘密は厳守されますので、安心して名前を名乗ってください。相談員の氏名等は学内掲示板に掲示しています。

8. 拾得物の取り扱い

学内での拾得物は学生課・教務課で保管しています。物品を紛失したり、拾得したときは学生課・教務課に届け出てください。（保管期間は1か月です。）

奨学金について

1. 奨学金制度

奨学金制度は、勉学に対する熱意がありながら経済的理由により修学が困難な学生に、一定の金額を貸与または給付することにより、学費・生活費の負担を軽減し、学業の継続を支援するものです。

奨学金の申込は学生課（留学関係は教務課）にて行っています。募集時期等を確認して申し込みを行ってください。

名 称	出願資格	採用人数	募集時期	奨学金
神戸海星女子学院大学 1 種給付奨学金 ※ 注 1	本学学生で修学の熱意はありながら経済的理由により修学が困難と認められた者	4 名 (各学年 1 名で在学中に 1 度限りを原則とする)	4 月	年間授業料の 1 / 2 (1 回限り給付)
神戸海星女子学院大学 2 種給付奨学金 ※ 注 1	本学学生で修学の熱意はありながら経済的理由により修学が困難と認められた者	4 名 (各学年 1 名で在学中に 1 度限りを原則とする)	4 月	年間授業料の 1 / 4 (1 回限り給付)
同窓会奨学金	本学に在籍する 4 年次生	2 名	4 月	年額 20 万円 (給付)
神戸海星女子学院大学 緊急給付奨学金 ※ 注 1	本学学生で家計急変により修学が困難になった者	若干名	随時	年間授業料の 1 / 2 (1 回限り給付)
留学奨学金 A ・ A ' (E T 学科)	GPA2.70、TOEIC スコア 600 以上で前学期 18 単位以上修得	若干名	申込時	A : 協定校への長期留学 100 万円 A ' : 非協定校への長期留学 50 万円
留学奨学金 B ・ B ' (E T 学科)	GPA2.70、TOEIC スコア 550 以上で前学期 18 単位以上修得	若干名	申込時	B : 協定校への中・長期留学 50 万円 B ' : 非協定校への中・長期留学 25 万円
留学支援金 (E T 学科対象)	留学生全員 各種海外研修参加者	留学奨学金 A 、 A ' 、 B 、 B ' 受給者を除く全員	申込時	20 万円
留学支援金 (P C 学科対象)	GPA3.00 以上、英語資格所有者 (英検 2 級以上) で各種海外研修参加者	若干名	申込時	10 万円
後援会給付奨学金	本学学生で修学の熱意はありながら経済的理由により修学が困難と認められた者	通常給付 : 1 名	4 月	年額 20 万円 (1 回限り給付)
		緊急給付 : 1 名	随時	
日本学生支援機構奨学金	下記参照※注 2			

※ 注 1

国の「高等教育の修学支援新制度」(令和 2 年 4 月開始)において授業料等の減免を受ける学生が本学の制度を併用する場合、調整を行います。

※ 注 2

日本学生支援機構奨学金

国家予算によって給付、又は貸与される奨学金です。貸与奨学金は必ず返還する義務があります。

① 出願資格

人物、学力ともに優秀かつ学資の支弁が困難と認められた学生

② 募集時期 (定期採用)

4 月

出願者は学生課の窓口を通じて所定の手続きをしなければなりません。

③ 日本学生支援機構の奨学金には、以下のものがあります。

a 給付奨学金 (予約採用・定期採用)

b 第一種貸与奨学金 (無利子貸与)：予約採用・定期採用・緊急採用

c 第二種貸与奨学金 (有利子貸与)：予約採用・定期採用・応急採用

④ 予約採用者

進学前に出願し、進学後日本学生支援機構の奨学生採用候補者として決定している学生

(入学後すぐに『進学届』を学生課に提出し所定の手続きをする必要があります。)

⑤ 貸与された奨学金は、貸与終了の翌月から数えて 7 か月目から返還が開始されます。

⑥ 家計急変のため学資支弁が困難になった場合の緊急採用制度があります。出願希望者は学生課に随時相談してください。

⑦ 給付奨学金は、国の高等教育における修学支援新制度 (令和 2 年 4 月開始) のひとつであり、給付奨学金申請者は、原則として、もう一方の支援である「授業料等減免」の申請もあわせて行う必要があります。

2. ステラ・マリス奨学生について

ステラ・マリス奨学生になると授業料の減免が受けられます。ただし本学の給付奨学金規程に定められた奨学金と重複して減免を受けることはできません。

(1) ステラ・マリス奨学生の申請資格

- ① 1年以上在籍し、成績優秀で、大学の広報活動（オープンキャンパス、進学説明会など）及び学内活動（クラブ活動、大学祭などの大学行事など）に積極的であること。
- ② 前学期に18単位以上取得し、G.P.A.が3.4以上で、全学生中上位5%以内であること
 - * 4年次秋学期の申請については、3年次春・秋学期ともに18単位以上を修得し、成績が基準を満たしていることを条件とし、4年次春学期の学校行事及び大学の広報活動と演習Ⅲの出席状況、成績を考慮します。

●英語観光学科はTOEICの成績が一定以上であること。

2年次	500点以上
3年次	550点以上
4年次	600点以上

●心理こども学科は保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の資格取得等を明確な目標としていること。

(2) 減免額の目安

G.P.A.の基準	授業料の免除額
3.8以上	全額（42万円）免除
3.6以上	半額（21万円）免除
3.5以上	10万円免除
3.4以上	5万円免除

*学内活動の状況を含めて評価し、減免額を決定します。

(3) ステラ・マリス奨学生の期間

●1学期間

*申請条件を満たせば、何度でもなれます。

(4) ステラ・マリス奨学生の申請手続き・採用

- ①希望する学生は授業開始日から翌々週の金曜日までに、必要事項を記入して「申請書」を教務課に提出してください。（申請書は教務課にあります。）
- ②受理された学生は指定された時間、場所で、教員の面談を受けてください。前学期の広報活動、学内活動などについて具体的に話してください。
- ③成績と学内活動などを合わせて評価し、ステラ・マリス奨学生とするかどうか、減免額を含めて学長が決定します。
- ④ステラ・マリス奨学生に採用された学生は、所定の「宣誓書」を提出してください。
- ⑤ステラ・マリス奨学生は、勉学に励むとともに、大学の広報活動（オープン・キャンパス、進学説明会など）及び学内活動（クラブ活動、大学祭などの大学行事）に積極的に取り組み、他の学生の模範となることが求められます。

課外活動等について

1. 宗教活動

(1) カトリック研究会（通称アインカリム）

カトリック研究会はカトリック信者およびカトリックに関心を持つ本学の学生によって構成されます。聖書を通して語られる神のみことばについて共に考え、日常生活の中での活動を通し、神と隣人への愛を実践していきます。

(2) 大学行事のなかには、キリスト教の祭儀が取り入れられています。

(3) 学内には、静かに祈ったり、考えたりする場所として聖堂があります。学生はこれを自由に使用することができます。

2. 課外活動

課外活動は、教養を高め、個性の伸長を図るとともに、集団生活を通じて自主性と協調の精神を養うものであり、人間形成の上でとくに有益です。その目的と意義とを正しく理解し、健全な課外活動ができるよう、次のことが定められています。各クラブ・同好会は、本学専任教員の中から1名の顧問をおいて、その指導を受けてください。学外からの指導者を招く場合には、学長の許可を得てください。

(1) 同好会の創設とクラブへの昇格

学生が新しく同好会を発足させる場合は、責任者が、同好会規程を作成し、名称・目的・参加者（5名以上）の名簿・顧問名・指導者名などを記入した本学所定の「同好会創設願」を学生課に提出し、学生委員会が承認し、認可がおります。同好会はその活動状況によってクラブに昇格することができます。同好会からクラブに昇格を願う団体は、その願いを学生課に提出してください。メンバーが異なる学年の5名以上の部員で構成され、さらに連続2年を越えた活動実績が認められた場合には、学生委員会が承認し、認可がおります。

(2) 責任者及び責任者の業務

各クラブの責任者を「部長」と呼びます。部長は次の書類作成及び報告を責任を持って行ってください。

①学外団体への参加

クラブが団体として学外のイベント等に参加しようとするときは、本学所定の「課外活動願」を作成し、参加者リスト及びイベント等の参考資料を添えて学生課に提出し、学生部長の認可を受けてください。

②クラブの継続

各クラブの責任者は、1年間の活動状況報告書及び部活動収支報告書を、顧問の確認を受けたうえ2月末までに、学生課に提出し、学生部長の承認を得て継続の許可を受けてください。

③クラブ活動計画

クラブは毎年5月初旬までにその年度の活動方針をまとめ、部活動計画書、部活動収支計画兼後援会援助金申請書及び部員名簿を作成し、学生課に提出してください。

クラブ入部希望者に対しては、部の規程を呈示し、クラブの内容をよく知らせてください。特に規程には入部金、および部費などの金額を明示してください。

④届出事項の変更

クラブが規程その他届出事項を変更しようとするときは、顧問を経て、学生課に提出し、学生部長の許可を受けてください。

⑤クラブの解散・活動停止

クラブあるいは部員に、学内諸規定および団体の規約その他の届出事項に反する行為があったときは、学生部長から承認の取消し、活動停止、または解散を命ぜられることがあります。また、クラブは、3年間の休部をもって同好会に降格とし、同好会は、1年間の休会をもって廃止とします。

⑥クラブ室の管理

クラブ室は各部の責任において管理し、管理責任者には部長が当たります。備品・器具・設備等の破損修理は、不可抗力によるもの以外は部の責任において行ってください。

⑦クラブ費

正式に認められたクラブには、後援会から援助金が支給されます。各クラブは各年度の活動計画に基づき、予算を申請してください。その配分については、前年度の活動状況等を勘案のうえ決定します。援助金は本来クラブとしての活動費に使用されるべきもので、例えば学外から招聘している指導者への謝礼（半額迄）や諸費用などに使用することができますが、合宿の諸費用、使用後個人に属する物品の購入、部員の飲食のために使用することはできません。

(3) 部長会

部長会は各クラブ・同好会の部長により構成されます。部長会とは、課外活動の諸問題を解決し、各クラブ・同好会相互の連絡をとる機関です。部長会は必要に応じて会議を開きます。

年度最初の部長会において、役員を選出をしてください。

部長会会長 1名

部長会書記 1名

※役員は1年毎に交代することが望ましい。

(4) 課外活動の時間

課外活動の時間は原則として18：50までです。

(5) 学内施設の使用

集会または行事のために学内の施設を使用する場合は、あらかじめ教務課又は総務課から使用許可を受けてください（当該施設の管理者の許可を受ける必要があります）。学内施設使用にあたっては、注意事項等を守り、付属品等を破損した場合は、その使用団体の責任において弁償してください。学内施設の使用については、使用禁止期間が掲示板に掲示されますので、それに従ってください。

学生自治について

学生中央協議会

学生中央協議会は、1年次生の基礎ゼミと2年次生の各クラスおよび3年次生・4年次生の各ゼミより1名ずつ選出された委員と学生部長、宗教主事、学生課・キャリアセンター職員とをもって構成されます。

学生中央協議会は本学の精神に則り、定例集会を開き、学生生活のあり方等について、積極的、建設的な討議を行ない、学生生活の向上を目指します。

事務手続きについて

- ★ それぞれの手続きには期間の定めがあります。願、届の提出遅延による修学上の不利を招かないよう十分注意してください。
また、学生証の呈示を求められることがありますので、常時携帯するようにしてください。
- ★ 提出物は黒の万年筆又はボールペンで記入してください（鉛筆不可）。
- ★ 所定の用紙に必要事項を記入してください。

教務課・学生課で取り扱う諸手続き

	種 類	注 意 事 項	備 考
授業試験関連	履 修 登 録	定められた期間内にWEB入力してください。	
	履 修 登 録 変 更	定められた期間内にWEB入力してください。	
	特 例 欠 席 届	欠席日より15日以内に手続きしてください。	就職試験に係る場合は キャリアセンターへ。
	追 試 験 受 験 願 追 試 験 受 験 料 納 付 書	手続きについての詳細は、『履修要項 Ⅲ試験』の8.9.の項目を参照してください。 1科目1,000円(レポートも含む)	
在籍関連	退 学 願	担任教員に相談してください。	
	休 学 願		
	復 学 願		
	転 科 願		
	長 期 欠 席 届		
証明書交付	成 績 証 明 書	交付願が提出されてから、	※手数料 日本文 100円 英文 300円 調査書(日本文)は、 200円
	卒 業 見 込 証 明 書	日本文の場合は、 3日間（在学証明書は1日間）	
	単 位 修 得 証 明 書	英文の場合は、 10日間	
	卒 業 証 明 書	（土・日・祝日を除く）が必要です。	
	在 学 証 明 書	申込みは直接窓口申込みとし、電話による申込みは一切受け付けません（休暇中も同様）。 ※採用試験等で「学長による推薦書」が必要な場合、原則として累積G.P.A.3.0以上が必要ですが、まずは指導担当教員に相談し、発行許可を得る必要があります。	
	健 康 診 断 証 明 書		
	推 薦 書		
	調 査 書		
	教員免許状取得見込証明書		
保育士資格取得見込証明書			
学 生	氏 名 ・ 保 証 人 変 更 届	変更後は速やかに届け出てください。	
	住 所 ・ 電 話 番 号 変 更 届		
生 活	学 生 証	紛失の場合は速やかに届け出て学生証再交付願に記入の上、再交付の手続きをしてください。 退学（除籍）のときは直ちに大学に返還してください。 ※常に携帯するようにしてください。	再交付手数料 300円 申込み後 1日で発行
	通 学 証 明 書	通学区間に限り証明します。『学生生活の基本 4通学定期券』を参照。 ※実習用通学定期券は通常の「通学証明書」では購入できません。実習開始1か月前までに保育・教職センターで申込み手続きが必要です。	申込み後 1日で発行
関 連	学 生 旅 客 運 賃 割 引 証	不正に使用した場合は以後の発行を停止します。	
	学 外 活 動 願	参加者名簿を添えて提出してください。	
	集 会 許 可 願		2日前までに提出
	物 品 使 用 願		
	印 刷 物 設 置 願	印刷物を1部提出してください。	
	掲 示 許 可 願		
		国 外 旅 行 届	国外旅行をする際に届けてください。

キャリアセンターで取り扱う諸手続き

種 類	注 意 事 項	対象学年
進路調査票・求職登録票	定められた期間内に全員提出してください。	3年次
推 薦 書	証明書交付願を提出。『教務課・学生課で取り扱う諸手続き』を参照。	卒業年次
特 例 欠 席 届	就職試験に係る特例欠席届については『履修要項』を確認してください。	卒業年次
内 定 届	内定通知を受けた場合は、速やかに届け出てください。	卒業年次
進 路 決 定 届	定められた期間内に全員提出してください。	卒業年次
求 人 票 管 理	企業からの求人票管理をしています。 詳細につきましては、キャリアセンターに問い合わせください。	

保育・教職センターで取り扱う事務手続き

種 類	取 扱 い 内 容	対象学年
履 修 相 談	保育士資格・教員免許状取得のために必要な科目の履修方法等についてのアドバイス	全学年
教 育 実 習・保 育 実 習	・実習参加要件（必要単位修得状況）の確認及びアドバイス ・実習費納付についての案内（納付先は経理課） ・実習先の希望調査 ・実習先への承諾依頼書類や実習に必要な様式の準備 ・実習用通学定期券の申込み（実習開始1か月前まで）※ ◆実習終了後は実習記録を提出してください。	・英語観光学科 3年次～ ・心理こども学科 2年次～
介 護 等 体 験	・介護等体験申込受付（兵庫県教育委員会・都道府県の社会福祉協議会） ・介護等体験に必要な様式の準備 ◆介護等体験終了後は体験記録を提出してください。	・英語観光学科 心理こども学科とも 2年次～
教 員 免 許 状 授 与 申 請	・「教育職員免許授与申請書」配布 ◆定められた期日までに申請書類を提出してください。	卒業年次
保 育 士 登 録 申 請	・「保育士登録の手引き」配布 ◆定められた期日までに申請書類を提出してください。	卒業年次
保 育・教 職 関 連 求 人 票 管 理	・保育所・施設・学校園への求人依頼 ・保育所・施設・学校園の求人票管理 ◆就職内定後は速やかに「内定届」と「受験報告書」を提出してください。	卒業年次

※実習用通学定期券の申込みについて

居住地最寄駅から実習先までの経路が通常の通学経路と異なる場合、事前に各交通機関へ大学を通して申込みをすれば「実習用通学定期券」の購入が可能です。購入を希望する場合は実習開始1か月前までに保育・教職センターで申込み手続をしてください。

実習期間が短い場合は回数券等の割引乗車券の方が安価な場合がありますので、各自、事前に利用予定の交通機関へ確認してください。

図書館利用案内

1 フロアガイド

3 F	閲覧席	和書・洋書 [英語・仏語] (絵本、児童書、英語多読図書)
2 F	ブラウジングコーナー 閲覧席	雑誌 和書 (参考図書、大型図書、文庫)
1 F	カウンター コンピュータ自主利用室 学習支援室 AV コーナー	和書 (新着図書、指定図書、就職・資格関連 図書、新書) 新聞、英語学習雑誌
地下書庫	貴重書庫	貴重図書 雑誌・紀要のバックナンバー 和書・洋書 [英語・仏語・その他の外国語]

2 開館時間

	授業のある日 (試験期間を含む)	授業のない日
月曜日～金曜日	8:45 ～ 18:15	9:00 ～ 17:00

※館長が必要と認めたときは、開館時間を変更することがあります。

3 休館日

- (1) 土・日曜日
- (2) 大学が定める休日
- (3) 夏季・冬季休業中の一定期間
- (4) 蔵書整理日 (毎月1回)

※臨時休館は、その都度館長が定めて掲示板とホームページ上でお知らせします。

4 利用心得

- (1) 図書館で図書を貸出利用するときは学生証が必要です。
- (2) 館内では静粛にしてください。また飲食はできません。
- (3) 館内にある資料は丁寧に扱い、書き込みや切り取りなど絶対にしないでください。

5 閲覧

- (1) 書架から取り出した図書は必ず返却台に置くか、または図書館員にお渡しください。
(元の場所へは戻さないでください)
- (2) 地下書庫の図書を閲覧したい場合は、学生証を提示のうえ、カウンターに申し出てください。
- (3) AV資料を閲覧したい場合は、学生証を提示のうえ、カウンターに申し出てください。
- (4) 図書・資料を探す時は、OPAC (蔵書検索システム) を利用してください。

6 貸出

借りたい図書と学生証をカウンターに提出してください。

※禁帯出図書・雑誌・AV資料は貸出できません。

7 貸出期間と冊数

	利用者	冊数/期間
通常貸出	1～4年次生	5冊/14日間
	4年次生 (卒業研究用)	5冊/30日間
特別貸出	夏季・冬季休業中	5冊/ (別に定める) ※1
	実習貸出 ※2	5冊/30日間

※1 期間は掲示板とホームページにてお知らせします。

※2 2週間以上の実習参加者に限ります。

8 返却

借り受けた図書は、返却期限までにカウンターに返却してください。返却期限に遅れた場合、遅れた日数分が貸出停止になります。返却期限から30日を超えても返却しない場合は紛失とみなし、弁償となります。

9 その他の特別措置

教育実習における特別貸出について

2週間以上の教育実習に参加する学生には、図書を特別に30日間5冊まで貸出します。

10 貸出期間の延長

同じ図書を継続して借りたい場合は、予約のない限り延長することができます。返却期限までに図書と学生証とを持参のうえ、カウンターに申し出てください。

11 延滞

図書の返却期限が過ぎた場合は、Webメール、電話、督促状にて督促を行います。

12 紛失・破損

万一図書を紛失、または著しく破損した場合は原則として同一品で弁償しなければなりません。ただし事情によってはこれに相当する代価を支払ってもらう場合があります。

13 予約

借りたい図書が貸出中の時は「貸出予約申込書」に必要事項を記入のうえ、カウンターに提出してください。またはOPAC（蔵書検索システム）から手続きしてください。その図書が返却され次第、メール等でお知らせします。

14 掲示板

休館日、開館時間の変更等の案内は、掲示板に掲示します。なお、休館日、閉館時間の変更等はホームページにも掲載しています。

15 希望資料購入

図書館に所蔵していないもので、購入希望の資料があれば、カウンターに問い合わせたうえで、授業担当教員に相談してください。

16 文献複写

著作権法第31条により図書館においては「調査研究」目的の範囲内に限り、図書館が所蔵する資料の「一部分のみ」を「1部」だけ複写することができます。複写を希望する場合は、「複写申込書」を記入のうえカウンターに提出してください。

17 レファレンス・サービス

資料の探し方、調べ方がわからないとき、求める資料が見つからないときは申し出てください。必要な情報や適切な資料を提供します。

18 相互利用

学外の機関や図書館を利用することが可能です。探している資料の閲覧・文献複写や、図書の貸借ができますので詳しくはカウンターでお尋ねください。下記の大学連盟図書館では学生証を提示するだけで閲覧・複写ができます。

《日本カトリック大学連盟加盟館》

藤女子大学図書館

南山大学図書館

天使大学図書館

京都ノートルダム女子大学図書館情報センター図書館

仙台白百合女子大学図書館

東京純心女子大学図書館

ノートルダム清心女子大学附属図書館

清泉女子大学附属図書館

エリザベト音楽大学附属図書館

聖心女子大学図書館

聖カタリナ大学附属図書館

白百合女子大学図書館

長崎純心大学早坂記念図書館

上智大学図書館

鹿児島純心女子大学附属図書館

清泉女学院大学・短期大学図書館

聖マリア学院大学図書館

19 その他

特例欠席に該当する方で、図書の返却期限に遅れる場合は、必ず図書館に連絡してください。連絡が無い場合、延滞扱いになります。

コンピュータシステム利用案内

1 コンピュータシステム利用案内

学生は全員システム利用者として登録されています。自主利用室、教室のどのコンピュータからも、ユーザー名とパスワードを入力することによりログオン（システムを利用）できます。個人のデータ保存場所として、学生一人ひとりに、学生用ファイルサーバー上にフォルダが用意されています。

フォルダ名は ㍻㍻ SSC4001 ㍻ students ㍻ 入学年度（4桁）㍻ 学籍番号

このフォルダは、ログオン時に自動的にログオンした学生の“マイドキュメント”として使われるように設定しています。（マイコンピュータ内に、Zドライブとしてアイコン表示もさせています。）従って、学内の自主利用室、教室のどのコンピュータからも自分の“マイドキュメント”を使うことができます。

また、教員との間で資料やレポートなどのやりとりを行うため、教員と学生が共に利用できる共通ファイルフォルダが用意されています。その他、e-mailを利用したやりとりができます。これについては、各授業の教員の指示に従ってください。

2 自主利用室（図書館1階）利用案内

利用時間

	授業のある日	授業のない日
月曜日～金曜日	8：45 ～ 18：15	9：00 ～ 17：00

閉室日 図書館休館日に準ずる

3 メールシステム利用案内

メールシステムは、「Active! mail」というWebメールサービスを導入しています。これらは教室や自主利用室のコンピュータの他、自宅のパソコンや携帯電話でも使えます。

(1) アクセス先

https://amss01.wadax.ne.jp/am_bin/amlogin

(2) Active! mail 使用方法

P. 34の「Active! mail」アクセス方法を参照してください。

4 図書館蔵書検索利用案内

神戸海星女子学院大学ホームページ(<http://www.kaisei.ac.jp/>)のトップページから「図書館」→「資料を探す・調べる」をクリックしてください。

5 ユーザー名とパスワード

システムログオンのユーザー名	学籍番号（6桁）
システムログオンのパスワード	乱数により各人に付与
Active! mail 使用時のユーザー名	E メールアドレス
Active! mail 使用時のパスワード	システムログオンのパスワードと同じ
E メールアドレス	名前をもとに各人に付与

システムログオン時のパスワードの変更

ログオン後「Ctrl」＋「Alt」＋「Delete」キーを押し、「パスワードの変更」をクリックしてください。

Active! mail のパスワード変更

「plesk」サイトにログインして変更ができます。設定方法はP. 36です。

2つのパスワードは別々のものでもかまいません。パスワードを変更した場合、届け出る必要はありません。

パスワードを忘れたときは、相談職員に問い合わせてください。

6 電子メールに関する注意事項

- (1) 教員や事務室から重要な情報が送信されることがあります。いつでも確認できるように必ず自分の携帯電話等へ転送する設定をしてください。設定方法はP. 36です。また、携帯電話等のアドレスを変更したときには、転送設定のやり直しを忘れないでください。

- (2) メールボックスがいっぱいになるとメールサービスが一時的に利用できなくなります。不要なメールは「Active! mail」にログインし、「受信箱」から削除するようにしてください。
- (3) 受け取ったメールの内容を他人に見せたり転送する場合は個人情報に十分注意してください。
- (4) メールを印刷したときは、責任をもって回収してください。
- (5) 知らない人からメールが届いたときは安易に返事を書いたり、転送したりしないでください。
- (6) 知らない人から届いたメールに添付されているファイルは開かないでください。
- (7) メール の 件名や本文に半角カナ文字を使用しないでください。
- (8) 商品の発注などの商行為に使用しないでください。
- (9) チェーンメールを受け取っても、絶対に転送しないでください。

7 休講情報の閲覧方法について

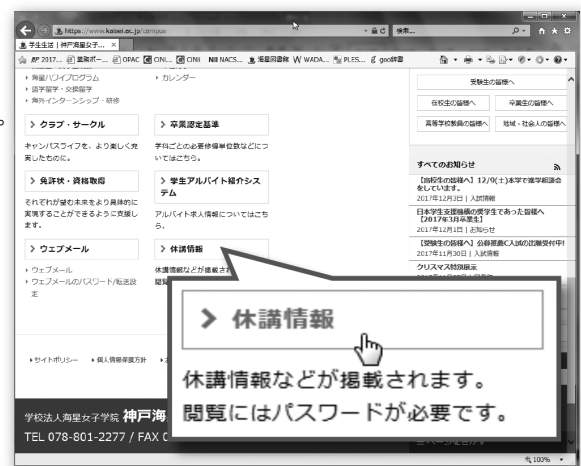
【パソコンまたは携帯（モバイル）からの閲覧】

- (1) 本学WEBサイト「学生生活」にアクセスします。
<http://www.kaisei.ac.jp/campus/support/kyuukou/>
 ※携帯（モバイル）からはQRコードもご利用ください。



- (2) 休講情報をクリックします。
- (3) Windowsセキュリティ（認証）が表示されます。
 ID : kaisei
 パスワード : kobe

- (4) 休講情報を確認します。

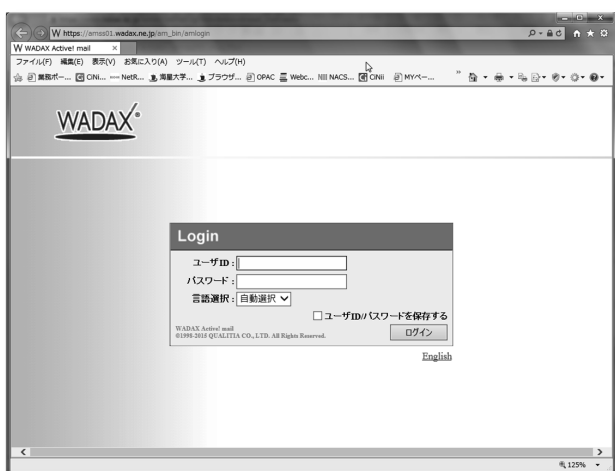


「Active! mail」 アクセス方法



●大学WEBサイト、「学生生活」の「ウェブメール」からアクセスができます

URL : https://amss01.wadax.ne.jp/am_bin/amlogin



ユーザID（メールアドレス）とパスワードを入力し「ログイン」をクリック

Login

ユーザID :

パスワード :

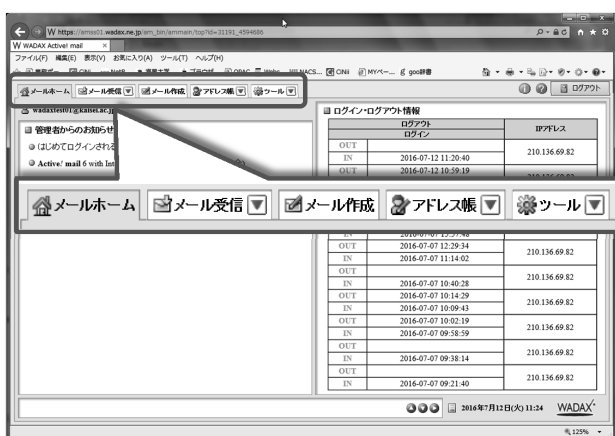
言語選択 : 自動選択 ▼

☐ ユーザID/パスワードを保存する

WADAX Active! mail
©1998-2015 QUALITIA CO., LTD. All Rights Reserved.

ログイン

※（言語選択は「自動選択」のままでよい）



メールホームのページが表示されます。

タブを切り替えることにより、「メール受信」、「メール作成」などができます。



【受信メールを確認する場合】

- 「メール受信タブ」をクリックする。

受信メール一覧が表示されます。



【メールを送信する場合】

- ① 「メール作成」タブをクリックする。
- ② メール作成ウィンドウが新たに表示されます。送信後、このウィンドウは閉じられます。



【ツール】では、

画面カスタマイズ、迷惑メールフィルタなど、メールに関するいくつかの設定ができます。

- 「迷惑メールフィルタ設定」内の設定項目は全てオン(☑)にしておくことをおすすめします。

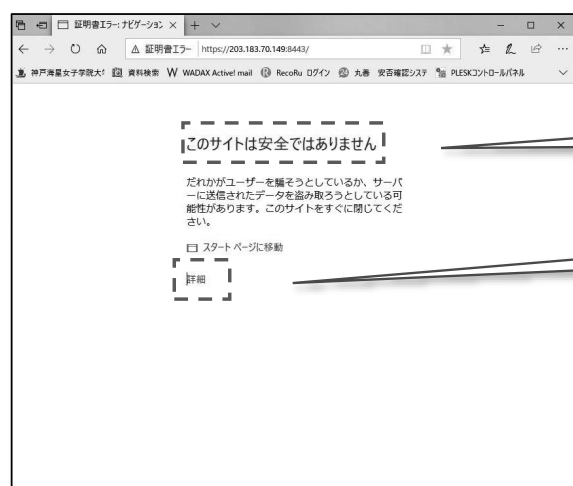
※パスワード変更、メールの転送設定は、別の専用サイト「plesk」へのアクセスが必要です。詳しくはP. 36の「メール転送設定」をご覧ください。

「メール転送設定/パスワード変更」(「plesk」 サイトアクセス方法)



●大学WEBサイト、「学生生活」の「ウェブメールのパスワード/転送設定」からアクセスができます

URL : <https://203.183.70.149:8443/>



【パソコンからの場合】

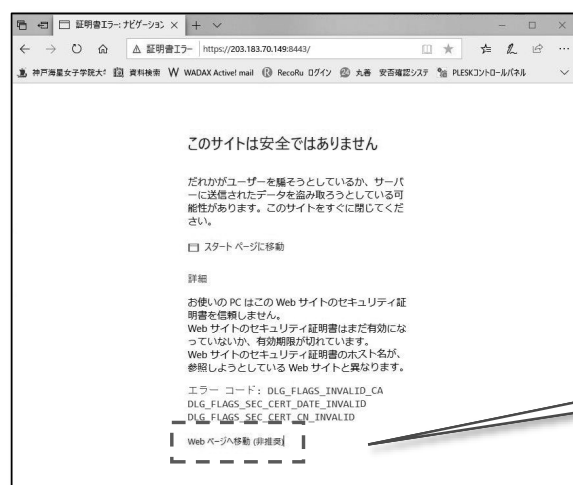
このサイトは安全ではありません

と表示される

詳細

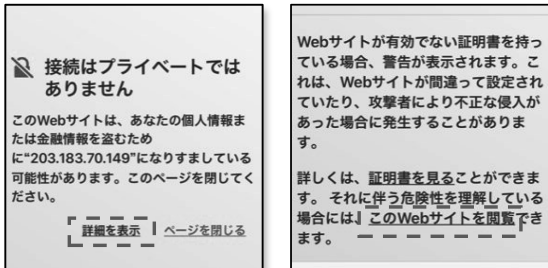
をクリックするとログインページへのリンクが表示されます。

※OS、ブラウザの種類やそれらのバージョンにより表示が異なります。



Web ページへ移動 (非推奨)

をクリックするとログインページが表示されます



【携帯（モバイル）からの場合】

iOSは「詳細を表示」から「このWebサイトを閲覧」、Androidは「詳細設定」を表示し「アクセスする」や、「続行」などを選んで次へ進む

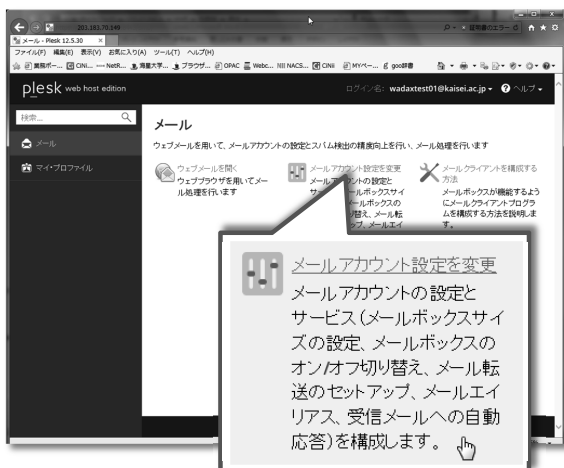
※OS、ブラウザの種類やそれらのバージョンにより表示が異なります。



- ユーザ名（メールアドレス）とパスワードを入力し「ログイン」をクリック



※（インターフェース言語は「デフォルト」のままよい）



pleskトップページが表示されます

- 「メールアカウント設定を変更」をクリック



【転送設定】

- 「転送」タブをクリック

全般 転送 メールエイリアス 自動応答

1つ以上のメールアドレスへのメール転送をセットアップします。[全般]タブでメールボックスが有効になります。

① ☒ メール転送を有効にする

すべての受信メールを次のメールアドレスに転送

② xxx==△△@docomo.ne.jp

メールアドレスを指定してください。複数のアドレスを入力する場合はセミコロンで区切ります。

③

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

① 「メール転送を有効にする」に☑をつける

② 転送先アドレスを入力

③ 「OK」をクリック

※メールの転送設定をしてもサーバーにはメールが残ります。

不要なメールは「Active! mail」にログインし、受信箱から削除してください。



【パスワード変更】

●「全般」タブ内で設定ができます

学

則

神戸海星女子学院大学 学則

第1章 目的及び自己点検・評価

(理念・目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに則り、キリスト教的価値観に基づき、真理を探究して専門分野の学問を学びながら、知性と感性を身に付け、世界的視野に立って考え、良識をもって判断できる女性、また、自らが神から愛された存在であることを知り、人を愛し、人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成を目指す。

(自己点検・評価)

第2条 本学は、前条の目的の達成及び理念の実現のため、教育研究活動について継続的な自己点検・評価活動を行い、その結果をもとに改革・改善に努めて教育水準を維持・向上させるとともに、評価結果等を積極的に社会に対して公表・発信する。

2 自己点検・評価の実施に関する規程は、別に定める。

第2章 学部及び学科

(学部)

第3条 本学に現代人間学部を置く。

(学科)

第4条 現代人間学部に英語観光学科及び心理こども学科を置く。

第3章 職員組織

(職員)

第5条 本学に学長、教授、准教授、講師及び助教並びに事務職員及びその他の必要な職員を置く。

2 必要あるときは、副学長又は学長代理を置くことができる。

(教授会)

第6条 本学に学長の諮問機関として教授会を置く。

2 教授会は、学長、教授、准教授、専任講師及び助教をもって組織する。

(教授会の審議事項)

第7条 教授会は、教育研究に関する次の各号に掲げる事項について審議し、学長に対し意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 学生の身分の審査に関する事項
- (4) 教育課程の編成に関する事項
- (5) 教員の教育研究業績の審査に関する事項
- (6) 学則及び規程に関する事項
- (7) 教員の人事に関する事項
- (8) 学生の賞罰に関する事項
- (9) その他教学上必要と認めた事項

2 教授会に必要な事項は、別に定める。

第4章 修業年限、在学年限及び学生定員

(修業年限)

第8条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、休学期間はこれに算入しない。

(在学年限)

第9条 学生は、休学期間を含めて8年を超えて在学することはできない。ただし、編入学及び再入学した者は、その者の修業すべき年限の2倍の年数を超えて在学することはできない。

(学生定員)

第10条 各学科の入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

英語観光学科	入学定員 45名	収容定員 180名
心理こども学科	入学定員 50名	収容定員 200名

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第11条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第12条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

(休業日)

第13条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 創立記念日(12月8日)
- (4) 夏季休業日
- (5) 冬季休業日
- (6) 春季休業日

2 学長は、前項の規定にかかわらず、必要と認めるときは休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を設けることができる。

第6章 授業科目、単位及び履修方法

(授業科目の区分)

第14条 授業科目は共通科目、専門科目及び教職に関する科目に分ける。

(授業科目の公示及び履修登録)

第15条 毎学年の授業開始前に、開講科目、担当者、授業時間及びその他の必要な事項を公示する。

2 学生は、所定の期日までに履修しようとする科目を届け出なければならない。

(授業科目及び単位数)

第16条 授業科目とその単位数は、別表のとおりとする。

(履修単位)

第17条 学生は次の区分に従い、別表に定めるとおり124単位以上を修得しなければならない。

英語観光学科

共通科目 38単位以上

専門科目 78単位以上

その他 8単位以上

心理こども学科

共通科目 38単位以上

専門科目 76単位以上

その他 10単位以上

(授業期間)

第18条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業の方法)

第19条 授業は、講義、演習、実験、実習及び実技等により行うものとする。

(単位の認定)

第20条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 試験の方法には、筆記試験・口述試験・実技その他適当な方法による。

3 試験に関する規程は別に定める。

(成績評価)

第21条 授業科目の成績の評価は、S・A・B・C・Fの5種とし、その評点は100点を満点として次のとおり定める。

S－90点以上

A－80点以上90点未満

B－70点以上80点未満

C－60点以上70点未満

F－60点未満

合格

不合格

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第21条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第21条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、第21条の2第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第22条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(第44条の規定(科目等履修生)により修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った第21条の3第1項に規定する学修(本学以外の教育施設等における学修)を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第21条の2第1項及び第2項並びに第21条の3第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

(単位算定の基準)

第23条 各授業科目の単位数は、原則として次の基準によって計算する。1単位の授業は45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については40時間をもって1単位とする。

第7章 資格の取得

(教育職員免許状及び保育士資格の取得)

第24条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

- 2 教育職員免許状の取得に必要な授業科目等の履修は、別に定める。

- 3 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりである。

英語観光学科	中学校教諭一種免許状(英語)
	高等学校教諭一種免許状(英語)
心理こども学科	幼稚園教諭一種免許状
	小学校教諭一種免許状

- 4 心理こども学科において保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行令及び児童福祉法施行規則に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。

第8章 卒業及び学位の授与

(卒業)

第25条 本学において4年以上在学し、所定の授業科目を履修して単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

- 3 卒業の時期は、学年の終りとする。ただし、4年以上在学した者については、学期の終りに卒業させることができる。

(学位の授与)

第26条 卒業する者には、学士(文学)の学位を授与する。

第9章 入学

(入学時期)

第27条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第28条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) その他相当の年齢に達し、本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（入学の出願）

第29条 本学に入学を志願する者は、入学検定料を納め、本学所定の入学願書及びその他の必要書類を、所定の期間に学長に願出するものとする。

（入学者の選考）

第30条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続）

第31条 前条の規定による選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学金及び春学期の授業料並びに施設設備費を納め、本学所定の書類を提出しなければならない。

（入学許可）

第32条 学長は、前条の入学手続きを完了した者について入学を許可する。

（保証人）

第33条 入学を許可された者は、保証人を定めて届け出なければならない。保証人は親権者又はそれに準じる者とする。保証人は学生の在学中本人に関する一切の事項について保証しなければならない。

2 保証人が死亡、又はその他の事由によって資格を失ったときは、新たに保証人を定めて届け出なければならない。

3 保証人が姓名を変え、又は転居したときは、速やかにその旨を届け出なければならない。

第10章 再入学、転入学、編入学、転科、休学、復学、退学及び除籍

（再入学）

第34条 本学に1年以上在学して退学した者又は除籍された者が、再び入学を願出たときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に再入学を許可することができる。

（転入学）

第35条 他の大学に1年以上在学した者が、本学に転入学を願出たときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することができる。

（編入学）

第36条 次の各号の一に該当する者が、本学に編入学を願出たときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学を許可することができる。

(1) 他の大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者、又は修得見込みの者

(2) 短期大学を卒業又は卒業見込みの者

(3) 上記(1)(2)と同等以上の学力があると本学が認めた者

（再入学等の手続）

第37条 第34条から第36条までの規定による再入学、転入学又は編入学の願出の手続き、選考及び入学手続きについては、第29条から第31条までの規定を準用する。

（再入学者等の既修得単位の認定）

第38条 再入学、転入学又は編入学を許可された者が、本学又は他の大学等において既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（転科）

第39条 本学の学生が所属学科から他学科への転科を希望するときは、所定の書類を添えて、保証人連署の上、学長に願出で許可を受けなければならない。

2 前項の転科の条件等については別に定める。

（休学）

第40条 学生が病気その他やむを得ない理由により2か月以上修学することができないときは、所定の書類を添えて、保証人連署の上、学長に願出で許可を受けなければならない。なお、病気による場合は、医師の診断書を添えるものとする。

- 2 休学できる期間は原則として1年以内とする。
 - 3 休学期間は、在学期間に算入し、修業期間に算入しない。
- (復学)

第41条 休学した者が、復学しようとするときは、所定の書類を添えて、保証人連署の上、学長に願い出て許可を受けなければならない。なお、病気による場合は、医師の診断書を添えるものとする。

(退学)

第42条 学生が退学しようとするときは、所定の書類を添えて、保証人連署の上、学長に願い出て許可を受けなければならない。なお、病気による場合は、医師の診断書を添えるものとする。

(除籍)

第43条 次の各号の一に該当する者は、除籍することがある。

- (1) 許可された休学期間を経過して、なお復学の見込みのない者で退学しないもの
- (2) 在学年限を超えた者
- (3) 学費の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者
- (4) 長期にわたり所在不明の者

第11章 留学

(留学)

第44条 本学と協定した外国の大学で学修しようとする者は、所定の書類を添えて、保証人連署の上、学長に願い出て許可を受けなければならない。

- 2 留学に関する規程は、別に定める。

第12章 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第45条 本学の学生以外の者で、本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り、選考の上、科目等履修生として許可することができる。

- 2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(聴講生)

第46条 本学の学生以外の者で、本学の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することができる。

- 2 聴講生に関する規程は、別に定める。

(外国人留学生)

第47条 本学に留学を希望する外国人があるときは、選考の上、入学を許可することができる。

第13章 学費

(学費)

第48条 学生は、修学に要する学費を納入しなければならない。

第49条 学費に関する規程は、別に定める。

第50条 (削 除)

第51条 (削 除)

第14章 図書館

(図書館)

第52条 本学に図書館を置き、図書その他の文献及び研究資料を蒐集管理し、学生及び職員の閲覧に供する。

- 2 図書館に関する規程は、別に定める。

第53条 (削 除)

第15章 生涯教育

(生涯教育)

第54条 本学は、社会人の生涯学習に貢献し、多様な学習の機会を提供するため、随時生涯教育に関わる講座を開設することができる。

- 2 生涯教育に関わる講座に関する規程は、別に定める。

第16章 賞罰

(表彰)

第55条 学生として表彰するに値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第56条 学長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、学生に懲戒を加えることができる。

2 前項の懲戒のうち退学、停学及び訓告の処分は、学長がこれを行う。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対し行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなく出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生に対する懲戒の手続きについては、別に定める。

(改廃)

第57条 この学則の改廃は、常務理事会の議を経て理事会が行う。

履 修 要 項

I 履 修 (P. 49)

- 1 履修登録
- 2 履修登録の手続要領
- 3 履修登録上の注意事項
- 4 履修上の注意事項
- 5 履修登録変更と履修放棄
- 6 学外科目
- 7 認定科目

II 授 業 (P. 52)

- 1 授業科目の種類
- 2 授業時間帯と開講期間
- 3 単位
- 4 出欠席
- 5 休講
- 6 補講
- 7 時間割・教室の変更
- 8 授業評価

III 試 験 (P. 55)

- 1 試験
- 2 試験の方法
- 3 試験の種類
- 4 定期試験
- 5 試験に代えるレポート及び卒業研究の提出
- 6 受験資格
- 7 試験欠席
- 8 追試験
- 9 再試験
- 10 受験心得

IV 成績評価 (P. 57)

- 1 成績評価
- 2 成績表示
- 3 成績通知
- 4 不服申し立て
- 5 G. P. A. (Grade Point Average)
- 6 G. P. A. の活用

I 履 修

1 履修登録

履修登録とは、毎年度初めに各自の卒業に向けた履修計画に基づき、その年度に履修しようとする授業科目を大学に届け出る重要な手続きである。手続きに誤りがあると、授業科目の履修ができない結果となることもある。オリエンテーションや履修要項等を参考にして、各授業科目の内容や履修について定められた諸要件、特に卒業に必要な条件をよく理解した上で、計画的に履修登録をすること。

2 履修登録の手続要領

- (1) 学生は、事前に行われる履修登録説明会に参加し、履修要項、授業時間割をもとに、修得済の単位をふまえて当該年度の履修科目を決定する。
- (2) 所定の期間内に、その年度に履修しようとする授業科目をインターネットで学務システム「キャンパスプラン」を使って登録すること。詳細は本学HPにあるキャンパスプラン利用マニュアルを参照してください。
- (3) 秋学期開講科目についても、学年度初めに履修登録すること。
※教務課窓口で履修変更（取消）届を提出する場合は、学生証が必要。

3 履修登録上の注意事項

- (1) 期限内に履修登録を完了しない場合は、原則当該年度の履修は認めない。
- (2) 登録されていない授業科目の履修は一切認めない。
- (3) 履修登録をしたにもかかわらず出席簿に氏名の記載がない場合は、直ちに教務課に問い合わせること。
- (4) 履修登録上限単位数
履修登録可能な単位数の上限を原則として各学期 23 単位と定める。ただし、資格取得希望者が登録できる単位の上限は原則として 32 単位とする。総合的に 4 年間の学修計画を立て、毎年確実に単位を修得していくこと。

4 履修上の注意事項

- (1) 同一時限科目の重複履修の禁止
同一時限に行われる複数の授業科目を、重複して履修することはできない。
- (2) 既修得科目の再履修の禁止
既に単位を修得している授業科目を、再び履修することはできない。
- (3) 配当年次及び履修年次
 - ① 各授業科目には、授業科目一覧に示されているとおり配当年次が定められており、原則として、上位年次配当の授業科目を履修することはできない。
必修科目は、配当年次に履修しなければならないが、選択科目は、支障のない限り配当年次を経過しても履修することができる。
 - ② 必修科目で再履修となった場合は、原則次年度に履修しなければならない。
 - ③ 教員免許状取得を希望する者は、教職に関する科目及び教職関連の科目（保育士資格取得を希望する者は保育士養成課程に関する科目）については、必ず当該配当年次に履修し、単位を修得すること。
配当年次を過ぎると、カリキュラムの改正により科目が廃止されたり、時間割上で必修科目と重複する等によって履修できなくなる場合がある。
- (4) 先修条件
別に定める。
- (5) クラス指定
複数のクラスがある授業科目のうち、教務課より指定されたクラスがある場合は、それ以外のクラスで履修することはできない。やむを得ない理由により別のクラスでの履修を希望する場合には、必ず教務課へ申し出ること。
- (6) 「卒業研究」の作成及び提出
「卒業研究」は本学での学業の集大成として非常に重要な意義を持つものであるから、その作成及び提出については、細心の注意を払い、演習指導教員等の指示・指導を厳守すること。万一提出期限に遅れた場合は、当該年度の審査対象から除外する。提出後、指導教員を主査、原則として同学科教員を副査とする口頭試問を受けなければならない。

- (7) 「教職に関する科目」(平成30年度以前入学生適用)、「教育の基礎的理解に関する科目等」(令和元年度以降入学生適用)の履修

教育職員免許状の取得を希望しない場合でも、一部を除いて「教職に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」を履修し単位を修得することはできるが、英語観光学科においては修得した単位は卒業要件上の単位に算入されないものがある。(P. 78 を熟読すること。)

教員免許状取得のため教職課程を履修する場合に限り、英語観光学科 第1表(平成30年度以前入学生適用)、第2表(令和元年度以降入学生適用)の表に指定された科目については、修得した単位を卒業要件上の単位に算入することができる。

- (8) 「他学科開講科目」の履修

- ① 各学科の学生は、それぞれ他学科で開講されている科目を履修することができる。
- ② 修得した科目は、卒業要件上の単位として扱う。
- ③ 他学科開講科目のうち、原則として、教職に関する科目、資格関連科目、演習科目と実習・実技を伴う科目は履修できない。

- (9) 履修人数制限等

- ① 特定の授業科目については、履修人数の制限を行う場合がある。定員以上の履修者があった場合は教務課でクラス分けのうえ、複数クラスを開講する。
- ② 履修者が極端に少ない場合は、その科目が開講されない場合がある。
- ③ 非常勤講師の担当する科目は、履修人数が5名未満の場合には開講しない。

- (10) 履修条件のある授業科目

特定の授業科目については、履修するために必要となる条件が定められている。各科目のシラバスを参考に、履修条件を満たしているか各自で確認すること。

- (11) 廃止・不開講・変更科目の取り扱い

カリキュラムの授業科目一覧に記載された科目は、それぞれの入学年度の学生に開講が予定されている科目であるが、カリキュラム変更等の事情により、廃止又は変更される場合や不開講となる場合がある。

当該科目が選択科目である場合は、他の科目を履修し卒業要件を満たすこと。必修科目が再履修になったような場合は、他の科目を代替履修する等の処置を講じるので、教務課に申し出て指示を受けること。

5 履修登録変更と履修放棄

- (1) 履修登録の追加

- ① 追加希望科目がある場合は、担当教員に申し出た上で変更前の授業に出席することができる。ただし、担当教員の名簿に氏名が追加されていても教務課へ届けなければ履修登録は完了したことにはならない。必ず、履修登録変更期間に指定用紙にて教務課で追加登録をすること。
- ② 履修登録変更期間に追加登録した授業科目は、変更日以前の出席していない授業時間が欠席扱いとなる。

- (2) 履修登録の取消

既に登録している授業科目を履修放棄する場合は、履修登録変更期間または履修取消最終日までに指定用紙にて教務課で取消手続きをすること。取消を行わなかった科目は、G. P. A. 計算対象科目となりG. P. A. が下がるので注意すること。

6 学外科目

以下の科目は、学外で実施される授業科目で、受講後に卒業要件に含まれる単位としての認定を受けることができる。事前の履修登録はないが、受講希望者は教務課にて手続きをすること。

科 目 名	配当 年次	単位	科 目 分 類	備 考
Australian Studies in Australia	I	4	英語観光学科－展開科目	オーストラリア短期留学
Canadian Studies in Canada	I	4	英語観光学科－展開科目	カナダ短期留学
American Studies in America	I	2	英語観光学科－展開科目	アメリカ短期留学
海外語学文化研修	I	2	英語観光学科－展開科目	認定留学 2回（4単位修得）まで可能

※学外科目は、G. P. A. には算入されない。

※単位の認定は、次学期になる。

7 認定科目

以下の科目は学内科目であるが、認定科目のためG. P. A. には算入されない。

科目名	配当年次	単位	科目分類
キリスト教海外研修	I	2	共通科目－キリスト教
ハワイ研修	I	2	共通科目－総合
オーストラリア幼稚園実習	II	2	共通科目－総合
日本語 1（留学生対象）	I	1	共通科目－外国語
日本語 2（留学生対象）	I	1	共通科目－外国語
TOEIC/TOEFL入門1 ※	I	1	英語観光学科－資格科目－英語・観光
TOEIC/TOEFL入門2 ※	I	1	英語観光学科－資格科目－英語・観光
海外ツーリズム研修	II	2	英語観光学科－基幹科目
TOEIC/TOEFL1 ※	II	2	英語観光学科－資格科目－英語・観光
TOEIC/TOEFL2 ※	II	2	英語観光学科－資格科目－英語・観光
介護等の体験（事後指導を含む）	III	1	英語観光学科－教職科目
介護等の体験（事後指導を含む）	III	1	心理こども学科－資格関連科目
インターンシップ（海外）	II	2	英語観光学科－基幹科目

※ただし、TOEICのスコアが認定基準を満たし、申請した場合のみ認定科目となり、通常授業を履修する場合はG. P. A. の算入対象となる。認定基準についての詳細は別に定める。

Ⅱ 授 業

1 授業科目の種類

- (1) 授業科目はカリキュラムの授業科目一覧のとおり、共通科目、専門科目及び教職に関する科目等で構成される。
- (2) 授業科目は、必ず履修しなければならない<必修科目>、一定単位数以上を選択履修しなければならない<選択必修科目>、及び自由に選択履修することのできる<選択科目>に分けられる。

2 授業時間帯と開講期間

- (1) 授業の時間帯は以下のとおりである。

第1時限	9 : 00 ~ 10 : 30
第2時限	10 : 40 ~ 12 : 10
第3時限	13 : 00 ~ 14 : 30
第4時限	14 : 40 ~ 16 : 10
第5時限	16 : 20 ~ 17 : 50
第6時限	18 : 00 ~ 19 : 30

- (2) 授業科目で、春学期に開講される科目を<春学期科目>、秋学期に開講される科目を<秋学期科目>、また特定の期間に集中的に開講される科目を<集中講義科目>という。

3 単 位

- (1) 各授業科目の単位数は、授業科目一覧のとおりである。
- (2) 1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容で構成されている。
- (3) 授業科目には、それぞれの授業方法と授業時間数に応じて、単位数が定められている。単位は当該科目を所定の期間履修し、試験に合格したとき与えられる。
- (4) 学生が入学前や入学後に他大学等で修得した単位を、本学で修得した単位とみなして認定することがある。

4 出 欠 席

- (1) 学生は履修登録をした全ての授業科目に毎時間出席しなければならない。各授業時間ごとに欠席調査を行うので、欠席・遅刻・早退には十分に注意すること。
- (2) 15分を超える遅刻・早退は欠席とみなされ、さらに15分以内の遅刻・早退は3回をもって1回の欠席とみなされる。交通機関の延着等による遅刻・欠席は必ず駅で延着証明書を受け取ってから大学に登校し、教員に直接提出すること。
- (3) 学生が開講時数の1/3を超えて欠席した場合、授業内容理解を著しく欠くものとみなして、原則として当該科目の単位を認めない。
- (4) 特例欠席について
 - ① 学生が以下の理由で欠席し、届出(特例欠席届)を提出した場合「特例欠席」として扱う。
忌引、感染症による出席停止、大学行事、非常変災、教育実習、保育実習、介護等の体験、就職試験、交通機関等の延着・不通、履修科目による学外活動、その他学長が認めた欠席
 - ② 欠席と成績評価の取り扱いについて
 - ・1/3以上の欠席の取り扱い
 - ア 特例欠席以外の欠席を「通常欠席」とする。
 - イ 通常欠席で開講時数の1/3を超えて欠席した場合（15回授業では5回を超えて、7.5回授業では2.5回を超えての欠席）、時数不足による不合格となる。
 - ウ 通常欠席と特例欠席を合わせて開講時数の1/3を超えて欠席した場合、全欠席回数が開講時数の1/2以内であれば（15回授業では7.5回まで、7.5回授業では3.75回まで）、1/3を超えた分について特例欠席の「補てん」をすることで、時数不足による不合格を免れることができる。
 - エ 「補てん」とは、授業担当者から与えられた課題を果たし、かつその結果が欠席した分の授業を補えるだ

けの理解度を示していると担当者から評価されることをいう。

・欠席による減点の取り扱い

ア 特例欠席も通常欠席も成績評価から減点される。減点の仕方については、授業担当者にゆだねられる。

イ 特例欠席は、補てんにより減点対象からはずされる。補てんの方法と成績評価への反映方法は授業担当者にゆだねられる。

③ 特例欠席届の手続き方法

学生は以下の手続きを行ってください。

ア 必要書類をそろえる。(別表「特例欠席に係る手続き方法」参照)

イ 教務課（企業への就職活動のみキャリアセンター）に申請書類を提出し、特例欠席届の用紙を受け取る。
事後提出の場合は欠席した日より15日以内に提出すること。

ウ 特例欠席届を授業担当者に提出する。

エ 特例欠席届を授業担当者に提出して初めて特例欠席と認定される。

オ 授業の一環での学外活動による遅刻・欠席の扱いについては、授業担当者に確認すること。

※ 特例欠席届を提出しても、欠席が帳消しになるわけではないので注意すること。

別表「特例欠席に係る手続き方法」

	特例欠席の種類	認められる日数	必要添付書類	書類提出先
1	忌引 (三親等以内)	1. 親等と配偶者 7日以内 2. 親等 3日以内 3. 親等 1日 (土日祝日を含む。)	会葬御礼状 または保証人の証明書	特例欠席届(1)：授業担当者 特例欠席届(2)と添付書類： 教務課（保育・教職センター）
2	大学都合 (宗教行事等)	当日		※教育実習、保育実習、介護等の体験は、開始までに手続きをすること。 ※実習終了後、実習先へ実習記録の提出・受取に行く場合は特例欠席に該当しないので、注意すること。
3	感染症※	学長が出席停止を指示した期間	医師の診断書（治療に要する期間）を明記	
4	学長が認めた欠席	学長が認めた期間		
5	教育実習 保育実習 介護等の体験	実習・体験期間 (オリエンテーションを含む。)		
6	就職試験 7. 企業 1. 教員 保育士	試験当日 卒業年次生に限る。 求職登録票を提出済みであること	7. 受験証明書（キャリアセンター設置） 1. 受験証明書（教務課設置） 用紙に企業、または施設の受験証明印を受け、就職試験終了後 <u>15日以内</u> に提出すること	特例欠席届(1)：授業担当者 特例欠席届(2)と受験証明書 ：7. キャリアセンター ：1. 教務課（保育・教職センター）
7	交通機関等の延着、不通	当日、当該時間内	交通機関の発行する延着証明書・不通証明書 (日時が明示・押印されているもの)	欠席になった場合のみ 特例欠席届(1)：授業担当者 特例欠席届(2)と延着証明書 ：教務課 ※遅刻の場合は延着証明書を直接担当教員に提出すること
8	履修科目による学外活動	当日、履修科目担当教員が認める科目		特例欠席届(1)：授業担当者 特例欠席届(2)：教務課

※学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症

第18条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

第1種：エボラ出血熱、クリミヤ・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウィルス属SARSコロナウィルスであるものに限る。）及び鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウィルスA属インフルエンザAウィル

スであってその血清亜型がH5N1であるものに限る。次号及び第19条第1項第2号イにおいて「鳥インフルエンザ(H5N1)」という。）

第2種：インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

第3種：コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第1種の感染症とみなす。

5 休 講

(1) 各授業科目の担当教員がやむを得ない理由により授業を休講する場合は、教務課掲示板にその旨掲示する。

(2) 気象警報発令時の臨時休講

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、明石市、加古川市、姫路市のいずれかの市町村に暴風警報又は暴風雪警報が発令された場合は以下のとおり取り扱うものとする。これ以外の兵庫県南部地域に暴風警報又は暴風雪警報が発令された場合は休講とはならないが、居住地域に暴風警報又は暴風雪警報が発令され、大学への通学が困難で、やむを得ず欠席した場合は特例欠席扱いとする。

暴風・暴風雪警報の解除時刻	対 比
午前7時まで	平常通り授業・試験実施
午前7時から午前10時まで	午前中休講、3時限目より授業・試験実施
午前10時以降	終日休講

(3) 特別警報が発令された場合

特別警報の場合は、大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪及び大雪いずれの場合も臨時休講とする。
また、大学にいる場合は、状況により大学側の判断に従うものとする。

(4) 交通機関運休時の臨時休講

J R（京都～姫路間）又は阪急電鉄が、午前7時現在全面運休しているときは、以下のとおり取り扱うものとする。

交通機関運転再開時刻	対 応
午前7時まで	平常通り授業・試験実施
午前7時から午前10時まで	午前中休講、3時限目より授業・試験実施
午前10時以降	終日休講

(5) 臨時休講についての電話による問い合わせは、受け付けない。各自、大学HPで確認すること。

(6) 警報の発令等が定期試験と重なった場合、当該日の試験は延期する。延期となった試験の日程等は、発令の翌日に掲示にて通知する。

6 補 講

(1) 規定の授業回数を確保できない場合は、補講を行うことを原則とする。担当教員の指示連絡や教務課掲示板の掲示に注意すること。

(2) 規定の授業回数を下回らない授業科目についても、指定された補講日に補講を行うことがある。

(3) 補講は、正規の授業時間として扱われる。

7 時間割・教室の変更

時間割・教室を変更する場合は、教務課掲示板に掲示する。

8 授業評価

本学では、授業内容を一層充実させるため、また教材や教授法を改善するための資料の一環として、授業評価を取り入れている。

Ⅲ 試 験

1 試 験

授業科目を履修した学生に対しては、試験によって授業科目の目標への到達度を測定し、一定の水準を超え合格したと認められたとき、所定の単位を与える。

2 試験の方法

試験の方法には「筆記試験」「レポート」「実技」「実習」等があり、各授業科目によって異なる。

3 試験の種類

試験には「定期試験」「追試験」「再試験」と「平常試験」がある。各学期最終授業時間内に行うものを「定期試験」、科目担当教員が授業中随時必要に応じて行うものを「平常試験」という。「定期試験」「追試験」「再試験」には、「試験に関する規程」が適用される。

4 定期試験

春学期開講科目は春学期末に、秋学期開講科目は秋学期末に定期試験を行う。集中講義等の科目については、当該授業終了後に行うことがある。

定期試験は原則各学期末最終授業時間内で行う。ただし、授業時間外で試験を実施する場合は試験日の約2週間前までに掲示によって発表する。

※定期試験当日に警報等が発令された場合、当該日の試験は延期する。延期となった試験の日程は発令の翌日に掲示にて通知する。

5 試験に代えるレポート及び卒業研究の提出

筆記試験に代わりレポートの提出を課せられた場合は、所定の期限内に提出しなければならない。

この場合のレポートを期限内に提出できない者に対しては、追試験を行わない。

教務課へのレポートの提出は9:00～17:00※。17:00以降は受理しない。（※科目により指定時間がある場合は、その時間を優先する。）

提出期限後のレポート提出、郵送等によるレポート提出は受理しない。教務課提出時には、教務課から「レポート受領書」の交付を受けること。

卒業研究は本人が直接提出しなければならない。提出期限を厳守し、提出先は教務課とする。提出時には、教務課から「卒業研究受領書」の交付を受け、保管すること。「卒業研究に関する内規」を参照すること。

6 受験資格

定期試験を受ける者は、授業料及びその他の学費を完納していること。

7 試験欠席

定期試験に出席できない場合は、事前又は当日速やかに教務課に連絡して指示を受けること。

8 追 試 験

(1) 病気その他やむを得ない理由で定期試験に出席できない者に対しては、追試験を行う。

(2) 追試験を受けるには、当該試験から2日以内に「追試験受験料納付書」に必要事項を記入のうえ、1科目につき1,000円の証紙を購入・貼付して教務課に提出しなければならない。病気等の場合は医師の診断書、就職試験の場合はキャリアセンターの認印又は保育・教職センターの認印、やむを得ない場合は保証人の証明書を添付するものとする。

(3) 追試験の受験許可は、教務部長が行う。本試験の欠席について正当な事由があると認められない場合、又は期日までに上記(2)で定める手続きをしない場合は、追試験の受験を許可しない。追試験の受験が認められない場合は、納付された受験料を返金する。

(4) 追試験において筆記試験の代わりにレポートの提出を課せられた場合でも、(2)の手続きを行わなければならない。

(5) 追試験の成績は、原則として2割減点とする。ただし父母及び兄弟姉妹の死亡による忌引、教育実習、保育実習、介護等の体験による場合はこの限りでない。

(6) 手続きの方法や期限を守らない場合は、追試験を受験することができない。

(7) 定められた日時に追試験を受験しない場合は、理由の如何を問わず受験を放棄したものとみなす。

9 再 試 験

- (1) 定期試験の不合格者については、一定の期日に教務課用の掲示板に学籍番号を掲示し、これをもって通知したものとするので、各自確認すること。再試験は、定期試験の不合格者のうち4年次生に限ってこれを行う。
- (2) 再試験の受験を認められた者は、所定の期日までに「追再試験受験料納付書」に必要事項を記入のうえ、1科目につき1,000円の証紙を教務課で購入・貼付して、提出すること。
- (3) 再試験の受験許可は、教務部長が行う。
- (4) 再試験において筆記試験の代わりにレポートの提出を課せられた場合でも、(2)の手続きを行わなければならない。
- (5) 再試験は合・否をもって評価し、合格点は60点とする。
- (6) 手続きの方法や期限を守らない場合は、再試験を受験することができない。
- (7) 定められた日時に再試験を受験しない場合は、理由の如何を問わず受験を放棄したものとみなす。

10 受験心得

- (1) 試験中は学生証を机上に呈示しなければならない。試験日に学生証を忘れた場合は、教務課に申し出て、仮学生証の交付を受けること。仮学生証は当日限りのものであり、試験終了後直ちに教務課に返却しなければならない。
- (2) 座席が指定されている場合は、指定された席に着席しなければならない。
- (3) 筆記用具及び持ち込みを許可されたもの以外は、すべて教室の前か後に置かなければならない。筆箱・下敷き類も机上に置いてはいけない。
- (4) 科目担当教員から指示された場合をのぞき、携帯電話等の通信機能を有する機器及びパソコンや電子手帳、電子辞書等の電子機器を持ち込んではいけない。
- (5) 試験開始後15分を超えて遅刻した場合は受験できない。遅刻して受験できなかった場合は、速やかにその旨教務課に連絡すること。
- (6) 監督者から特別な指示がない限り、試験開始後30分以内は退出できない。ただし退出を認めない場合もある。
- (7) 白紙で提出する場合も学籍番号、氏名等を記入すること。退出時にはいかなる場合も、答案用紙を持ち出してはいけない。
- (8) 試験場では監督者の指示に従わなければならない。
- (9) 試験中不正行為又は不正行為とおぼしき行為を行った場合は、当該科目の成績を無効とする。

Ⅳ 成績評価

1 成績評価

成績評価の方法は担当教員及び授業科目によって異なるので、各自シラバスを参考にして確認すること。

2 成績表示

評 価	評 価 点	グレード ポイント		合 否
S	90点 ～ 100点	4	授業の到達目標を十分に達成し、きわめて優秀(上位0-10%)	合 格
A	80点 ～ 89点	3	授業の到達目標を十分に達成している	
B	70点 ～ 79点	2	授業の到達目標を達成している	
C	60点 ～ 69点	1	授業の到達目標を最低限達成している	
認定	単 位 認 定	—	単 位 認 定	
F	0 点 ～ 59点	0	授業の到達目標を達成していない	不 合 格
/	評 価 不 能	0	履修放棄・欠席数超過等	

3 成績通知

学期末に保証人宛封書で「成績通知表」を郵送する。

「成績通知表」には、合格科目、履修中科目及び不合格科目の科目名、評価、修得単位数及びG. P. A. を表示する。

なお、成績証明書には、合格科目の科目名、評価記号、修得単位数及びG. P. A. を表示し、不合格科目については一切表示しないが、G. P. A. にはグレードポイント0として算入される。

4 不服申し立て

成績評価に疑問がある場合には、不服を申し立てることができる。「相談用紙（成績等）」により次学期の履修登録変更期間最終日までに教務課経由で担当教員に問い合わせること。

5 G. P. A. (Grade Point Average)

G. P. A. とは、単位当たりの平均点を指し、成績の伸びや学修状況を把握するうえで参考となるものである。

授業科目ごとの成績評価を5段階(S、A、B、C、F)で評価し、それぞれに対してグレードポイント(4、3、2、1、0)を付し、この単位当たりの平均を算出する。

$$G. P. A. = \frac{S \text{ 評価の単位数} \times 4 + A \text{ 評価の単位数} \times 3 + B \text{ 評価の単位数} \times 2 + C \text{ 評価の単位数} \times 1}{\text{総履修登録単位数} - \text{算入されない科目の単位数}}$$

※小数点第3位を四捨五入する。

※原則、認定による修得単位については、計算から除外する。

例えば全科目が「S」の場合、G. P. A. は4.0となる。全履修登録科目が対象となるため、時数不足で評価不能となった科目もG. P. A. の計算対象となる。履修取消最終日までに手続きを行わずに放棄した科目は、0ポイントとして取り扱う。

6 G. P. A. の活用

(1) 成績優秀者

ア. 学期の修得単位が18単位以上でG. P. A. 3.50以上の学生を成績優秀者として表彰

イ. 卒業時累積G. P. A. 3.75以上の学生を表彰

ウ. 直前の学期の修得単位が15単位以上でG. P. A. 3.00以上の学生に対して履修登録上限単位数を26単位に拡大

(2) 成績不振者

ア. 学期のG. P. A. 1.00以下の学生について、担任が個別指導

イ. 2学期以上連続してG. P. A. 1.00以下の学生について、教務課は本人と保証人に文書を送付し、担任は個別に指導を行う。

ウ. 3学期以上連続してG. P. A. 1.00以下の学生について、教務課は本人と保証人に文書を送付し、担任は主任とともに本人と保証人の4人で面談し指導を行う。

エ. 修得単位が、2年次終了時点で32単位以下及び3年次終了時点で78単位以下の学生について、教務課は本人と保証人に文書を送付し、担任は個別に指導を行う。

オ. 累積G. P. A. が1.0未満の学生は原則として卒業が認められない。

現代人間学部
英語観光学科
カリキュラム

カリキュラム

授業科目一覧と卒業要件

【英語観光学科】令和2年度入学生適用 共通科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等 履修	備 考
				必修	選択	中高1	情報	キャリア	観光		
共通科目	キリスト教	11101 キリスト教入門	I	2							
		11105 聖書概論	I	2						○	
		11109 キリスト教海外研修	I		2					○	
		11113 聖書と現代	II	2						○	
		11117 キリスト教と文化	III		2					○	
		11121 キリスト教と文学	III		2					○	
		11125 キリスト教の人間論	III		2					○	
	基礎	11201 基礎演習Ⅰ	I	1							
		11205 基礎演習Ⅱ	I	1							
		11209 人間学Ⅰ	I	2						○	
		11206 海星学Ⅰ	II	1							
		11207 海星学Ⅱ	II	1							
	総合	11213 人間学Ⅱ	III	2			●	1△		○	
		11301 キャリアデザイン入門	I	2			●	●	1△	○	
		11305 生命倫理と法	I		2						
		11309 文学入門	I		2					○	
		11317 心理学概論	I		2		2△	1△			
		11321 統計学入門	I		2		1△				
		11325 ジェンダー論	I		2						
		11329 日本国憲法	I		2	●					
		11333 健康科学	I		1	①					
		11337 健康スポーツⅠ	I		1	①					
		11341 健康スポーツⅡ	I		1	①					
		11343 ハワイ研修	I		2						
		11345 欧米文化入門	II		2						
		11349 環境と文化	II		2					○	
		11353 日本文化史	II		2						
		11355 西洋文化史	III		2						
		11357 簿記会計学	II		2						
		11361 自然科学概論	II		2						
		11365 現代家族関係論	II		2						
		11369 社会福祉論	III		2						
		11373 人権教育論	II		2	●					
		11377 社会科学概論	II		2						
		11381 家政学概論	II		2						
		11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2						
		11385 経営学入門	III		2						
		11393 手話コミュニケーションⅠ	II		1					○	
		11397 手話コミュニケーションⅡ	II		1						
		11517 女性と社会	III		2			1△			
	日本語	11401 日本語表現法	I	2			●	●			
		11405 日本語文章構成法	II		2						
	情報	11313 情報活用の基礎知識	I		2		1△				
		11501 情報リテラシーⅠ	I	2		②	●	1△			
		11505 情報リテラシーⅡ	I	2		②	●	1△			
		11509 オフィス情報処理Ⅰ	II		2		1△				
		11513 オフィス情報処理Ⅱ	II		2		1△				
	外国語	11633 フランス語Ⅰ	I		1	③				○	
		11637 フランス語Ⅱ	I		1	③				○	
		11641 フランス語Ⅲ	I		1					○	
		11645 フランス語Ⅳ	I		1					○	
		11649 フランス語Ⅴ	II		1					○	
		11653 フランス語Ⅵ	II		1					○	
		11657 フランス語Ⅶ	II		1					○	
		11661 フランス語Ⅷ	II		1					○	
		11665 中国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11669 中国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11673 中国語Ⅲ	I		1					○	
		11677 中国語Ⅳ	I		1					○	
		11681 中国語Ⅴ	II		1					○	
		11685 中国語Ⅵ	II		1					○	
		11689 中国語Ⅶ	II		1					○	
		11693 中国語Ⅷ	II		1					○	
		11697 韓国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11701 韓国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11705 韓国語Ⅲ	I		1					○	
		11709 韓国語Ⅳ	I		1					○	
		11713 韓国語Ⅴ	II		1					○	
		11717 韓国語Ⅵ	II		1					○	
		11721 韓国語Ⅶ	II		1					○	
		11725 韓国語Ⅷ	II		1					○	
		11730 日本語Ⅰ（留学生対象）	I		1						
		11734 日本語Ⅱ（留学生対象）	I		1						

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

【英語観光学科】令和2年度入学生適用 専門科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目					科目等 履修	他学科 履修	備考
				必修	選択	キッズ	キャリア	観光	中高1	情報			
カリキュラムET専門	演習科目	13101 演習Ⅰ	Ⅲ	2				Ⅲ●		3△			
		13105 演習Ⅱ	Ⅲ	2						3△			
		13109 演習Ⅲ	Ⅳ	2									
		13113 演習Ⅳ	Ⅳ	2									
		13117 卒業研究	Ⅳ	4									
	基礎科目	コア・イングリッシュ	13901 Oral Communication 100	Ⅰ	1								
			13903 Reading 101	Ⅰ	1								
			13905 Writing 102	Ⅰ	1								
			13907 Grammar 103	Ⅰ	1								
			13908 Pronunciation 104	Ⅰ	2	●			△				
			13909 Oral Communication 200	Ⅰ	1								
			13911 Reading 201	Ⅰ	1								
			13913 Writing 202	Ⅰ	1								
			13915 Grammar 203	Ⅰ	1								
			13916 Pronunciation 204	Ⅰ	2								
			13917 Oral Communication 300	Ⅰ・Ⅱ	2				●				
			13919 Reading 301	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13921 Writing 302	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13923 Grammar 303	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13924 Pronunciation 304	Ⅱ	2								
			13925 Oral Communication 400	Ⅱ	2				●				
			13927 Reading 401	Ⅱ	2								
			13929 Writing 402	Ⅱ	2								
			13931 Grammar 403	Ⅱ	2								
		異文化理解	13272 ホスピタリティ精神論	Ⅰ	2		1△	1△			○	○	
		異文化理解	13409 異文化理解	Ⅰ	2	●			●		○	○	
	専門科目	基幹基礎	13413 英米文学入門	Ⅰ	2				●		○	○	
			13405 ことばと社会	Ⅱ	2						○	○	
			13273 日本文化論	Ⅱ	2						○	○	
			13419 コミュニケーションと文化	Ⅰ	2	●					○	○	
		言語・文化	13301 翻訳・通訳論入門	Ⅱ	2						○	○	
			13713 英語学概論	Ⅱ	2				●		○	○	
			13501 児童文学	Ⅱ	2	●					○	○	
			13967 インターンシップ（海外）	Ⅱ	2							○	
		観光	13426 観光概論	Ⅰ	2			●			○	○	
			13427 国際観光交流論	Ⅰ	2			1△			○	○	
			13838 観光文化地理論	Ⅰ	2						○	○	
			13965 ハワイ文化研究	Ⅰ	2						○	○	
			13430 環境ツーリズム論	Ⅱ	2			2△			○	○	
			13431 観光事業総論	Ⅰ	2			●			○	○	
			13432 観光と世界遺産	Ⅱ	2						○	○	
			13434 観光ビジネス実務論	Ⅱ	2		2△	●			○	○	
			13440 企業研究	Ⅲ	2		1△						
			13445 海外ツーリズム研修	Ⅱ	2								
			13450 ツーリズム実務特論	Ⅱ	1								
			13935 Business English	Ⅱ	2						○	○	
			13937 English for Tourism	Ⅱ	2						○	○	
	展開科目	英語・言語・文化	13939 Oral Communication 500	Ⅱ	2				○		○	○	
			13941 Reading 501	Ⅱ	2				●		○	○	
			13943 Writing 502	Ⅱ	2						○	○	
			13944 Grammar 503	Ⅱ	2								
			13947 Oral Communication 600	Ⅲ	2				○		○	○	
			13949 Reading 601	Ⅲ	2				●		○	○	
			13951 Writing 602	Ⅲ	2						○	○	
			13955 Oral Communication 700	Ⅲ・Ⅳ	2				○		○	○	
			13957 English for Academic Purposes 701	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13961 Oral Communication 800	Ⅳ	2				○		○	○	
			13963 English for Academic Purposes 801	Ⅲ・Ⅳ	2				●		○	○	
			13621 ビジネス翻訳	Ⅲ	2						○	○	
			13521 英米文学研究	Ⅲ	2				●		○	○	
			13830 比較文化論	Ⅲ	2						○	○	

【英語観光学科】令和2年度入学生適用 専門科目

科目分類			科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等 履修	他学科 履修	備考			
専門科目	展開科目	観光	13969	インターンシップ（国内）	Ⅲ		2		2△	3△				○			
			13831	ホスピタリティ・マネジメント	Ⅱ		2		1△				○	○			
			13833	観光マーケティング論	Ⅱ		2			2△			○	○			
			13836	航空ツーリズム論	Ⅲ		2			2△			○	○			
			13835	宿泊事業論	Ⅲ		2			2△			○	○			
			13839	WEBトラベル・プレゼンテーション	Ⅲ		2			2△			○	○			
			13841	神戸学	Ⅲ		2						○	○			
			13832	ビジネス中国語	Ⅲ		2						○	○			
			13837	観光フランス語	Ⅲ		2						○	○			
	※資格科目	キッズイングリッシュ・教職	13701	児童英語教育概論	Ⅰ		2	●						○	○		
			13705	英語科教育法Ⅰ	Ⅰ		2				●			○	○		
			13709	英語科教育法Ⅱ	Ⅱ		2				●			○	○		
			13725	キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ		2	●						○	○		
			13729	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ		2	●						○	○		
			13737	英語科教育法Ⅲ	Ⅲ		2				●			○	○		
			13741	英語科教育法Ⅳ	Ⅲ		2				●			○	○		
			13733	キッズ・イングリッシュⅢ（実習）	Ⅲ		1	●						○	○		
			13745	外国語教授法	Ⅲ		2	●						○	○		
			13809	教職概論	Ⅰ		2	K						○	○	初等	
			13815	教育・学校心理学	Ⅰ		2	K				●	2△	○	○		
			13854	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	Ⅱ		2					●					
			13851	教育方法論	Ⅱ		2					●		○	○		
			13853	教育経営論	Ⅲ		2					●		○	○		
			13852	教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ		2					●		○	○		
			13829	道徳教育指導論	Ⅲ		2	K				●		○	○	中等	
			英語・観光	13848	英検2級	Ⅰ		1							○	○	
				13806	TOEIC/TOEFL入門1	Ⅰ		1							○	○	
		13807		TOEIC/TOEFL入門2	Ⅱ		1							○	○		
		13822		TOEIC/TOEFL 1	Ⅱ		2							○	○		
		13823		TOEIC/TOEFL 2	Ⅲ		2							○	○		
13845	観光英検3級	Ⅰ			1							○	○				
13846	観光英検2級	Ⅰ			1			2△				○	○				
13847	観光英検1級	Ⅱ			2							○	○				

教職・資格関連科目

●：必修科目 ○：4単位選択必修 △：選択科目

K：海星キッズイングリッシュ選択必修科目（3科目中2科目選択必修）

※配当年次Ⅰ・Ⅱの科目は基幹科目の単位として算入する。

※配当年次Ⅲ・Ⅳの科目は展開科目の単位として算入する。

基礎科目の「コア・イングリッシュ」を履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。

・100番台の科目から順番に履修しなければならない。（100番台科目の履修を免除された者を除く）

【英語観光学科】 令和２年度入学生適用 卒業要件

卒業に必要な最低単位数				
共通科目	キリスト教	8	38	124
	基礎	8		
	総合科目	10		
	日本語	2		
	情報	4		
	外国語	6		
専門科目	演習科目	12	78	
	基礎科目	30		
	基幹科目	22		
	展開科目	14		
その他(共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む)			8	

- 卒業するためには、本学に４年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教 8 単位、基礎 8 単位、総合科目 10 単位、日本語 2 単位、情報 4 単位、外国語 6 単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計78単位を修得しなければならない。
演習科目12単位、基礎科目30単位、基幹科目22単位、展開科目14単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・ 1、2 年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・ 当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

カリキュラム

授業科目一覧と卒業要件

【英語観光学科】令和元年度入学生適用 共通科目

科目分類	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等履修	備考
				必修	選択	中高1	情報	キャリア	観光		
共通科目	キリスト教	11101 キリスト教入門	I	2							
		11105 聖書概論	I	2						○	
		11109 キリスト教海外研修	I		2					○	
		11113 聖書と現代	II	2						○	
		11117 キリスト教と文化	III		2					○	
		11121 キリスト教と文学	III		2					○	
		11125 キリスト教的人間論	III		2					○	
	基礎	11201 基礎演習Ⅰ	I	1							
		11205 基礎演習Ⅱ	I	1							
		11209 人間学Ⅰ	I	2				△		○	
		11206 海星学Ⅰ	II	1				●			
		11207 海星学Ⅱ	II	1				●			
	総合	11213 人間学Ⅱ	III	2			●	△		○	
		11301 キャリアデザイン入門	I	2			●	●	III△	○	
		11305 生命倫理と法	I		2						
		11309 文学入門	I		2					○	
		11313 情報活用の基礎知識	I		2		1△				
		11317 心理学概論	I		2		2△	△			
		11321 統計学入門	I		2		1△				
		11325 ジェンダー論	I		2						
		11329 日本国憲法	I		2	●					
		11333 健康科学	I		1	①					
		11337 健康スポーツⅠ	I		1	①					
		11341 健康スポーツⅡ	I		1	①					
		11343 ハワイ研修	I		2						
		11345 欧米文化入門	II		2						
		11349 環境と文化	II		2					○	
		11353 日本文化史	II		2						
		11355 西洋文化史	III		2						
		11357 簿記会計学	II		2						
		11361 自然科学概論	II		2						
		11365 現代家族関係論	II		2						
		11369 社会福祉論	III		2						
		11373 人権教育論	II		2	●					
		11377 社会科学概論	II		2						
		11381 家政学概論	II		2						
		11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2						
		11385 経営学入門	III		2					○	
	日本語	11401 日本語表現法	I	2			●	△	III△		
		11405 日本語文章構成法	II		2			△			
	情報	11501 情報リテラシーⅠ	I	2		②	●	△			
		11505 情報リテラシーⅡ	I	2		②	●	△			
		11509 オフィス情報処理Ⅰ	II		2		1△				
	外国語	11513 オフィス情報処理Ⅱ	II		2		1△				
		11633 フランス語Ⅰ	I		1	③				○	
		11637 フランス語Ⅱ	I		1	③				○	
		11641 フランス語Ⅲ	I		1					○	
		11645 フランス語Ⅳ	I		1					○	
		11649 フランス語Ⅴ	II		1					○	
		11653 フランス語Ⅵ	II		1					○	
		11657 フランス語Ⅶ	II		1					○	
		11661 フランス語Ⅷ	II		1					○	
		11665 中国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11669 中国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11673 中国語Ⅲ	I		1					○	
		11677 中国語Ⅳ	I		1					○	
		11681 中国語Ⅴ	II		1					○	
		11685 中国語Ⅵ	II		1					○	
		11689 中国語Ⅶ	II		1					○	
		11693 中国語Ⅷ	II		1					○	
		11697 韓国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11701 韓国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11705 韓国語Ⅲ	I		1					○	
		11709 韓国語Ⅳ	I		1					○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

【英語観光学科】令和元年度入学生適用 専門科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目					科目等 履修	他学科 履修	備 考
				必修	選択	キッズ	キャリア	観光	中高1	情報			
カリキュラムET専門	演習科目	13101 演習Ⅰ	Ⅲ	2				Ⅲ△					
		13105 演習Ⅱ	Ⅲ	2									
		13109 演習Ⅲ	Ⅳ	2									
		13113 演習Ⅳ	Ⅳ	2									
		13117 卒業研究	Ⅳ	4									
	基礎科目	コア・イングリッシュ	13901 Oral Communication 100	Ⅰ	1								
			13903 Reading 101	Ⅰ	1								
			13905 Writing 102	Ⅰ	1								
			13907 Grammar 103	Ⅰ	1								
			13909 Oral Communication 200	Ⅰ	1								
			13911 Reading 201	Ⅰ	1								
			13913 Writing 202	Ⅰ	1								
			13915 Grammar 203	Ⅰ	1								
			13917 Oral Communication 300	Ⅰ・Ⅱ	2				●				
			13919 Reading 301	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13921 Writing 302	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13923 Grammar 303	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13925 Oral Communication 400	Ⅱ	2				●				
			13927 Reading 401	Ⅱ	2								
			13929 Writing 402	Ⅱ	2								
			13931 Grammar 403	Ⅱ	2								
		異文化理解	13272 ホスピタリティ精神論	Ⅰ	2		△	Ⅲ△			○	○	
			13409 異文化理解	Ⅱ	2	●			●		○	○	
	専門科目	基幹基礎	13413 英米文学入門	Ⅰ	2				●		○	○	
			13405 ことばと社会	Ⅱ	2						○	○	
			13273 日本文化論	Ⅱ	2						○	○	
			13417 ことばの意味・文化	Ⅱ	2	●					○	○	
			13933 English and American Entertainment	Ⅰ	2				○		○	○	
		英語・文化・言語	13301 翻訳・通訳論入門	Ⅱ	2						○	○	
			13713 英語学概論	Ⅱ	2				●		○	○	
			13501 児童文学	Ⅱ	2	●					○	○	
			13967 インターンシップ(海外)	Ⅱ	2							○	
			13426 観光概論	Ⅰ	2			●			○	○	
		観光	13427 国際観光交流論	Ⅰ	2						○	○	
			13838 観光文化地理論	Ⅰ	2						○	○	
			13965 ハワイ文化研究	Ⅰ	2						○	○	
			13428 手話コミュニケーションⅠ	Ⅱ	1						○	○	
			13429 手話コミュニケーションⅡ	Ⅱ	1						○	○	
			13430 環境ツーリズム論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13431 観光事業総論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13432 観光と世界遺産	Ⅱ	2						○	○	
			13434 観光ビジネス実務論	Ⅱ	2			●			○	○	
			13440 企業研究	Ⅱ	2		△						
			13445 海外ツーリズム研修	Ⅱ	2								
			13450 ツーリズム実務特論	Ⅱ	1								
			13935 Business English	Ⅱ	2		△				○	○	
			13937 English for Tourism	Ⅱ	2						○	○	
	展開科目	英語・言語・文化	13939 Oral Communication 500	Ⅱ・Ⅲ	2				○		○	○	
			13941 Reading 501	Ⅱ・Ⅲ	2				●		○	○	
			13943 Writing 502	Ⅱ・Ⅲ	2						○	○	
			13945 Pronunciation 504	Ⅱ・Ⅲ	2	●			○		○	○	
			13947 Oral Communication 600	Ⅲ	2				○		○	○	
			13949 Reading 601	Ⅲ	2				●		○	○	
			13951 Writing 602	Ⅲ	2						○	○	
			13953 Pronunciation 604	Ⅲ	2						○	○	
			13955 Oral Communication 700	Ⅲ・Ⅳ	2				○		○	○	
			13957 English for Academic Purposes 701	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13959 Pronunciation 704	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13961 Oral Communication 800	Ⅳ	2				○		○	○	
			13963 English for Academic Purposes 801	Ⅳ	2				●		○	○	
			13621 ビジネス翻訳	Ⅲ	2						○	○	
			13521 英米文学研究	Ⅲ	2				●		○	○	
			13830 比較文化論	Ⅲ	2		△				○	○	
			13525 女性と社会	Ⅲ	2						○	○	

【英語観光学科】令和元年度入学生適用 専門科目

科目分類			科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等 履修	他学科 履修	備 考			
専門科目	展開科目	観光	13969	インターンシップ（国内）	Ⅲ		2		△	Ⅱ△				○			
			13831	ホスピタリティ・マネジメント	Ⅲ		2						○	○			
			13833	観光マーケティング論	Ⅲ		2				Ⅰ△			○	○		
			13836	航空ツーリズム論	Ⅲ		2				Ⅱ△			○	○		
			13835	宿泊事業論	Ⅲ		2				Ⅱ△			○	○		
			13841	神戸学	Ⅲ		2							○	○		
			13839	WEBトラベル・プレゼンテーション	Ⅲ		2							○	○		
			13832	ビジネス中国語	Ⅲ		2							○	○		
	13837	観光フランス語	Ⅲ		2							○	○				
	※資格科目	キッズイングリッシュ・教職	13701	児童英語教育概論	Ⅰ		2	●						○	○		
			13705	英語科教育法Ⅰ	Ⅰ		2					●			○	○	
			13709	英語科教育法Ⅱ	Ⅱ		2					●			○	○	
			13725	キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ		2	●							○	○	
			13729	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ		2	●							○	○	
			13737	英語科教育法Ⅲ	Ⅲ		2					●			○	○	
			13741	英語科教育法Ⅳ	Ⅲ		2					●			○	○	
			13733	キッズ・イングリッシュⅢ（実習）	Ⅲ		1	●							○	○	
			13745	外国語教授法	Ⅲ		2	●							○	○	
			13809	教職概論	Ⅰ		2	K				●			○	○	
			13815	教育・学校心理学	Ⅰ		2	K				●	2△		○	○	
			13854	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	Ⅱ		2					●					
			13851	教育方法論	Ⅱ		2					●			○	○	
			13853	教育経営論	Ⅲ		2					●			○	○	
		13852	教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ		2					●			○	○		
		13829	道徳教育指導論	Ⅲ		2	K				●			○	○	中等	
		英語・観光	13806	TOEIC/TOEFL入門1	Ⅰ		1								○	○	
			13807	TOEIC/TOEFL入門2	Ⅰ		1								○	○	
			13822	TOEIC/TOEFL 1	Ⅱ		2								○	○	
			13823	TOEIC/TOEFL 2	Ⅱ		2								○	○	
			13845	観光英検3級	Ⅰ		1				Ⅱ△				○	○	
13846			観光英検2級	Ⅰ		1				Ⅱ△				○	○		
13847	観光英検1級		Ⅱ		2								○	○			

教職・資格関連科目

●：必修科目 ○：4単位選択必修 △：選択科目

K：海星キッズイングリッシュ選択必修科目（3科目中2科目選択必修）

※配当年次Ⅰ・Ⅱの科目は基幹科目の単位として算入する。

※配当年次Ⅲ・Ⅳの科目は展開科目の単位として算入する。

基礎科目の「コア・イングリッシュ」を履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。

・100番台の科目から順番に履修しなければならない。（100番台科目の履修を免除された者を除く）

【英語観光学科】 令和元年度入学生適用 卒業要件

卒業に必要な最低単位数				
共通科目	キリスト教	8	38	124
	基礎	8		
	総合科目	10		
	日本語	2		
	情報	4		
	外国語	6		
専門科目	演習科目	12	76	
	基礎科目	28		
	基幹科目	22		
	展開科目	14		
その他(共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む)		10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
演習科目12単位、基礎科目28単位、基幹科目22単位、展開科目14単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

カリキュラム

授業科目一覧と卒業要件

【英語観光学科】平成30年度入学生適用 共通科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等 履修	備考
				必修	選択	中高1	情報	キャリア	観光		
共通科目	キリスト教	11101 キリスト教入門	I	2							
		11105 聖書概論	I	2						○	
		11109 キリスト教海外研修	I		2					○	
		11113 聖書と現代	II	2						○	
		11117 キリスト教と文化	III		2					○	
		11121 キリスト教と文学	III		2					○	
	基礎	11125 キリスト教的人間論	III		2					○	
		11201 基礎演習Ⅰ	I	1							
		11205 基礎演習Ⅱ	I	1							
		11209 人間学Ⅰ	I	2				△		○	
		11206 海星学Ⅰ	II	1				●			
		11207 海星学Ⅱ	II	1				●			
	総合	11213 人間学Ⅱ	III	2			●	△		○	
		11301 キャリアデザイン入門	I	2			●	●	III△	○	
		11305 生命倫理と法	I		2						
		11309 文学入門	I		2					○	
		11313 情報活用の基礎知識	I		2		1△				
		11317 心理学概論	I		2		2△	△			
		11321 統計学入門	I		2		1△				
		11325 ジェンダー論	I		2						
		11329 日本国憲法	I		2	●					
		11333 健康科学	I		1	①					
		11337 健康スポーツⅠ	I		1	①					
		11341 健康スポーツⅡ	I		1	①					
		11343 ハワイ研修	I		2						
		11345 欧米文化入門	II		2						
		11349 環境と文化	II		2					○	
		11353 日本文化史	II		2						
		11355 西洋文化史	III		2						
		11357 簿記会計学	II		2						
		11361 自然科学概論	II		2						
		11365 現代家族関係論	II		2						
		11369 社会福祉論	I		2						
		11373 人権教育論	II		2	●					
		11377 社会科学概論	II		2						
		11381 家政学概論	II		2						
		11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2						
		11385 経営学入門	III		2					○	
	日本語	11401 日本語表現法	I	2			●	△	III△		
		11405 日本語文章構成法	II		2			△			
	情報	11501 情報リテラシーⅠ	I	2		②	●	△			
		11505 情報リテラシーⅡ	I	2		②	●	△			
		11509 オフィス情報処理Ⅰ	II		2		1△				
	外国語	11513 オフィス情報処理Ⅱ	II		2		1△				
		11633 フランス語Ⅰ	I		1	③				○	
		11637 フランス語Ⅱ	I		1	③				○	
		11641 フランス語Ⅲ	I		1					○	
		11645 フランス語Ⅳ	I		1					○	
		11649 フランス語Ⅴ	II		1					○	
		11653 フランス語Ⅵ	II		1					○	
		11657 フランス語Ⅶ	II		1					○	
		11661 フランス語Ⅷ	II		1					○	
		11665 中国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11669 中国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11673 中国語Ⅲ	I		1					○	
		11677 中国語Ⅳ	I		1					○	
		11681 中国語Ⅴ	II		1					○	
		11685 中国語Ⅵ	II		1					○	
		11689 中国語Ⅶ	II		1					○	
		11693 中国語Ⅷ	II		1					○	
		11697 韓国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11701 韓国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11705 韓国語Ⅲ	I		1					○	
		11709 韓国語Ⅳ	I		1					○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

【英語観光学科】平成30年度入学生適用 専門科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目					科目等 履修	他学科 履修	備 考
				必修	選択	キッズ	キャリア	観光	中高1	情報			
カリキュラムET専門	演習科目	13101 演習Ⅰ	Ⅲ	2				Ⅲ△					
		13105 演習Ⅱ	Ⅲ	2									
		13109 演習Ⅲ	Ⅳ	2									
		13113 演習Ⅳ	Ⅳ	2									
		13117 卒業研究	Ⅳ	4									
	基礎科目	コア・イングリッシュ	13901 Oral Communication 100	Ⅰ	1								
			13903 Reading 101	Ⅰ	1								
			13905 Writing 102	Ⅰ	1								
			13907 Grammar 103	Ⅰ	1								
			13909 Oral Communication 200	Ⅰ	1								
			13911 Reading 201	Ⅰ	1								
			13913 Writing 202	Ⅰ	1								
			13915 Grammar 203	Ⅰ	1								
			13917 Oral Communication 300	Ⅰ・Ⅱ	2				●				
			13919 Reading 301	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13921 Writing 302	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13923 Grammar 303	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13925 Oral Communication 400	Ⅱ	2				●				
			13927 Reading 401	Ⅱ	2								
			13929 Writing 402	Ⅱ	2								
			13931 Grammar 403	Ⅱ	2								
		異文化理解	13272 ホスピタリティ精神論	Ⅰ	2		△	Ⅲ△			○	○	
			13409 異文化理解	Ⅱ	2	●			●		○	○	
	専門科目	基幹基礎	13413 英米文学入門	Ⅰ	2				●		○	○	
			13405 ことばと社会	Ⅱ	2						○	○	
			13273 日本文化論	Ⅱ	2						○	○	
			13417 ことばの意味・文化	Ⅱ	2	●					○	○	
			13933 English and American Entertainment	Ⅰ	2				○		○	○	
		英語・文化・言語	13301 翻訳・通訳論入門	Ⅱ	2						○	○	
			13713 英語学概論	Ⅱ	2				●		○	○	
			13501 児童文学	Ⅱ	2	●					○	○	
			13967 インターンシップ（海外）	Ⅱ	2							○	
			13426 観光概論	Ⅰ	2			●			○	○	
		観光	13427 国際観光交流論	Ⅰ	2						○	○	
			13838 観光文化地理論	Ⅰ	2						○	○	
			13965 ハワイ文化研究	Ⅰ	2						○	○	
			13428 手話コミュニケーションⅠ	Ⅱ	1						○	○	
			13429 手話コミュニケーションⅡ	Ⅱ	1						○	○	
			13430 環境ツーリズム論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13431 観光事業総論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13432 観光と世界遺産	Ⅱ	2						○	○	
			13434 観光ビジネス実務論	Ⅱ	2			●			○	○	
			13440 企業研究	Ⅱ	2		△						
			13445 海外ツーリズム研修	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13450 ツーリズム実務特論	Ⅱ	1								
			13935 Business English	Ⅱ	2		△				○	○	
			13937 English for Tourism	Ⅱ	2						○	○	
	展開科目	英語・言語・文化	13939 Oral Communication 500	Ⅱ・Ⅲ	2				○		○	○	
			13941 Reading 501	Ⅱ・Ⅲ	2				●		○	○	
			13943 Writing 502	Ⅱ・Ⅲ	2						○	○	
			13945 Pronunciation 504	Ⅱ・Ⅲ	2	●			△		○	○	
			13947 Oral Communication 600	Ⅲ	2				○		○	○	
			13949 Reading 601	Ⅲ	2				●		○	○	
			13951 Writing 602	Ⅲ	2						○	○	
			13953 Pronunciation 604	Ⅲ	2						○	○	
			13955 Oral Communication 700	Ⅲ・Ⅳ	2				○		○	○	
			13957 English for Academic Purposes 701	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13959 Pronunciation 704	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13961 Oral Communication 800	Ⅳ	2				○		○	○	
			13963 English for Academic Purposes 801	Ⅳ	2				●		○	○	
			13621 ビジネス翻訳	Ⅲ	2						○	○	
			13521 英米文学研究	Ⅲ	2				●		○	○	
			13830 比較文化論	Ⅲ	2		△				○	○	
			13525 女性と社会	Ⅲ	2						○	○	

【英語観光学科】平成30年度入学生適用 専門科目

科目分類			科目コード	科目名	配当 年次	単位数 必修 選択	教職・資格関連科目 キッズ キャリア 観光 中高1 情報					科目等 履修	他学科 履修	備 考		
専門科目	展開科目	観光	13969	インターンシップ (国内)	Ⅲ	2		△	Ⅱ△				○			
			13831	ホスピタリティ・マネジメント	Ⅲ	2						○	○			
			13833	観光マーケティング論	Ⅲ	2			Ⅰ△			○	○			
			13836	航空ツーリズム論	Ⅲ	2			Ⅱ△			○	○			
			13835	宿泊事業論	Ⅲ	2			Ⅱ△			○	○			
			13841	神戸学	Ⅲ	2						○	○			
			13839	WEBトラベル・プレゼンテーション	Ⅲ	2						○	○			
			13832	ビジネス中国語	Ⅲ	2						○	○			
	13837	観光フランス語	Ⅲ	2						○	○					
	※資格科目	キッズ イングリッシュ・ 教職	13701	児童英語教育概論	Ⅰ	2	●						○	○		
			13705	英語科教育法Ⅰ	Ⅰ	2				●			○	○		
			13709	英語科教育法Ⅱ	Ⅱ	2				●			○	○		
			13725	キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ	2	●						○	○		
			13729	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2	●						○	○		
			13737	英語科教育法Ⅲ	Ⅲ	2				●			○	○		
			13741	英語科教育法Ⅳ	Ⅲ	2				●			○	○		
			13733	キッズ・イングリッシュⅢ (実習)	Ⅲ	1	●						○	○		
			13745	外国語教授法	Ⅲ	2	●						○	○		
			13809	教職概論	Ⅰ	2	K						○	○	初等	
			13815	教育・学校心理学	Ⅰ	2	K			●	2△		○	○		
			13850	教育課程論	Ⅱ	2				●			○	○		
			13851	教育方法論	Ⅱ	2				●			○	○		
			13853	教育経営論	Ⅲ	2				●			○	○		
			13852	教育相談 (カウンセリングを含む)	Ⅲ	2				●			○	○		
			13829	道徳教育指導論	Ⅲ	2	K			●			○	○	中等	
			英語・観光	13806	TOEIC/TOEFL入門1	Ⅰ	1							○	○	
				13807	TOEIC/TOEFL入門2	Ⅰ	1							○	○	
		13822		TOEIC/TOEFL 1	Ⅱ	2							○	○		
13823		TOEIC/TOEFL 2		Ⅱ	2							○	○			
13845	観光英検3級	Ⅰ		1			Ⅱ△				○	○				
13846	観光英検2級	Ⅰ		1			Ⅱ△				○	○				
13847	観光英検1級	Ⅱ		2							○	○				

教職・資格関連科目

●：必修科目 ○：4単位選択必修 △：選択科目

K：海星キッズイングリッシュプログラム選択必修科目（3科目中2科目選択必修）

※配当年次Ⅰ・Ⅱの科目は基幹科目の単位として算入する。

配当年次Ⅲ・Ⅳの科目は展開科目の単位として算入する。

基礎科目の「コア・イングリッシュ」を履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。

- ・100番台の科目から順番に履修しなければならない。（100番台科目の履修を免除された者を除く）

【英語観光学科】 平成30年度入学生適用 卒業要件

卒業に必要な最低単位数				
共通科目	キリスト教	8	38	124
	基礎	8		
	総合科目	10		
	日本語	2		
	情報	4		
	外国語	6		
専門科目	演習科目	12	76	
	基礎科目	28		
	基幹科目	22		
	展開科目	14		
その他(共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む)			10	

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
演習科目12単位、基礎科目28単位、基幹科目22単位、展開科目14単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

カリキュラム

授業科目一覧と卒業要件

【英語観光学科】平成29年度入学生適用 共通科目

科目分類	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等履修	備考
				必修	選択	中高1	情報	キャリア	観光		
共通科目	キリスト教	11101 キリスト教入門	I	2							
		11105 聖書概論	I	2						○	
		11109 キリスト教海外研修	I		2					○	
		11113 聖書と現代	II	2						○	
		11117 キリスト教と文化	III		2					○	
		11121 キリスト教と文学	III		2					○	
		11125 キリスト教的人間論	III		2					○	
	基礎	11201 基礎演習Ⅰ	I	1							
		11205 基礎演習Ⅱ	I	1							
		11209 人間学Ⅰ	I	2				I△		○	
		11206 海星学Ⅰ	II	1				●			
		11207 海星学Ⅱ	II	1				●			
	総合	11213 人間学Ⅱ	III	2			II△	I△		○	
		11301 キャリアデザイン入門	I	2			II△	●	III△	○	
		11305 生命倫理と法	I		2						
		11309 文学入門	I		2					○	
		11313 情報活用の基礎知識	I		2		I△				
		11317 心理学概論	I		2		II△	I△			
		11321 統計学入門	I		2		I△				
		11325 ジェンダー論	I		2						
		11329 日本国憲法	I		2	●					
		11333 健康科学	I		1	①					
		11337 健康スポーツⅠ	I		1	①					
		11341 健康スポーツⅡ	I		1	①					
		11343 ハワイ研修	I		2						
		11345 欧米文化入門	II		2						
		11349 環境と文化	II		2					○	
		11353 日本文化史	II		2						
		11355 西洋文化史	III		2						
		11357 簿記会計学	II		2			I△			
		11361 自然科学概論	II		2						
		11365 現代家族関係論	II		2						
		11369 社会福祉論	I		2						
		11373 人権教育論	II		2	●					
		11377 社会科学概論	II		2						
		11381 家政学概論	II		2						
		11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2						
		11385 経営学入門	III		2					○	
	日本語	11401 日本語表現法	I	2			II△	I△	III△		
		11405 日本語文章構成法	II		2			I△			
	情報	11501 情報リテラシーⅠ	I	2		②	●	I△			
		11505 情報リテラシーⅡ	I	2		②	●	I△			
		11509 オフィス情報処理Ⅰ	II		2		I△				
	外国語	11513 オフィス情報処理Ⅱ	II		2		I△				
		11633 フランス語Ⅰ	I		1	③				○	
		11637 フランス語Ⅱ	I		1	③				○	
		11641 フランス語Ⅲ	I		1					○	
		11645 フランス語Ⅳ	I		1					○	
		11649 フランス語Ⅴ	II		1					○	
		11653 フランス語Ⅵ	II		1					○	
		11657 フランス語Ⅶ	II		1					○	
		11661 フランス語Ⅷ	II		1					○	
		11665 中国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11669 中国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11673 中国語Ⅲ	I		1					○	
		11677 中国語Ⅳ	I		1					○	
		11681 中国語Ⅴ	II		1					○	
		11685 中国語Ⅵ	II		1					○	
		11689 中国語Ⅶ	II		1					○	
		11693 中国語Ⅷ	II		1					○	
		11697 韓国語Ⅰ	I		1	③				○	
		11701 韓国語Ⅱ	I		1	③				○	
		11705 韓国語Ⅲ	I		1					○	
		11709 韓国語Ⅳ	I		1					○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

【英語観光学科】平成29年度入学生適用 専門科目

科目分類	科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目					科目等 履修	他学科 履修	備 考
				必修	選択	キッズ	キャリア	観光	中高1	情報			
専門科目	演習科目	13101 演習Ⅰ	Ⅲ	2				Ⅲ△					
		13105 演習Ⅱ	Ⅲ	2									
		13109 演習Ⅲ	Ⅳ	2									
		13113 演習Ⅳ	Ⅳ	2									
		13117 卒業研究	Ⅳ	4									
	基礎科目	コア・イングリッシュ	13901 Oral Communication 100	Ⅰ	1								
			13903 Reading 101	Ⅰ	1								
			13905 Writing 102	Ⅰ	1								
			13907 Grammar 103	Ⅰ	1								
			13909 Oral Communication 200	Ⅰ	1								
			13911 Reading 201	Ⅰ	1								
			13913 Writing 202	Ⅰ	1								
			13915 Grammar 203	Ⅰ	1								
			13917 Oral Communication 300	Ⅰ・Ⅱ	2				●				
			13919 Reading 301	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13921 Writing 302	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13923 Grammar 303	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13925 Oral Communication 400	Ⅱ	2				●				
			13927 Reading 401	Ⅱ	2								
			13929 Writing 402	Ⅱ	2								
			13931 Grammar 403	Ⅱ	2								
		異文化理解	13272 ホスピタリティ精神論	Ⅰ	2		Ⅰ△	Ⅲ△			○	○	
			13409 異文化理解	Ⅱ	2	●			●		○	○	
	基幹科目	基幹基礎	13413 英米文学入門	Ⅰ	2				●		○	○	
			13405 ことばと社会	Ⅱ	2						○	○	
			13273 日本文化論	Ⅱ	2						○	○	
			13417 ことばの意味・文化	Ⅱ	2	●					○	○	
			13933 English and American Entertainment	Ⅰ	2				○		○	○	
		英語・文化・言語	13301 翻訳・通訳論入門	Ⅱ	2						○	○	
			13713 英語学概論	Ⅱ	2				●		○	○	
			13501 児童文学	Ⅱ	2	●					○	○	
			13967 インターンシップ（海外）	Ⅱ	2							○	
			13426 観光概論	Ⅰ	2			●			○	○	
		観光	13427 国際観光交流論	Ⅰ	2						○	○	
			13838 観光文化地理論	Ⅰ	2						○	○	
			13965 ハワイ文化研究	Ⅰ	2						○	○	
			13428 手話コミュニケーションⅠ	Ⅱ	1						○	○	
			13429 手話コミュニケーションⅡ	Ⅱ	1						○	○	
			13430 環境ツーリズム論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13431 観光事業総論	Ⅱ	2			Ⅰ△			○	○	
			13432 観光と世界遺産	Ⅱ	2						○	○	
			13434 観光ビジネス実務論	Ⅱ	2			●			○	○	
			13440 企業研究	Ⅱ	2		Ⅰ△						
			13445 海外ツーリズム研修	Ⅰ・Ⅱ	2								
			13450 ツーリズム実務特論	Ⅱ	1								
			13935 Business English	Ⅱ	2		Ⅰ△				○	○	
			13937 English for Tourism	Ⅱ	2						○	○	
	展開科目	英語・言語・文化	13939 Oral Communication 500	Ⅱ・Ⅲ	2				○		○	○	
			13941 Reading 501	Ⅱ・Ⅲ	2				●		○	○	
			13943 Writing 502	Ⅱ・Ⅲ	2						○	○	
			13945 Pronunciation 504	Ⅱ・Ⅲ	2	●			△		○	○	
			13947 Oral Communication 600	Ⅲ	2				○		○	○	
			13949 Reading 601	Ⅲ	2				●		○	○	
			13951 Writing 602	Ⅲ	2						○	○	
			13953 Pronunciation 604	Ⅲ	2						○	○	
			13955 Oral Communication 700	Ⅲ・Ⅳ	2				○		○	○	
			13957 English for Academic Purposes 701	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13959 Pronunciation 704	Ⅲ・Ⅳ	2						○	○	
			13961 Oral Communication 800	Ⅳ	2				○		○	○	
			13963 English for Academic Purposes 801	Ⅳ	2				●		○	○	
			13621 ビジネス翻訳	Ⅲ	2						○	○	
			13521 英米文学研究	Ⅲ	2				●		○	○	
			13830 比較文化論	Ⅲ	2		Ⅰ△				○	○	
			13525 女性と社会	Ⅲ	2						○	○	

【英語観光学科】平成29年度入学生適用 専門科目

科目分類			科目コード	科目名	配当 年次	単位数		教職・資格関連科目				科目等他学科		備考			
						必修	選択	キッズ	キャリア	観光	中高1	情報	履修	履修			
専門科目	展開科目	観光	13969	インターンシップ（国内）	Ⅲ		2		Ⅱ△	Ⅱ△				○			
			13831	ホスピタリティ・マネジメント	Ⅲ		2						○	○			
			13833	観光マーケティング論	Ⅲ		2			Ⅰ△			○	○			
			13836	航空ツーリズム論	Ⅲ		2			Ⅱ△			○	○			
			13835	宿泊事業論	Ⅲ		2			Ⅱ△			○	○			
			13841	神戸学	Ⅲ		2						○	○			
			13839	WEBトラベル・プレゼンテーション	Ⅲ		2						○	○			
			13832	ビジネス中国語	Ⅲ		2						○	○			
	13837	観光フランス語	Ⅲ		2						○	○					
	※資格科目	キッズイングリッシュ・教職	13701	児童英語教育概論	Ⅰ		2	●						○	○	小1選択	
			13705	英語科教育法Ⅰ	Ⅰ		2				●			○	○		
			13709	英語科教育法Ⅱ	Ⅱ		2				●			○	○		
			13725	キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ		2	●						○	○		
			13729	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ		2	●						○	○		
			13737	英語科教育法Ⅲ	Ⅲ		2				●			○	○		
			13741	英語科教育法Ⅳ	Ⅲ		2				●			○	○		
			13733	キッズ・イングリッシュⅢ（実習）	Ⅲ		1	●						○	○		
			13745	外国語教授法	Ⅲ		2	●						○	○		
			13809	教職概論	Ⅰ		2	K			●			○	○	初等	
			13813	教育心理学	Ⅰ		2	K			●	Ⅱ△		○	○		
			13850	教育課程論	Ⅱ		2				●			○	○		
		13851	教育方法論	Ⅱ		2				●			○	○			
		13853	教育経営論	Ⅲ		2				●			○	○			
		13852	教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ		2				●			○	○			
		13829	道徳教育指導論	Ⅲ		2	K			●			○	○	中等		
		英語・観光	13806	TOEIC/TOEFL入門1	Ⅰ		1								○	○	
			13807	TOEIC/TOEFL入門2	Ⅰ		1								○	○	
13822			TOEIC/TOEFL 1	Ⅱ		2								○	○		
13823			TOEIC/TOEFL 2	Ⅱ		2								○	○		
13845	観光英検3級		Ⅰ		1				Ⅱ△				○	○			
13846	観光英検2級		Ⅰ		1				Ⅱ△				○	○			
13847	観光英検1級	Ⅱ		2								○	○				

教職・資格関連科目

●：必修科目 ○：4単位選択必修 △：選択科目

K：海星キッズイングリッシュプログラム選択必修科目（3科目中2科目選択必修）

※配当年次Ⅰ・Ⅱの科目は基幹科目の単位として算入する。

配当年次Ⅲ・Ⅳの科目は展開科目の単位として算入する。

基礎科目の「コア・イングリッシュ」を履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。

- ・100番台の科目から順番に履修しなければならない。（100番台科目の履修を免除された者を除く）
- ・当該科目より小さい番号の科目の単位を修得済みであること。

例：Oral Communication 200を履修するには、Oral Communication 100の単位を修得済みであること。

Reading 301を履修するには、Reading 101及びReading 201の単位を修得済みであること。

【英語観光学科】 平成29年度入学生適用 卒業要件

卒業に必要な最低単位数					
共通科目	キリスト教	8	38		124
	基礎	8			
	総合科目	10			
	日本語	2			
	情報	4			
	外国語	6			
専門科目	演習科目	12	76		
	基礎科目	28			
	基幹科目	22			
	展開科目	14			
その他(共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む)			10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
演習科目12単位、基礎科目28単位、基幹科目22単位、展開科目14単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

海星キッズイングリッシュプログラムについて

「海星キッズイングリッシュプログラム」とは、幼稚園、小学校、こども英会話教室等で活躍できるキッズイングリッシュの専門家を育成するためのプログラムである。中学校、高等学校英語教職課程を同時に履修することにより、幼児・小学生から中学生・高校生まで、発達の流れを押さえた英語教育の専門家を目指すことができる。

プログラム必修の10科目19単位と選択科目4単位を修得することで、卒業時に海星キッズイングリッシュプログラム修了証書を授与する。

【プログラム修了認定に必要な科目と単位数】

プログラムによる 必修・選択必修 区分		科目コード	科目名	配当年次	単位数
必修 合計単位数19単位	●	1 3 4 0 9	異文化理解（令和2年度入学生適用）	I	2
		1 3 4 0 9	異文化理解（令和元年度以前入学生適用）	Ⅱ	2
	●	1 3 7 0 1	児童英語教育概論	I	2
		1 7 5 1 1	初等英語（平成30年度以降入学生適用）	I	2
	●	1 3 5 0 1	児童文学	Ⅱ	2
		1 7 4 3 7	児童文学	Ⅱ	2
	●	1 3 9 0 8	Pronunciation 104（令和2年度入学生適用）	I	2
		1 3 9 4 5	Pronunciation 504（令和元年度以前入学生適用）	Ⅲ	2
	●	1 7 4 6 1	ことばの発達・学習（平成29年度入学生適用）	Ⅱ	2
		1 7 4 4 7	学習・言語心理学（平成30年度以降入学生適用）	Ⅱ	2
	●	1 3 7 2 5	キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ	2
		1 7 4 6 5	キッズ・イングリッシュⅠ（平成29年度入学生適用）	Ⅱ	2
		1 7 4 6 7	初等英語科指導法（平成30年度以降入学生適用）	Ⅱ	2
	●	1 3 7 2 9	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2
		1 7 4 6 9	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2
	●	1 3 7 3 3	キッズ・イングリッシュⅢ（実習）	Ⅲ	1
	●	1 3 7 4 5	外国語教授法	Ⅲ	2
	●	1 3 4 1 9	コミュニケーションと文化（令和2年度入学生適用）	I	2
1 3 4 1 7		ことばの意味・文化（令和元年度以前入学生適用）	Ⅱ	2	
選択必修 合計単位数4単位	△	1 3 8 0 9	教職概論	I	2
		1 7 6 1 3	教職概論（小）	I	2
		1 7 6 1 3	教職概論（幼保）	I	2
	△	1 3 8 1 3	教育心理学（平成29年度入学生適用）	I	2
		1 3 8 1 5	教育・学校心理学（平成30年度以降入学生適用）	I	2
		1 7 4 0 9	教育心理学（平成29年度入学生適用）	I	2
		1 7 4 1 1	教育・学校心理学（平成30年度以降入学生適用）	I	2
	△	1 3 8 2 9	道德教育指導論（中等）	Ⅲ	2
		1 7 7 4 9	道德教育指導論	Ⅱ	2
合計必要単位数 23単位					

プログラムによる必修・選択必修区分

●：必修 △：2科目選択必修

教職に関する授業科目一覧

中学校・高等学校教諭 1種免許状（英語）

中学校・高等学校教員免許状取得に必要な「教職に関する科目」については単位を修得しても卒業要件単位として認められない科目がある。

カリキュラムは入学年度によって異なるので、留意すること。（詳細については教職課程（P.101）を参照のこと。）

	科目コード	科目名	配当年次	単位	入学年度			備考
					平成29年度以前	平成30年度	令和元年度以降	
教職に関する科目 （教育の基礎的理解に関する科目等及び教科の指導法に関する科目）	14101	教職概論	I	2	○	○		教職課程履修者に限り「共通科目」の単位とする。平成26年度以降は教職課程を辞退した場合「その他」科目として認定する。
	13809	教職概論	I	2			○	専門科目
	14115	教育原理	II	2	○	○	○	教職課程履修者に限り「その他」の科目の単位とする。*
	13813	教育心理学	I	2	○			専門科目
	13815	教育・学校心理学	I	2		○	○	専門科目
	13853	教育経営論	III	2	○	○	○	専門科目
	13705	英語科教育法Ⅰ	I	2	○	○	○	専門科目
	13709	英語科教育法Ⅱ	II	2	○	○	○	専門科目
	13737	英語科教育法Ⅲ	III	2	○	○	○	専門科目
	13741	英語科教育法Ⅳ	III	2	○	○	○	専門科目
	13829	道徳教育指導論	III	2	○	○	○	専門科目・中一種
	14185	特別活動論	II	2	×	×	×	卒業要件算入不可
	14187	特別支援教育	II	2			×	卒業要件算入不可
	13850	教育課程論	II	2	○	○		専門科目
	13854	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	II	2			○	専門科目
	13851	教育方法論	II	2	○	○	○	専門科目
	14217	生徒指導論	III	2	×	×	×	卒業要件算入不可
	13852	教育相談（カウンセリングを含む）	III	2	○	○	○	専門科目
	14214	教職実践演習（中・高）	IV	2	×	×	×	卒業要件算入不可
	14229	教育実習の研究	IV	1	×			卒業要件算入不可
	14231	教育実習指導（中・高）	IV	1		×	×	卒業要件算入不可
	14225	教育実習	IV	4	×	×	×	卒業要件算入不可
教科または教職に関する科目 （大学独自科目）	11373	人権教育論	II	2	○	○	○	専門科目
	14147	介護等の体験（事前指導）	II	1	×	×	×	卒業要件算入不可
	14151	介護等の体験（事後指導を含む）	III	1	×	×	×	卒業要件算入不可
	13829	道徳教育指導論	III	2	○	○	○	専門科目・高一種

○ … 修得した単位は卒業要件として認められる。

×

* … 単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

現代人間学部
心理こども学科
カリキュラム

授業科目一覧と卒業要件

【心理こども学科】 令和2年度入学生適用 共通科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目							科目等履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア		
共通科目	キリスト教	8	11101 キリスト教入門	I	2				●					○	
			11105 聖書概論	I	2									○	
			11109 キリスト教海外研修	I		2								○	
			11113 聖書と現代	II	2									○	
			11117 キリスト教と文化	III	2									○	
			11121 キリスト教と文学	III	2									○	
	基礎	8	11125 キリスト教的人間論	III		2								○	
			11201 基礎演習Ⅰ	I	1										
			11205 基礎演習Ⅱ	I	1										
			11209 人間学Ⅰ	I	2									○	
			11206 海星学Ⅰ	II	1										
			11207 海星学Ⅱ	II	1										
	総合	10	11213 人間学Ⅱ	III	2							●	1△	○	
			11301 キャリアデザイン入門	I	2							●	●	○	
			11305 生命倫理と法	I		2									
			11309 文学入門	I		2								○	
			11317 心理学概論	I		2				a 基	●	2△	1△	○	
			11321 統計学入門	I		2				b 副		1△			
			11325 ジェンダー論	I		2			△						
			11329 日本国憲法	I		2	●	●							
			11333 健康科学	I		1	①	①	●						
			11337 健康スポーツ1	I		1	①	①	②						
			11341 健康スポーツ2	I		1	①	①	②						
			11343 ハワイ研修	I		2									
			11345 欧米文化入門	II		2			△						
			11349 環境と文化	II		2								○	
			11353 日本文化史	II		2			△						
			11355 西洋文化史	III		2									
			11357 簿記会計学	II		2									
			11361 自然科学概論	II		2		◎							
			11365 現代家族関係論	II		2			△						
			11369 社会福祉論	III		2			●						
			11373 人権教育論	II		2		△							
			11377 社会科学概論	II		2		◎							
			11381 家政学概論	II		2		◎							
			11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2									
			11385 経営学入門	III		2								○	
			11393 手話コミュニケーションⅠ	II		1									
			11397 手話コミュニケーションⅡ	II		1									
			11517 女性と社会	III		2							1△		
	日本語	2	11401 日本語表現法	I	2		●	●	●			●	●		
			11405 日本語文章構成法	II		2									
			11313 情報活用の基礎知識	I		2						1△			
	情報	4	11501 情報リテラシー1	I	2		②	②	●			●	1△		
			11505 情報リテラシー2	I	2		②	②	●			●	1△		
			11509 オフィス情報処理1	II		2						1△			
	外国語	6	11513 オフィス情報処理2	II		2						1△			
			11601 英語1	I		1	③	③	③					○	
			11605 英語2	I		1	③	③	③					○	
			11609 英語3	I		1	③	③						○	
			11613 英語4	I		1	③	③						○	
			11617 英語5	II		1								○	
			11621 英語6	II		1								○	
			11625 英語7	II		1								○	
			11629 英語8	II		1								○	
			11633 フランス語1	I		1	③	③	③					○	
			11637 フランス語2	I		1	③	③	③					○	
			11641 フランス語3	I		1								○	
			11645 フランス語4	I		1								○	
			11649 フランス語5	II		1								○	
			11653 フランス語6	II		1								○	
			11657 フランス語7	II		1								○	
			11661 フランス語8	II		1								○	
			11665 中国語1	I		1	③	③	③					○	
			11669 中国語2	I		1	③	③	③					○	
			11673 中国語3	I		1								○	
			11677 中国語4	I		1								○	
			11681 中国語5	II		1								○	
			11685 中国語6	II		1								○	
			11689 中国語7	II		1								○	
			11693 中国語8	II		1								○	
			11697 韓国語1	I		1	③	③	③					○	
			11701 韓国語2	I		1	③	③	③					○	
			11705 韓国語3	I		1								○	
			11709 韓国語4	I		1								○	
			11713 韓国語5	II		1								○	
			11717 韓国語6	II		1								○	
			11721 韓国語7	II		1								○	
			11725 韓国語8	II		1								○	
			11730 日本語1 (留学生対象)	I		1									
			11734 日本語2 (留学生対象)	I		1									

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

◎：6単位選択必修（専門科目を含む）

【心理こども学科】 令和2年度入学生適用 専門科目

科目分類		卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数 必修選択	教職・資格関連科目							科目等履修	他学科履修	備考	
							幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア				
専門科目	演習科目	12	17101	演習Ⅰ	Ⅲ	2							3△				
			17105	演習Ⅱ	Ⅲ	2							3△				
			17109	演習Ⅲ	Ⅳ	2											
			17113	演習Ⅳ	Ⅳ	2											
			17117	卒業研究	Ⅳ	4					i基						
	専門基礎科目	4	17201	発達心理学	Ⅰ	2		●	●	●	a副	●			○	○	
			17205	保育内容総論	Ⅰ	2		●		●						○	
	専門分野科目	心理・臨床・発達	60	17311	感情・人格心理学	Ⅰ	2				g基	●			○	○	
				17327	臨床心理学概論	Ⅱ	2				a副	●			○	○	
				17331	知覚・認知心理学	Ⅱ	2				d基	●			○	○	
				17339	心理学統計法	Ⅱ	2				b基	●			○	○	
				17342	心理学実験	Ⅱ	2				c基	●			○	○	
				17344	心理的アセスメント	Ⅱ	2				c基	●			○	○	
				17345	心理調査・データ処理法	Ⅱ	2				b基				○	○	
				17375	臨床心理学実習(心理テスト法)	Ⅲ	1				c副				○	○	
				17383	心理学的支援法	Ⅲ	1				c副	●			○	○	
				17387	心理学研究法	Ⅲ	2				b基	●			○	○	
				17399	社会・集団・家族心理学	Ⅲ	2				h基	●			○	○	
		こどもの生活世界		17401	こども学概論	Ⅰ	2									○	○
				17405	生活文化概論	Ⅰ	2		△	◎							○
				17411	教育・学校心理学	Ⅰ	2		●	●		f基	●				
				17412	子どもの理解と援助	Ⅲ	1				●						
				17413	こどもと美術	Ⅰ	1									○	○
				17415	初心者ピアノ	Ⅰ	2										○
				17417	初等音楽1	Ⅰ	2		●	◎	●						○
				17421	初等音楽2	Ⅰ	2		●	◎	●						○
				17425	ゆとりと教育	Ⅰ	2									○	○
				17429	フィールドワーク概論	Ⅰ	2										○
				17433	こどもと人間関係	Ⅰ	2									○	○
				17437	児童文学	Ⅱ	2		△	◎							○
				17445	乳幼児心理学	Ⅱ	2				○	f基					○
				17447	学習・言語心理学	Ⅱ	2					d基	●				
				17453	こどもと遊び	Ⅱ	2										○
				17457	算数科概論	Ⅱ	2		△	◎							○
				17467	初等英語科指導法	Ⅱ	2			●						○	○
				17469	キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2									○	○
				17473	初等音楽3	Ⅱ	2		△		○						○
				17477	初等音楽4	Ⅲ	2		△		○						○
				17481	臨床人間学	Ⅲ	2										○
				17485	教育情報学	Ⅲ	2										○
				17489	現代こども学特論	Ⅲ	2										○
				17493	臨床保育学	Ⅲ	2										○
				17497	教育相談(カウンセリングを含む)	Ⅲ	2			●	○						○
	関連科目	こども関連科目	17502	地域子育て支援Ⅰ	Ⅳ	1				○							
			17503	地域子育て支援Ⅱ	Ⅳ	1				○							
			17505	ボランティア論	Ⅰ	2							2△			○	
			17509	図画工作	Ⅰ	2		●	◎	●						○	
			17511	初等英語	Ⅰ	2			●								
			17513	初等体育	Ⅱ	2		●	◎	●						○	
			17517	レクリエーション方法論	Ⅱ	2									○	○	
			17521	教育原理	Ⅱ	2		△	●							○	
			17523	子ども家庭福祉	Ⅱ	2				●							
			17529	少年犯罪と法	Ⅱ	2									○	○	
			17537	情緒・学習障害の心理	Ⅲ	2				○						○	
			17543	福祉心理学	Ⅳ	2						●			○	○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：5単位以上選択必修

【心理こども学科】 令和2年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目							科目等履修	他学科履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア			
専門科目	関連科目	資格関連科目	17601	保育内容の研究・表現(造形表現)	Ⅲ	1	●		●						○	
			17607	保育原理	Ⅰ	2			●							
			17613	教職概論	Ⅰ	2	●	●	●						○	
			17617	幼児教育学原理	Ⅱ	2	●		●						○	
			17623	幼児教育課程論	Ⅱ	2	●		●						○	
			17629	保育内容の研究・人間関係	Ⅱ	2	●		●						○	
			17633	保育内容の研究・言葉	Ⅲ	2	●		●						○	
			17639	社会的養護Ⅰ	Ⅰ	2			●							
			17643	子どもの保健	Ⅱ	2			●							
			17647	子どもの健康と安全	Ⅲ	1			●							
			17650	子どもの食と栄養	Ⅲ	2			●						○	
			17653	保育内容の研究・表現(身体表現)	Ⅱ	1	●		●						○	
			17655	保育内容の研究・表現(音楽表現)	Ⅱ	1	●		●						○	
			17657	教育方法論	Ⅱ	2	●	●	●						○	
			17661	初等国語科指導法	Ⅲ	2		●							○	
			17665	初等社会科指導法	Ⅱ	2		●							○	
			17669	初等算数科指導法	Ⅱ	2		●							○	
			17673	初等理科指導法	Ⅱ	2		●							○	
			17677	初等生活科指導法	Ⅱ	2		●							○	
			17681	特別活動論	Ⅱ	2		●							○	
			17683	特別支援教育	Ⅱ	2	●	●							○	
			17684	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	Ⅱ	2		●							○	
			17686	保育・教職実践演習(幼・小)	Ⅳ	2	●	●	●						○	
			17691	教育実習指導(幼稚園)Ⅰ	Ⅱ	1	●								○	
			17693	教育実習Ⅰ	Ⅱ	1	●								○	
			17697	介護等の体験(事前指導)	Ⅱ	1		●							○	
			17701	介護等の体験(事後指導含む)	Ⅲ	1		●							○	
			17707	教育実習指導(幼稚園)Ⅱ	Ⅲ	1	●								○	
			17709	教育実習Ⅱ	Ⅲ	3	●								○	
			17713	教育経営論	Ⅲ	2	●	●							○	
			17717	保育内容の研究・健康	Ⅲ	2	●		●						○	
			17721	保育内容の研究・環境	Ⅲ	2	●		●						○	
			17725	幼児教育指導法	Ⅲ	2	●								○	
			17727	幼児理解の理論と方法(教育相談を含む)	Ⅲ	2	●		●							
			17733	初等音楽科指導法	Ⅲ	2		●							○	
			17737	初等図画工作科指導法	Ⅲ	2		●							○	
			17741	初等家庭科指導法	Ⅲ	2		●							○	
			17745	初等体育科指導法	Ⅲ	2		●							○	
			17749	道徳教育指導論	Ⅱ	2		●							○	
			17753	生徒指導論(進路指導を含む)	Ⅲ	2		●							○	
			17640	社会的養護Ⅱ	Ⅲ	1			●						○	
			17763	子ども家庭支援の心理学	Ⅲ	2			●							
			17768	子育て支援	Ⅳ	1			●						○	
			17759	子ども家庭支援論	Ⅲ	2			●						○	
			17778	乳児保育Ⅰ	Ⅰ	2			●						○	
			17779	乳児保育Ⅱ	Ⅱ	1			●						○	
			17782	障害児保育	Ⅳ	2			●						○	
			17783	障害者・障害児心理学	Ⅱ	2					●			○	○	
			17785	教育実習指導(小学校)	Ⅲ	1		●							○	
			17789	教育実習(小学校)	Ⅲ	4		●							○	
			17812	保育実習指導ⅠA	Ⅱ	1			●						○	
			17813	保育実習指導ⅠB	Ⅱ	1			●						○	
			17814	保育実習ⅠA(保育所実習)	Ⅱ	2			●						○	
			17817	保育実習ⅠB(児童福祉施設実習)	Ⅱ	2			●						○	
			17821	保育実習指導Ⅱ	Ⅲ	1			●						○	
			17823	保育実習Ⅱ(保育所実習)	Ⅲ	2			●						○	
			17827	神経・生理心理学	Ⅱ	2				e基	●			○	○	
			17831	司法・犯罪心理学	Ⅱ	2				g基	●			○	○	
			17835	健康・医療心理学	Ⅲ	2					●			○	○	
			17839	心理演習	Ⅳ	2				g基	●					
			17843	公認心理師の職責	Ⅳ	2					●					
			17847	産業・組織心理学	Ⅳ	2				h基	●			○	○	
			17851	精神疾患とその治療	Ⅳ	2					●			○	○	
			17855	人体の構造と機能及び疾病	Ⅳ	2					●			○	○	
			17859	関係行政論	Ⅳ	2					●			○	○	
			17861	心理実習	Ⅲ	2					●			○	○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修(共通科目を含む)

【心理こども学科】令和2年度以降入学生適用 卒業要件

卒業要件及び履修方法					
共通科目	キリスト教		8	38	124
	基礎		8		
	総合科目		10		
	日本語		2		
	情報		4		
	外国語		6		
専門科目	演習科目		12	76	
	専門基礎科目		4		
	専門分野科目	心理・臨床・発達	60		
		こどもの生活世界			
	関連科目	こども関連科目			
		資格関連科目			
その他（共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む）			10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
ア 演習科目12単位を修得しなければならない。
イ 専門基礎科目4単位を修得しなければならない。
ウ 専門分野科目、関連科目あわせて60単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

授業科目一覧と卒業要件

【心理こども学科】 令和元年度入学生適用 共通科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目							科目等履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア		
共通科目	キリスト教	8	11101 キリスト教入門	I	2				●						
			11105 聖書概論	I	2									○	
			11109 キリスト教海外研修	I		2								○	
			11113 聖書と現代	II	2									○	
			11117 キリスト教と文化	III	2									○	
			11121 キリスト教と文学	III	2									○	
			11125 キリスト教的人間論	III	2									○	
	基礎	8	11201 基礎演習Ⅰ	I	1										
			11205 基礎演習Ⅱ	I	1										
			11209 人間学Ⅰ	I	2									○	
			11206 海星学Ⅰ	II	1										
			11207 海星学Ⅱ	II	1										
			11213 人間学Ⅱ	III	2							●	1△	○	
	総合	10	11301 キャリアデザイン入門	I	2							●	●	○	
			11305 生命倫理と法	I	2									○	
			11309 文学入門	I	2									○	
			11313 情報活用の基礎知識	I	2							1△			
			11317 心理学概論	I	2					a 基	●	2△	1△	○	
			11321 統計学入門	I	2					b 副		1△			
			11325 ジェンダー論	I	2				△						
			11329 日本国憲法	I	2		●	●							
			11333 健康科学	I	1	①	①	●							
			11337 健康スポーツ1	I	1	①	①	②							
			11341 健康スポーツ2	I	1	①	①	②							
			11343 ハワイ研修	I	2										
			11345 欧米文化入門	II	2			△							
			11349 環境と文化	II	2									○	
			11353 日本文化史	II	2			△							
			11355 西洋文化史	III	2										
			11357 簿記会計学	II	2										
			11361 自然科学概論	II	2		◎								
			11365 現代家族関係論	II	2			△							
			11369 社会福祉論	III	2			●							
			11373 人権教育論	II	2		△								
			11377 社会科学概論	II	2		◎								
			11381 家政学概論	II	2		◎								
			11383 オーストラリア幼稚園実習	II	2										
			11385 経営学入門	III	2									○	
	日本語	2	11401 日本語表現法	I	2		●	●	●			●	1△		
			11405 日本語文章構成法	II	2								1△		
	情報	4	11501 情報リテラシー1	I	2		②	②	●			●	△		
			11505 情報リテラシー2	I	2		②	②	●			●	△		
			11509 オフィス情報処理1	II	2							1△			
			11513 オフィス情報処理2	II	2							1△			
	外国語	6	11601 英語1	I	1	③	③	③						○	
			11605 英語2	I	1	③	③	③						○	
			11609 英語3	I	1	③	③							○	
			11613 英語4	I	1	③	③							○	
			11617 英語5	II	1									○	
			11621 英語6	II	1									○	
			11625 英語7	II	1									○	
			11629 英語8	II	1									○	
			11633 フランス語1	I	1	③	③	③						○	
			11637 フランス語2	I	1	③	③	③						○	
			11641 フランス語3	I	1									○	
			11645 フランス語4	I	1									○	
			11649 フランス語5	II	1									○	
			11653 フランス語6	II	1									○	
			11657 フランス語7	II	1									○	
			11661 フランス語8	II	1									○	
			11665 中国語1	I	1	③	③	③						○	
			11669 中国語2	I	1	③	③	③						○	
			11673 中国語3	I	1									○	
			11677 中国語4	I	1									○	
			11681 中国語5	II	1									○	
			11685 中国語6	II	1									○	
			11689 中国語7	II	1									○	
			11693 中国語8	II	1									○	
			11697 韓国語1	I	1	③	③	③						○	
			11701 韓国語2	I	1	③	③	③						○	
			11705 韓国語3	I	1									○	
			11709 韓国語4	I	1									○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

◎：6単位選択必修（専門科目を含む）

【心理こども学科】 令和元年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目							科目等履修	他学科履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア			
カリキュラムPC専門	演習科目	12	17101 演習Ⅰ	Ⅲ	2								3△			
			17105 演習Ⅱ	Ⅲ	2								3△			
			17109 演習Ⅲ	Ⅳ	2											
			17113 演習Ⅳ	Ⅳ	2											
			17117 卒業研究	Ⅳ	4					i基						
	専門基礎科目	4	17201 発達心理学	Ⅰ	2		●	●	●	a副	●			○	○	
			17205 保育内容総論	Ⅰ	2		●		●						○	
	専門科目	心理・臨床・発達	17311 感情・人格心理学	Ⅰ	2					g基	●			○	○	
			17327 臨床心理学概論	Ⅱ	2					a副	●			○	○	
			17331 知覚・認知心理学	Ⅱ	2					d基	●			○	○	
			17339 心理学統計法	Ⅱ	2					b基	●			○	○	
			17342 心理学実験	Ⅱ	2					c基	●			○	○	
			17344 心理的アセスメント	Ⅱ	2					c基	●			○	○	
			17345 心理調査・データ処理法	Ⅱ	2					b基				○	○	
			17375 臨床心理学実習(心理テスト法)	Ⅲ	1					c副				○	○	
			17383 心理学的支援法	Ⅲ	1					c副	●			○	○	
			17387 心理学研究法	Ⅲ	2					b基	●			○	○	
			17399 社会・集団・家族心理学	Ⅲ	2					h基	●			○	○	
		こどもの生活世界	17401 こども学概論	Ⅰ	2									○	○	
			17405 生活文化概論	Ⅰ	2		△	◎							○	
			17411 教育・学校心理学	Ⅰ	2		●	●		f基	●	2△				
			17412 子どもの理解と援助	Ⅲ	1				●							
			17413 こどもと美術	Ⅰ	1									○	○	
			17415 初心者ピアノ	Ⅰ	2										○	
			17417 初等音楽1	Ⅰ	2		●	◎	●						○	
			17421 初等音楽2	Ⅰ	2		●	◎	●						○	
			17425 ゆとりと教育	Ⅰ	2									○	○	
			17429 フィールドワーク概論	Ⅰ	2										○	
			17433 こどもと人間関係	Ⅰ	2									○	○	
			17437 児童文学	Ⅱ	2		△	◎							○	
			17445 乳幼児心理学	Ⅱ	2				○	f基					○	
			17447 学習・言語心理学	Ⅱ	2					d基	●					
			17453 こどもと遊び	Ⅱ	2										○	
			17457 算数科概論	Ⅱ	2		△	◎							○	
			17467 初等英語科指導法	Ⅱ	2			●						○	○	
			17469 キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2									○	○	
			17473 初等音楽3	Ⅲ	2		△		○						○	
			17477 初等音楽4	Ⅳ	2		△		○						○	
			17481 臨床人間学	Ⅲ	2										○	
			17485 教育情報学	Ⅲ	2										○	
			17489 現代こども学特論	Ⅲ	2									○	○	
			17493 臨床保育学	Ⅲ	2									○	○	
			17497 教育相談(カウンセリングを含む)	Ⅲ	2			●	○						○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：5単位以上選択必修 △：選択科目

【心理こども学科】 令和元年度入学生適用 専門科目

科目分類		卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位数		教職・資格関連科目						科目等履修	他学科履修	備考			
						必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報				キャリア		
専門科目	関連科目	60	資格関連科目	17502	地域子育て支援Ⅰ	Ⅳ		1				○							
				17503	地域子育て支援Ⅱ	Ⅳ		1				○							
				17505	ボランティア論	Ⅰ		2							2△			○	
				17509	図画工作	Ⅰ		2	●		◎	●						○	
				17511	初等英語	Ⅰ		2			●								
				17513	初等体育	Ⅱ		2	●		◎	●						○	
				17517	レクリエーション方法論	Ⅱ		2									○		
				17521	教育原理	Ⅱ		2	△		●							○	
				17523	子ども家庭福祉	Ⅱ		2				●							
				17529	少年犯罪と法	Ⅱ		2									○		
				17537	情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2					○					○	
				17543	福祉心理学	Ⅳ		2						●			○		
	17601			保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅲ		1	●				●						○	
	17607			保育原理	Ⅰ		2					●							
	17613			教職概論	Ⅰ		2	●		●		●						○	
	17617			幼児教育学原理	Ⅱ		2	●				●						○	
	17623			幼児教育課程論	Ⅱ		2	●				●						○	
	17629			保育内容の研究・人間関係	Ⅱ		2	●				●						○	
	17633			保育内容の研究・言葉	Ⅲ		2	●				●						○	
	17639			社会的養護Ⅰ	Ⅰ		2					●							
	17643			子どもの保健	Ⅱ		2					●							
	17647			子どもの健康と安全	Ⅲ		1					●						○	
	17650			子どもの食と栄養	Ⅲ		2					●						○	
	17653			保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ		1	●				●						○	
	17655			保育内容の研究・表現（音楽表現）	Ⅱ		1	●				●						○	
	17657			教育方法論	Ⅱ		2	●		●		●						○	
	17661			初等国語科指導法	Ⅲ		2				●							○	
	17665			初等社会科指導法	Ⅱ		2				●							○	
	17669			初等算数科指導法	Ⅱ		2				●							○	
	17673			初等理科指導法	Ⅱ		2				●							○	
	17677			初等生活科指導法	Ⅱ		2				●							○	
	17681			特別活動論	Ⅱ		2				●							○	
	17683			特別支援教育	Ⅱ		2	●			●								
	17684			教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	Ⅱ		2				●								
	17686			保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ		2	●			●							○	
	17691			教育実習指導（幼稚園）Ⅰ	Ⅱ		1	●										○	
	17693			教育実習Ⅰ	Ⅱ		1	●										○	
	17697			介護等の体験（事前指導）	Ⅱ		1				●							○	
	17701			介護等の体験（事後指導含む）	Ⅲ		1				●							○	
	17707			教育実習指導（幼稚園）Ⅱ	Ⅲ		1	●										○	
	17709			教育実習Ⅱ	Ⅲ		3	●										○	
	17713			教育経営論	Ⅲ		2	●			●							○	
	17717			保育内容の研究・健康	Ⅲ		2	●				●						○	
	17721			保育内容の研究・環境	Ⅲ		2	●				●						○	
	17725			幼児教育指導法	Ⅲ		2	●				●						○	
	17727			幼児理解の理論と方法（教育相談を含む）	Ⅲ		2	●				●							
	17733			初等音楽科指導法	Ⅲ		2				●							○	
	17737			初等図画工作科指導法	Ⅲ		2				●							○	
	17741			初等家庭科指導法	Ⅲ		2				●							○	
	17745			初等体育科指導法	Ⅲ		2				●							○	
	17749			道徳教育指導論	Ⅱ		2				●							○	
	17753			生徒指導論（進路指導を含む）	Ⅲ		2				●							○	
	17640			社会的養護Ⅱ	Ⅲ		1					●						○	
	17763			子ども家庭支援の心理学	Ⅲ		2					●							
	17768			子育て支援	Ⅳ		1					●						○	
	17759			子ども家庭支援論	Ⅲ		2					●							
17778	乳児保育Ⅰ	Ⅰ		2					●						○				
17779	乳児保育Ⅱ	Ⅱ		1					●						○				
17782	障害児保育	Ⅳ		2					●						○				
17783	障害者・障害児心理学	Ⅱ		2						●			○		○				
17785	教育実習指導（小学校）	Ⅲ		1				●							○				
17789	教育実習（小学校）	Ⅲ		4				●							○				
17812	保育実習指導ⅠA	Ⅱ		1					●						○				
17813	保育実習指導ⅠB	Ⅱ		1					●						○				
17814	保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅱ		2					●						○				
17817	保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅱ		2					●						○				
17821	保育実習指導Ⅱ	Ⅲ		1					●						○				
17823	保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅲ		2					●						○				
17827	神経・生理心理学	Ⅱ		2						e基	●		○		○				
17831	司法・犯罪心理学	Ⅱ		2						g基	●		○		○				
17835	健康・医療心理学	Ⅲ		2							●		○		○				
17839	心理演習	Ⅳ		2						g基	●								
17843	公認心理師の職責	Ⅳ		2							●								
17847	産業・組織心理学	Ⅳ		2						h基	●		○		○				
17851	精神疾患とその治療	Ⅳ		2							●		○		○				
17855	人体の構造と機能及び疾病	Ⅳ		2							●		○		○				
17859	関係行政論	Ⅳ		2							●		○		○				
17861	心理実習	Ⅲ		2							●		○		○				

教職・資格関連科目

●：必修科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：5単位以上選択必修 △：選択科目

【心理こども学科】令和元年度入学生適用 卒業要件

卒業要件及び履修方法					
共通科目	キリスト教		8	38	124
	基礎		8		
	総合科目		10		
	日本語		2		
	情報		4		
	外国語		6		
専門科目	演習科目		12	76	
	専門基礎科目		4		
	専門分野科目	心理・臨床・発達	60		
		こどもの生活世界			
	関連科目	こども関連科目			
		資格関連科目			
その他（共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む）			10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
ア 演習科目12単位を修得しなければならない。
イ 専門基礎科目4単位を修得しなければならない。
ウ 専門分野科目、関連科目あわせて60単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

授業科目一覧と卒業要件

【心理こども学科】 平成30年度入学生適用 共通科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位		教職・資格関連							科目等履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア		
共通科目	キリスト教	8	11101 キリスト教入門	I	2				●						
			11105 聖書概論	I	2									○	
			11109 キリスト教海外研修	I		2								○	
			11113 聖書と現代	II	2									○	
			11117 キリスト教と文化	III		2								○	
			11121 キリスト教と文学	III		2								○	
			11125 キリスト教的人間論	III		2								○	
	基礎	8	11201 基礎演習Ⅰ	I	1										
			11205 基礎演習Ⅱ	I	1										
			11209 人間学Ⅰ	I	2									○	
			11206 海星学Ⅰ	II	1										
			11207 海星学Ⅱ	II	1										
			11213 人間学Ⅱ	III		2						●	1 △	○	
	総合科目	10	11301 キャリアデザイン入門	I	2							●	●	○	
			11305 生命倫理と法	I		2								○	
			11309 文学入門	I		2								○	
			11313 情報活用の基礎知識	I		2						1 △			
			11317 心理学概論	I		2				a 基	●	2 △	1 △	○	
			11321 統計学入門	I		2				b 副		1 △			
			11325 ジェンダー論	I		2			△						
			11329 日本国憲法	I		2	●	●							
			11333 健康科学	I	1	1	①	①	●						
			11337 健康スポーツ 1	I	1	1	①	①	②						
			11341 健康スポーツ 2	I	1	1	①	①	②						
			11343 ハワイ研修	I		2									
			11345 欧米文化入門	II		2			△					○	
			11349 環境と文化	II		2									
			11353 日本文化史	II		2			△						
			11355 西洋文化史	III		2									
			11357 簿記会計学	II		2									
			11361 自然科学概論	II		2		◎							
			11365 現代家族関係論	II		2			△						
			11369 社会福祉論	I		2			●						
			11373 人権教育論	II		2		△							
			11377 社会科学概論	II		2		◎							
			11381 家政学概論	II		2		◎							
			11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2									
			11385 経営学入門	III		2								○	
	日本語	2	11401 日本語表現法	I	2		●	●	●			●	●		
			11405 日本語文章構成法	II		2									
	情報	4	11501 情報リテラシー 1	I	2		②	②	●			●	1 △		
			11505 情報リテラシー 2	I	2		②	②	●			●	1 △		
			11509 オフィス情報処理 1	II		2						1 △			
			11513 オフィス情報処理 2	II		2						1 △			
	外国語	6	11601 英語 1	I	1	1	③	③	③					○	
			11605 英語 2	I	1	1	③	③	③					○	
			11609 英語 3	I	1	1	③	③						○	
			11613 英語 4	I	1	1	③	③						○	
			11617 英語 5	II	1	1								○	
			11621 英語 6	II	1	1								○	
			11625 英語 7	II	1	1								○	
			11629 英語 8	II	1	1								○	
			11633 フランス語 1	I	1	1	③	③	③					○	
			11637 フランス語 2	I	1	1	③	③	③					○	
			11641 フランス語 3	I	1	1								○	
			11645 フランス語 4	I	1	1								○	
			11649 フランス語 5	II	1	1								○	
			11653 フランス語 6	II	1	1								○	
			11657 フランス語 7	II	1	1								○	
			11661 フランス語 8	II	1	1								○	
			11665 中国語 1	I	1	1	③	③	③					○	
			11669 中国語 2	I	1	1	③	③	③					○	
			11673 中国語 3	I	1	1								○	
			11677 中国語 4	I	1	1								○	
			11681 中国語 5	II	1	1								○	
			11685 中国語 6	II	1	1								○	
			11689 中国語 7	II	1	1								○	
			11693 中国語 8	II	1	1								○	
			11697 韓国語 1	I	1	1	③	③	③					○	
			11701 韓国語 2	I	1	1	③	③	③					○	
			11705 韓国語 3	I	1	1								○	
			11709 韓国語 4	I	1	1								○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修

◎：6単位選択必修（専門科目を含む）

【心理こども学科】 平成30年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名称	配当年次	単位		教職・資格関連							科目等履修	他学科履修
					必	選	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア		
専門科目	演習科目	12	17101 演習Ⅰ	Ⅲ	2										
			17105 演習Ⅱ	Ⅲ	2										
			17109 演習Ⅲ	Ⅳ	2										
			17113 演習Ⅳ	Ⅳ	2										
			17117 卒業研究	Ⅳ	4					i 基					
	専門基礎科目	4	17201 発達心理学	Ⅰ	2		●	●	●	a 副	●			○	○
			17205 保育内容総論	Ⅰ	2		●		●						○
	専門分野科目	心理・臨床・発達	17311 感情・人格心理学	Ⅰ	2					g 基	●			○	○
			17327 臨床心理学概論	Ⅱ	2				○	a 副	●			○	○
			17331 知覚・認知心理学	Ⅱ	2					d 基	●			○	○
			17339 心理学統計法	Ⅱ	2					b 基	●			○	○
			17342 心理学実験	Ⅱ	2					c 基	●			○	○
			17344 心理的アセスメント	Ⅱ	2					c 基	●			○	○
			17345 心理調査・データ処理法	Ⅱ	2					b 基				○	○
			17375 臨床心理学実習（心理テスト法）	Ⅲ	1					c 副				○	○
			17383 心理学的支援法	Ⅲ	1					c 副	●			○	○
			17387 心理学研究法	Ⅲ	2					b 基	●			○	○
			17399 社会・集団・家族心理学	Ⅲ	2					h 基	●			○	○
		こどもの生活世界	17401 こども学概論	Ⅰ	2									○	○
			17405 生活文化概論	Ⅰ	2		△	◎							○
			17411 教育・学校心理学	Ⅰ	2		●	●	●	f 基	●	2 △			
			17413 こどもと美術	Ⅰ	1									○	○
			17415 初心者ピアノ	Ⅰ	2										○
			17417 初等音楽1	Ⅰ	2		●	◎	●						○
			17421 初等音楽2	Ⅰ	2		●	◎	●						○
			17425 ゆとりと教育	Ⅰ	2									○	○
			17429 フィールドワーク概論	Ⅰ	2				○						○
			17433 こどもと人間関係	Ⅰ	2									○	○
			17437 児童文学	Ⅱ	2		△	◎							○
			17445 乳幼児心理学	Ⅱ	2				○	f 基					○
			17447 学習・言語心理学	Ⅱ	2					d 基	●				
			17453 こどもと遊び	Ⅱ	2				○						○
			17457 算数科概論	Ⅱ	2		△	◎							○
			17467 初等英語科指導法	Ⅱ	2			△						○	○
			17469 キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2									○	○
			17473 初等音楽3	Ⅱ	2		△		○						○
			17477 初等音楽4	Ⅲ	2		△		○						○
			17481 臨床人間学	Ⅲ	2										○
			17485 教育情報学	Ⅲ	2										○
			17489 現代こども学特論	Ⅲ	2									○	○
			17493 臨床保育学	Ⅲ	2									○	○
			17497 教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ	2			●	○						○

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：9単位以上選択必修

【心理こども学科】 平成30年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名称	配当年次	単位		教職・資格関連							科目等履修	他学科履修
					必	選	幼1	小1	保育	心理(認)	心理(公)	情報	キャリア		
専門科目	関連科目	60	17501 子育て支援と地域社会	Ⅲ		2			○						○
			17505 ボランティア論	Ⅰ		2			○				2△		○
			17509 図画工作	Ⅰ		2	●	◎	●						○
			17511 初等英語	Ⅰ		2		△							○
			17513 初等体育	Ⅱ		2	●	◎	●						○
			17517 レクリエーション方法論	Ⅱ		2								○	○
			17521 教育原理	Ⅱ		2	△	●	●						○
			17526 児童家庭福祉	Ⅱ		2			●						○
			17529 少年犯罪と法	Ⅱ		2								○	○
			17537 情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2			○						○
			17543 福祉心理学	Ⅳ		2				●				○	○
			17601 保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅰ		1	●		●						○
			17605 保育原理Ⅰ	Ⅰ		2			●						○
			17609 保育原理Ⅱ	Ⅰ		2									○
			17613 教職概論	Ⅰ		2	●	●	●						○
			17617 幼児教育学原理	Ⅱ		2	●		○						○
			17623 幼児教育課程論	Ⅱ		2	●		●						○
			17625 教育課程論	Ⅱ		2		●							○
			17629 保育内容の研究・人間関係	Ⅱ		2	●		●						○
			17633 保育内容の研究・言葉	Ⅱ		2	●		●						○
			17638 社会的養護	Ⅱ		2			●						○
			17642 子どもの保健ⅠA	Ⅱ		2			●						○
			17646 子どもの保健Ⅱ	Ⅱ		1			●						○
			17650 子どもの食と栄養	Ⅱ		2			●						○
			17653 保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ		1	●		●						○
			17655 保育内容の研究・表現（音楽表現）	Ⅱ		1	●								○
			17657 教育方法論	Ⅱ		2	●	●	○						○
			17661 初等国語科指導法	Ⅲ		2		●							○
			17665 初等社会科指導法	Ⅱ		2		●							○
			17669 初等算数科指導法	Ⅱ		2		●							○
			17673 初等理科指導法	Ⅱ		2		●							○
			17677 初等生活科指導法	Ⅱ		2		●							○
			17681 特別活動論	Ⅱ		2		●							○
			17686 保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ		2	●	●	●						○
			17691 教育実習指導（幼稚園）Ⅰ	Ⅱ		1	●								○
			17693 教育実習Ⅰ	Ⅱ		1	●								○
			17697 介護等の体験（事前指導）	Ⅱ		1		●							○
			17701 介護等の体験（事後指導含む）	Ⅲ		1		●							○
			17707 教育実習指導（幼稚園）Ⅱ	Ⅲ		1	●								○
			17709 教育実習Ⅱ	Ⅲ		3	●								○
			17713 教育経営論	Ⅲ		2	●	●							○
			17717 保育内容の研究・健康	Ⅲ		2	●		●						○
			17721 保育内容の研究・環境	Ⅲ		2	●		●						○
			17725 幼児教育指導法	Ⅲ		2	●								○
			17729 幼児指導論（カウンセリングを含む）	Ⅲ		2	●		●						○
			17733 初等音楽科指導法	Ⅲ		2		●							○
			17737 初等図画工作科指導法	Ⅲ		2		●							○
			17741 初等家庭科指導法	Ⅲ		2		●							○
			17745 初等体育科指導法	Ⅲ		2		●							○
			17749 道徳教育指導論	Ⅱ		2		●							○
			17753 生徒指導論（進路指導を含む）	Ⅲ		2		●							○
			17762 子どもの保健ⅠB	Ⅲ		2			●						○
			17766 社会的養護内容	Ⅲ		1			●						○
			17770 相談援助	Ⅲ		1			●						○
			17772 保育相談支援	Ⅲ		1			●						○
			17774 家庭支援論	Ⅲ		2			●						○
			17777 乳児保育	Ⅰ		2			●						○
			17782 障害児保育	Ⅱ		2			●						○
			17783 障害者・障害児心理学	Ⅱ		2				●				○	○
			17785 教育実習指導（小学校）	Ⅲ		1		●							○
			17789 教育実習（小学校）	Ⅲ		4		●							○
			17811 保育実習指導A	Ⅲ		2			●						○
			17814 保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅲ		2			●						○
			17817 保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅲ		2			●						○
			17820 保育実習指導B	Ⅳ		1			●						○
			17823 保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅳ		2			●						○
			17827 神経・生理心理学	Ⅱ		2				e基	●			○	○
			17831 司法・犯罪心理学	Ⅱ		2				g基	●			○	○
			17835 健康・医療心理学	Ⅲ		2					●			○	○
			17839 心理演習	Ⅳ		2				g基	●				
			17843 公認心理師の職責	Ⅳ		2					●				
			17847 産業・組織心理学	Ⅳ		2				h基	●			○	○
			17851 精神疾患とその治療	Ⅳ		2					●			○	○
			17855 人体の構造と機能及び疾病	Ⅳ		2					●			○	○
			17859 関係行政論	Ⅳ		2					●			○	○
専門科目	資格関連科目	60	教職・資格関連科目												
			●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修 ○：9単位以上選択必修												

【心理こども学科】平成30年度入学生適用 卒業要件

卒業要件及び履修方法					
共通科目	キリスト教		8	38	124
	基礎		8		
	総合科目		10		
	日本語		2		
	情報		4		
	外国語		6		
専門科目	演習科目		12	76	
	専門基礎科目		4		
	専門分野科目	心理・臨床・発達	60		
		こどもの生活世界			
	関連科目	こども関連科目			
		資格関連科目			
その他（共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む）			10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
ア 演習科目12単位を修得しなければならない。
イ 専門基礎科目4単位を修得しなければならない。
ウ 専門分野科目、関連科目あわせて60単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

授業科目一覧と卒業要件

【心理こども学科】 平成29年度入学生適用 共通科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名	配当年次	単位		教職・資格関連						科目等履修	備考
					必修	選択	幼1	小1	保育	心理	情報	キャリア		
共通科目	キリスト教	8	11101 キリスト教入門	I	2				●					
			11105 聖書概論	I	2								○	
			11109 キリスト教海外研修	I		2							○	
			11113 聖書と現代	II	2								○	
			11117 キリスト教と文化	III		2							○	
			11121 キリスト教と文学	III		2							○	
	基礎	8	11125 キリスト教の人間論	III		2							○	
			11201 基礎演習Ⅰ	I	1									
			11205 基礎演習Ⅱ	I	1									
			11209 人間学Ⅰ	I	2							I△	○	
			11206 海星学Ⅰ	II	1							●		
			11207 海星学Ⅱ	II	1							●		
	総合科目	10	11213 人間学Ⅱ	III	2						II△	I△	○	
			11301 キャリアデザイン入門	I	2						II△	●	○	
			11305 生命倫理と法	I		2							○	
			11309 文学入門	I		2								
			11313 情報活用の基礎知識	I		2					I△			
			11317 心理学概論	I		2				a 基	II△	I△		
			11321 統計学入門	I		2				b 副	I△			
			11325 ジェンダー論	I		2			△					
			11329 日本国憲法	I		2	●	●						
			11333 健康科学	I		1	①	①	●					
			11337 健康スポーツⅠ	I		1	①	①	②					
			11341 健康スポーツⅡ	I		1	①	①	②					
			11343 ハワイ研修	I		2								
			11345 欧米文化入門	II		2			△					
			11349 環境と文化	II		2							○	
			11353 日本文化史	II		2			△					
			11355 西洋文化史	III		2								
			11357 簿記会計学	II		2						I△		
			11361 自然科学概論	II		2		◎						
			11365 現代家族関係論	II		2			△					
			11369 社会福祉論	I		2			●					
			11373 人権教育論	II		2								
			11377 社会科学概論	II		2		◎						
			11381 家政学概論	II		2		◎						
			11383 オーストラリア幼稚園実習	II		2								
			11385 経営学入門	III		2							○	
	日本語	2	11401 日本語表現法	I	2		●	●	●		II△	I△		
			11405 日本語文章構成法	II		2						I△		
	情報	4	11501 情報リテラシーⅠ	I	2		②	②	●		●	I△		
			11505 情報リテラシーⅡ	I	2		②	②	●		●	I△		
			11509 オフィス情報処理Ⅰ	II		2	④	④			I△			
			11513 オフィス情報処理Ⅱ	II		2					I△			
	外国語	6	11601 英語Ⅰ	I	1		③	③	③				○	
			11605 英語Ⅱ	I	1		③	③	③				○	
			11609 英語Ⅲ	I	1		③	③					○	
			11613 英語Ⅳ	I	1		③	③					○	
			11617 英語Ⅴ	II	1								○	
			11621 英語Ⅵ	II	1								○	
			11625 英語Ⅶ	II	1								○	
			11629 英語Ⅷ	II	1								○	
			11633 フランス語Ⅰ	I	1		③	③	③				○	
			11637 フランス語Ⅱ	I	1		③	③	③				○	
			11641 フランス語Ⅲ	I	1								○	
			11645 フランス語Ⅳ	I	1								○	
			11649 フランス語Ⅴ	II	1								○	
			11653 フランス語Ⅵ	II	1								○	
			11657 フランス語Ⅶ	II	1								○	
			11661 フランス語Ⅷ	II	1								○	
			11665 中国語Ⅰ	I	1		③	③	③				○	
			11669 中国語Ⅱ	I	1		③	③	③				○	
			11673 中国語Ⅲ	I	1								○	
			11677 中国語Ⅳ	I	1								○	
			11681 中国語Ⅴ	II	1								○	
			11685 中国語Ⅵ	II	1								○	
			11689 中国語Ⅶ	II	1								○	
			11693 中国語Ⅷ	II	1								○	
			11697 韓国語Ⅰ	I	1		③	③	③				○	
			11701 韓国語Ⅱ	I	1		③	③	③				○	
			11705 韓国語Ⅲ	I	1								○	
			11709 韓国語Ⅳ	I	1								○	

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目

①：2科目選択必修 ②：1科目選択必修 ③：2単位選択必修 ④：1科目選択必修

◎：6単位選択必修（専門科目を含む）

【心理こども学科】 平成29年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名称	配当年次	単位		教職・資格関連						科目等履修	他学科履修
					必	選	幼1	小1	保育	心理	情報	キャリア		
専門科目	演習科目	12	17101 演習Ⅰ	Ⅲ	2									
			17105 演習Ⅱ	Ⅲ	2									
			17109 演習Ⅲ	Ⅳ	2									
			17113 演習Ⅳ	Ⅳ	2									
			17117 卒業研究	Ⅳ	4					i 基				
	専門基礎科目	4	17201 発達心理学	Ⅰ	2		●	●	●	a 副				○
			17205 保育内容総論	Ⅰ	2		●		●					○
	専門分野科目	心理・臨床・発達	17301 比較行動学	Ⅰ	2									○
			17305 運動生理学	Ⅰ	2								○	○
			17309 性格心理学	Ⅰ	2					g 基				○
			17313 社会心理学	Ⅱ	2									○
			17317 感情心理学	Ⅱ	2					d 基				○
			17325 臨床心理学	Ⅱ	2				○	a 副				○
			17329 認知心理学	Ⅱ	2					d 基				○
			17333 ことばと心理	Ⅱ	2									○
			17337 心理統計学	Ⅱ	2					b 基				○
			17341 心理学基礎実験	Ⅱ	2					c 基				○
			17343 心理検査法実習	Ⅱ	2					c 基				○
			17345 心理調査・データ処理法	Ⅱ	2					b 基				○
			17349 臨床発達心理学（行動観察・評価法）	Ⅱ	2									○
			17353 情緒発達論	Ⅲ	2								○	○
			17357 ことばの神経科学と障害	Ⅲ	2									○
			17361 人格発達障害論	Ⅲ	2					g 基				○
			17369 臨床発達心理学実習	Ⅲ	1				○					○
			17373 臨床心理学実習1（心理テスト法）	Ⅲ	1					c 副				○
			17377 臨床心理学実習2（カウンセリング法）	Ⅲ	1					c 副				○
			17381 臨床心理学実習3（心理療法）	Ⅲ	1									○
			17385 心理学文献講読1	Ⅲ	2					f 基				○
			17389 心理学文献講読2	Ⅲ	2									○
			17393 心理学文献講読3	Ⅳ	2									○
			17397 心理学文献講読4	Ⅳ	2									○
		こどもの生活世界	17401 こども学概論	Ⅰ	2								○	○
			17405 生活文化概論	Ⅰ	2		△	◎						○
			17409 教育心理学	Ⅰ	2		●	●	●	a 基	Ⅱ△			○
			17413 こどもと美術	Ⅰ	1								○	○
			17415 初心者ピアノ	Ⅰ	2									○
			17417 初等音楽1	Ⅰ	2		●	◎	●					○
			17421 初等音楽2	Ⅰ	2		●	◎	●					○
			17425 ゆとりと教育	Ⅰ	2								○	○
			17429 フィールドワーク概論	Ⅰ	2				○					○
			17433 こどもと人間関係	Ⅰ	2								○	○
			17437 児童文学	Ⅱ	2		△	◎						○
			17441 学習・発達論	Ⅱ	2		●	●	○	f 基				○
			17445 乳幼児心理学	Ⅱ	2				○	f 基				○
			17449 青年心理学	Ⅱ	2									○
			17453 こどもと遊び	Ⅱ	2				○					○
			17457 算数科概論	Ⅱ	2		△	◎						○
			17461 ことばの発達・学習	Ⅱ	2					d 基				○
			17465 キッズ・イングリッシュⅠ	Ⅱ	2			△					○	○
			17469 キッズ・イングリッシュⅡ	Ⅱ	2								○	○
			17473 初等音楽3	Ⅱ	2		△		○					○
			17477 初等音楽4	Ⅲ	2		△		○					○
			17481 臨床人間学	Ⅲ	2									○
			17485 教育情報学	Ⅲ	2		④	④						○
			17489 現代こども学特論	Ⅲ	2								○	○
			17493 臨床保育学	Ⅲ	2								○	○
			17497 教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ	2			●	○	g 基				○

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：9単位以上選択必修
④：1科目選択必修

【心理こども学科】 平成29年度入学生適用 専門科目

科目分類	卒業要件	科目コード	科目名称	配当年次	単位		教職・資格関連						科目等履修	他学科履修
					必	選	幼1	小1	保育	心理	情報	キャリア		
専門科目	子ども関連科目		17501 子育て支援と地域社会	Ⅲ		2			○					○
			17505 ボランティア論	Ⅰ		2			○			Ⅱ△		○
			17509 図画工作	Ⅰ		2	●	◎	●					○
			17513 初等体育	Ⅱ		2	●	◎	●					○
			17517 レクリエーション方法論	Ⅱ		2							○	○
			17521 教育原理	Ⅱ		2	△	●	●					○
			17526 児童家庭福祉	Ⅱ		2			●					○
			17529 少年犯罪と法	Ⅱ		2							○	○
			17533 障害児の保健・病理	Ⅱ		2							○	○
			17537 情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2			○	g 基				○
	資格関連科目	60	17541 児童・青年精神医学概論	Ⅲ		2								○
			17601 保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅰ	1		●		●					○
			17605 保育原理Ⅰ	Ⅰ		2			●					○
			17609 保育原理Ⅱ	Ⅰ		2								○
			17613 教職概論	Ⅰ		2	●	●	●					○
			17617 幼児教育学原理	Ⅱ		2	●		○					○
			17621 幼児教育課程の研究	Ⅱ		2	●		●					○
			17625 教育課程論	Ⅱ		2		●						○
			17629 保育内容の研究・人間関係	Ⅱ	2		●		●					○
			17633 保育内容の研究・言葉	Ⅱ	2		●		●					○
			17638 社会的養護	Ⅱ		2			●					○
			17642 子どもの保健ⅠA	Ⅱ		2			●					○
			17646 子どもの保健Ⅱ	Ⅱ		1			●					○
			17650 子どもの食と栄養	Ⅱ		2			●					○
			17653 保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ	1		●		●					○
			17657 教育方法論	Ⅱ		2	●	●	○					○
			17661 初等国語科指導法	Ⅲ		2		●						○
			17665 初等社会科指導法	Ⅱ		2		●						○
			17669 初等算数科指導法	Ⅱ		2		●						○
			17673 初等理科指導法	Ⅱ		2		●						○
			17677 初等生活科指導法	Ⅱ		2		●						○
			17681 特別活動論	Ⅱ		2		●						○
			17689 教育実習の研究Ⅰ	Ⅱ		1	●							○
			17693 教育実習Ⅰ	Ⅱ		1	●							○
			17697 介護等の体験（事前指導）	Ⅱ		1		●						○
			17701 介護等の体験（事後指導含む）	Ⅲ		1		●						○
			17705 教育実習の研究Ⅱ	Ⅲ		1	●							○
			17709 教育実習Ⅱ	Ⅲ		3	●							○
			17713 教育経営論	Ⅲ		2	●	●						○
			17717 保育内容の研究・健康	Ⅲ	2		●		●					○
			17721 保育内容の研究・環境	Ⅲ	2		●		●					○
			17725 幼児教育指導法	Ⅲ		2	●							○
			17729 幼児指導論（カウンセリングを含む）	Ⅲ	2		●		●					○
			17733 初等音楽科指導法	Ⅲ		2		●						○
			17737 初等図画工作科指導法	Ⅲ		2		●						○
			17741 初等家庭科指導法	Ⅲ		2		●						○
			17745 初等体育科指導法	Ⅲ		2		●						○
			17749 道徳教育指導論	Ⅱ		2		●						○
			17753 生徒指導論（進路指導を含む）	Ⅲ		2		●						○
			17686 保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ		2	●	●	●					○
			17762 子どもの保健ⅠB	Ⅲ		2			●					○
			17766 社会的養護内容	Ⅲ		1			●					○
			17770 相談援助	Ⅲ		1			●					○
			17772 保育相談支援	Ⅲ		1			●					○
			17774 家庭支援論	Ⅲ		2			●					○
			17777 乳児保育	Ⅰ		2			●					○
			17782 障害児保育	Ⅱ		2			●					○
			17785 教育実習指導（小学校）	Ⅲ		1		●						○
			17789 教育実習（小学校）	Ⅲ		4		●						○
			17811 保育実習指導A	Ⅲ		2			●					○
			17814 保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅲ		2			●					○
			17817 保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅲ		2			●					○
			17820 保育実習指導B	Ⅳ		1			●					○
			17823 保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅳ		2			●					○

教職・資格関連科目

●：必修科目 △：選択科目 ◎：6単位選択必修（共通科目を含む） ○：9単位以上選択必修

【心理こども学科】平成29年度入学生適用 卒業要件

卒業要件及び履修方法					
共通科目	キリスト教		8	38	124
	基礎		8		
	総合科目		10		
	日本語		2		
	情報		4		
	外国語		6		
専門科目	演習科目		12	76	
	専門基礎科目		4		
	専門分野科目	心理・臨床・発達	60		
		こどもの生活世界			
	関連科目	こども関連科目			
		資格関連科目			
その他（共通科目、専門科目、他学科受講可能科目を含む）			10		

- 卒業するためには、本学に4年以上在学し、合計124単位以上を修得しなければならない。
- 必修科目はすべて履修し、単位を修得しなければならない。
- 共通科目は合計38単位を修得しなければならない。
キリスト教8単位、基礎8単位、総合科目10単位、日本語2単位、情報4単位、外国語6単位を修得しなければならない。
- 専門科目は合計76単位を修得しなければならない。
ア 演習科目12単位を修得しなければならない。
イ 専門基礎科目4単位を修得しなければならない。
ウ 専門分野科目、関連科目あわせて60単位を修得しなければならない。
- 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するには、原則として以下のことを満たさなければならない。
 - ・1、2年次の必修科目の合計単位数の50%以上を修得済みであること。
 - ・当該「演習」より小さい番号の演習を修得済みであること。

【平成30年度以前入学生適用 心理こども学科】 専門科目 読替科目

科目 コード	科目名	配当	必選別	単位数	最終 開講年	科目 コード	科目名	配当	必選別	単位数	備考
17309	性格心理学	I	選択	2	2017	17311	感情・人格心理学	I	選択	2	
17317	感情心理学	II	選択	2	2018		読替なし				
17325	臨床心理学	II	選択	2	2018	17327	臨床心理学概論	II	選択	2	
17329	認知心理学	II	選択	2	2018	17331	知覚・認知心理学	II	選択	2	
17337	心理統計学	II	選択	2	2018	17339	心理学統計法	II	選択	2	
17341	心理学基礎実験	II	選択	2	2018	17342	心理学実験	II	選択	2	
17343	心理検査法実習	II	選択	2	2018	17344	心理的アセスメント	II	選択	2	
17361	人格発達障害論	III	選択	2	2019		*				
17373	臨床心理学実習 1(心理テスト法)	III	選択	1	2019	17375	臨床心理学実習(心理テスト法)	III	選択	1	
17377	臨床心理学実習 2(カウンセリング法)	III	選択	1	2019	17383	心理学的支援法	III	選択	1	
17385	心理学文献講読 1	III	選択	2	2019	17387	心理学研究法	III	選択	2	
17409	教育心理学	I	選択	2	2017	17411	教育・学校心理学	I	選択	2	
17441	学習・発達論	II	選択	2	2018		読替なし				
17461	ことばの発達・学習	II	選択	2	2018	17447	学習・言語心理学	II	選択	2	
17465	キッズ・イングリッシュ I	II	選択	2	2018	17467	初等英語科指導法	II	選択	2	
17501	子育て支援と地域社会	III	選択	2	2020	17502	地域子育て支援 I	IV	選択	1	
						17503	地域子育て支援 II	IV	選択	1	
17526	児童家庭福祉	II	選択	2	2019	17523	子ども家庭福祉	II	選択	2	
17605	保育原理 I	I	選択	2	2018	17607	保育原理	I	選択	2	
17621	幼児教育課程の研究	II	選択	2	2018	17623	幼児教育課程論	II	選択	2	
17625	教育課程論	II	選択	2	2019		☆				
17638	社会的養護	II	選択	2	2019	17639	社会的養護 I	I	選択	2	
17642	子どもの保健 I A	II	選択	2	2019		☆				
17646	子どもの保健 II	II	選択	1	2019	17643	子どもの健康と安全	III	選択	1	
17689	教育実習の研究 I	II	選択	1	2018	17691	教育実習指導(幼稚園) I	II	選択	1	
17705	教育実習の研究 II	III	選択	1	2019	17707	教育実習指導(幼稚園) II	III	選択	1	
17729	幼児指導論(カウンセリングを含む)	III	選択	2	2020	17727	幼児理解の理論と方法(教育相談を含む)	III	選択	3	
17762	子どもの保健 I B	III	選択	2	2020	17643	子どもの保健	II	選択	2	
17766	社会的養護内容	III	選択	1	2020	17640	社会的養護 II	III	選択	1	
17770	相談援助	III	選択	1	2020		☆				
17772	保育相談支援	III	選択	1	2020		☆				
17774	家庭支援論	III	選択	2	2020	17759	子ども家庭支援論	III	選択	2	
17777	乳児保育	I	選択	2	2018	17778	乳児保育 I	I	選択	2	
17811	保育実習指導 A	III	選択	2	2020	17812	保育実習指導 I A	II	選択	1	
						17813	保育実習指導 I B	II	選択	1	
17820	保育実習指導 B	IV	選択	1	2021	17821	保育実習指導 II	III	選択	1	

* 「人格発達障害論」については最終開講年までに履修すること。

☆ 最終開講年以降の履修については別途、指示します。

教 職 課 程

教職課程

1. 教員免許状を取得しようとする学生は教育職員免許状及び教育職員免許法施行規則に基づき、設定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。
2. 本学で取得できる免許状は次のとおりである。

学科名	免許状の種類	免許教科
英 語 観 光 学 科	中学校教諭 1 種免許状（中 1 種）	英 語
	高等学校教諭 1 種免許状（高 1 種）	英 語
心 理 こ ど も 学 科	小学校教諭 1 種免許状（小 1 種）	—
	幼稚園教諭 1 種免許状（幼 1 種）	—

英語観光学科については、中学校と高等学校両方の免許状を取得するものとする。したがって、中学校のみ、高等学校のみという選択はできない。

3. 本学において教員免許状を取得しようとする学生は、次の要件を満たしていなければならない。
 - (1) 将来、教職に就く強い意志を持ち、幅広い資質能力を有すること。
 - (2) 公立及び私立幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員採用試験を受験する意志があること。
 - (3) 専門科目の定期試験において、原則として常に合格点を取得していること。
 - (4) 教職課程における自分自身の学修状況や課題を常に把握するために「履修カルテ」を作成すること。
4. 本学における授業科目と履修に関する注意

各科目は必ず配当年次に履修し、修得しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上、学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合があるので計画を立てて履修し、単位を修得することが必要である。

必修と記載している科目はすべて修得しなければならない。

【中学校・高等学校教諭】

1. 「教育実習」について
 - (1) 第 1 表から第 4 表に定める 4 年次配当科目以外の全ての単位を修得しなければ（但し、2 科目まで修得見込み可）「教育実習」を履修することはできない。
また、以下の科目は「教育実習」との同時履修を認める。
 - ① 本学の留学に関する規程に基づく長期または中期留学への参加中に開講された科目
 - ② 本学の都合によって開講時期が変更された科目

なお、条件の判定は該当委員会にて行う。
 - (2) 教育実習に参加する者は、教育実習を行う前々学期末、または前学期末に累積 G.P.A. が 2.0 以上、または前年度の G.P.A. が 2.5 以上でなければならない。
 - (3) 教育実習に参加する者は、教育実習を行う前年度末までに TOEIC で 450 点以上を獲得していなければならない。
 - (4) 教育実習を希望する者は、教職への適性を見極めるため、教育実習を行う前々年度末、前年度末に教職課程担当教員の面談を受け、その指導を仰がなければならない。
 - (5) 「教育実習」を履修するには教育実習費が別途必要になる。
 - (6) 教育実習は原則として各自の出身校（中学校又は高等学校）において行う。
 - (7) 実習期間は 3 週間・120 時間以上、又は中学校 2 週間及び高等学校 2 週間で、通常 6 月から 7 月、又は 9 月から 10 月に実施される。
 - (8) 教育実習中の就職活動等による実習欠席は一切認めない。
2. 「介護等の体験」について
 - (1) 平成 10 年 4 月 1 日より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」が施行され、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合、7 日間（社会福祉施設 5 日間、特別支援学校 2 日間）の介護等体験が必要となる。
 - (2) 「介護等の体験」を履修するには介護等体験費が別途必要になる。

英語観光学科 第1表 (教科及び教科の指導法に関する科目)〔令和2年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次		
教科に関する専門的事項	英語学	中28 高24	英語学概論	2	Ⅱ	教職必修	
	英語文学		Pronunciation 104	2	Ⅰ	※	
			英米文学入門	2	Ⅰ	必修	
			英米文学研究	2	Ⅲ	教職必修	
	英語コミュニケーション		Oral Communication 300	2	Ⅱ	必修	
			Oral Communication 400	2	Ⅱ	必修	※印から
			Oral Communication 500	2	Ⅲ	※	2科目
			Oral Communication 600	2	Ⅲ	※	教職
			Reading 501	2	Ⅲ	教職必修	選択必修
			Reading 601	2	Ⅲ	教職必修	
			Oral Communication 700	2	Ⅲ・Ⅳ	※	
			English for Academic Purposes 801	2	Ⅳ	教職必修	
			Oral Communication 800	2	Ⅳ	※	
	異文化理解		異文化理解	2	Ⅰ	必修	
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		英語科教育法Ⅰ	2	Ⅰ	教職必修	
英語科教育法Ⅱ			2	Ⅱ	教職必修		
英語科教育法Ⅲ			2	Ⅲ	教職必修		
英語科教育法Ⅳ			2	Ⅲ	教職必修		
			計	30			

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、英語観光学科の必修科目。
 (3) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第3表「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に充当される。

英語観光学科 第2表 (教育の基礎的理解に関する科目等)〔令和2年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	*教育原理	2	Ⅱ	教職必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		○教職概論	2	Ⅰ	教職必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育経営論	2	Ⅲ	教職必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育・学校心理学	2	Ⅰ	教職必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2	Ⅱ	教職必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		(教育課程及び総合的な学習の時間の指導法)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	○道徳教育指導論	2	Ⅲ	教職必修 (中一種のみ)
	総合的な学習の時間の指導法		○教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2	Ⅱ	教職必修
	特別活動の指導法		特別活動論	2	Ⅱ	教職必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		○教育方法論	2	Ⅱ	教職必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)	2	Ⅲ	教職必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○教育相談(カウンセリングを含む)	2	Ⅲ	教職必修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導(中・高)	1	Ⅳ	教職必修
			教育実習	4	Ⅳ	教職必修
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	Ⅳ	教職必修
		中27 高23		中29 高27		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、教職課程履修者に限り、「その他」の「他学科受講科目」として卒業要件上の単位に算入する。ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

(3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。

(4) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第3表「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に充当される。

(5) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

英語観光学科 第3表 (大学が独自に設定する科目)〔令和2年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			備考
科目区分	単位	本学授業科目	単位	配当年次	
大学が独自に設定する科目	中4 高12	*人権教育論	2	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験(事前指導)	1	Ⅱ	教職必修(中一種)
		介護等の体験(事後指導含む)	1	Ⅲ	教職必修(中一種)
		○道徳教育指導論	2	Ⅲ	教職必修(高一種)

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

(3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。

(4) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教科及び教科の指導法に関する科目」及び第2表「教育の基礎的理解に関する科目等」の余剰単位で充足する。

英語観光学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)〔令和2年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			履修方法
科目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康スポーツ1	1	I	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ2	1	I	
		健康科学	1	I	
外国語コミュニケーション	2	フランス語1	1	I	} 2科目教職選択必修
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
		韓国語2	1	I	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	I	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	I	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

英語観光学科 第1表 (教科及び教科の指導法に関する科目)〔令和元年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次		
教科に関する専門的事項	英語学	中28 高24	英語学概論	2	Ⅱ	教職必修	
	英語文学		Pronunciation 504	2	Ⅲ	※	
			英米文学入門	2	Ⅰ	必修	
			英米文学研究	2	Ⅲ	教職必修	
	英語コミュニケーション		Oral Communication 300	2	Ⅱ	必修	※印から 2科目
			Oral Communication 400	2	Ⅱ	必修	
			Oral Communication 500	2	Ⅲ	※	教職
			Oral Communication 600	2	Ⅲ	※	選択必修
			Reading 501	2	Ⅲ	教職必修	
			Reading 601	2	Ⅲ	教職必修	
			Oral Communication 700	2	Ⅲ・Ⅳ	※	
			English for Academic Purposes 801	2	Ⅳ	教職必修	
			Oral Communication 800	2	Ⅳ	※	
			異文化理解	異文化理解	2	Ⅱ	必修
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		英語科教育法Ⅰ	2	Ⅰ	教職必修	
			英語科教育法Ⅱ	2	Ⅱ	教職必修	
英語科教育法Ⅲ			2	Ⅲ	教職必修		
英語科教育法Ⅳ			2	Ⅲ	教職必修		
			計	30			

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、英語観光学科の必修科目。
 (3) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第3表「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に充当される。

英語観光学科 第2表 (教育の基礎的理解に関する科目等)〔令和元年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	*教育原理	2	Ⅱ	教職必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		○教職概論	2	Ⅰ	教職必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○教育経営論	2	Ⅲ	教職必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育・学校心理学	2	Ⅰ	教職必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2	Ⅱ	教職必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		(教育課程及び総合的な学習の時間の指導法)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	○道徳教育指導論	2	Ⅲ	教職必修 (中一種のみ)
	総合的な学習の時間の指導法		○教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2	Ⅱ	教職必修
	特別活動の指導法		特別活動論	2	Ⅱ	教職必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		○教育方法論	2	Ⅱ	教職必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)	2	Ⅲ	教職必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○教育相談(カウンセリングを含む)	2	Ⅲ	教職必修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導(中・高)	1	Ⅳ	教職必修
	教育実習		教育実習	4	Ⅳ	教職必修
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	Ⅳ	教職必修
		中27 高23		中29 高27		

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。
(2) *印の付された科目は、教職課程履修者に限り、「その他」の「他学科受講科目」として卒業要件上の単位に算入する。ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。
(3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。
(4) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第3表「大学が独自に設定する科目」の必要単位数に充当される。
(5) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

英語観光学科 第3表 (大学が独自に設定する科目)〔令和元年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			備考
科目区分	単位	本学授業科目	単位	配当年次	
大学が独自に設定する科目	中4 高12	*人権教育論	2	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験(事前指導)	1	Ⅱ	教職必修(中一種)
		介護等の体験(事後指導含む)	1	Ⅲ	教職必修(中一種)
		○道德教育指導論	2	Ⅲ	教職必修(高一種)

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

(3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。

(4) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教科及び教科の指導法に関する科目」及び第2表「教育の基礎的理解に関する科目等」の余剰単位で充足する。

英語観光学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)〔令和元年度入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			履修方法
科目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康スポーツ1	1	I	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ2	1	I	
		健康科学	1	I	
外国語コミュニケーション	2	フランス語1	1	I	} 2科目教職選択必修
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
		韓国語2	1	I	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	I	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	I	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

英語観光学科 第1表 (教職に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教職の意義等に関する科目	2	☆教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	*教育原理	2	II	教職必修
		○教育・学校心理学	2	I	教職必修
		○教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	中12 高6	○英語科教育法Ⅰ	2	I	教職必修
		○英語科教育法Ⅱ	2	II	教職必修
		○英語科教育法Ⅲ	2	III	教職必修
		○英語科教育法Ⅳ	2	III	教職必修
		○道徳教育指導論	2	III	中一種のみ教職必修
		特別活動論	2	II	教職必修
		○教育課程論	2	II	教職必修
		○教育方法論	2	II	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導論(進路指導を含む)	2	III	教職必修
		○教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	IV	教職必修
教育実習	中5 高3	教育実習指導(中・高)	1	IV	教職必修
		教育実習	4	IV	教職必修
計	中31 高23		35		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

- (2) ☆印の付された科目の単位は教職課程履修者に限り、「共通科目」として卒業要件上の単位に算入する。
ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は「その他」の科目として卒業要件上の単位に算入する。
*印の付された科目は、教職課程履修者に限り、「その他」の「他学科受講科目」として卒業要件上の単位に算入する。ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。
- (3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。
- (4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。
- (5) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当される。

英語観光学科 第2表 (教科又は教職に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教科又は教職に関する科目	中8 高16	*人権教育論	2	II	教職必修
		介護等の体験(事前指導)	1	II	中一種のみ教職必修
		介護等の体験(事後指導含む)	1	III	中一種のみ教職必修
		○道徳教育指導論	2	III	高一種のみ教職必修

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

- (2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。
- (3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。
- (4) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教職に関する科目」及び第3表「教科に関する科目」の余剰単位で充足する。

英語観光学科 第3表 (教科に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考	
科	目	単位	本学授業科目名	単位		
英語学	20	英語学概論	2	Ⅱ	教職必修	※
		Pronunciation 504	2	Ⅲ	※	
英米文学		英米文学入門	2	Ⅰ	必修	
		英米文学研究	2	Ⅲ	教職必修	
英語コミュニケーション		Oral Communication 300	2	Ⅱ	必修	
		Oral Communication 400	2	Ⅱ	必修	
		Oral Communication 500	2	Ⅲ	※	※印から
		Oral Communication 600	2	Ⅲ	※	2 科目
		Reading 501	2	Ⅲ	教職必修	教職
		Reading 601	2	Ⅲ	教職必修	選択必修
		Oral Communication 700	2	Ⅲ・Ⅳ	※	
		English for Academic Purposes 801	2	Ⅳ	教職必修	
		Oral Communication 800	2	Ⅳ	※	
異文化理解		異文化理解	2	Ⅱ	必修	
計			28	22 単位以上を修得すること。		

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、英語観光学科の必修科目。
 (3) 「教科に関する科目」の法定必要単位は20単位であるが、第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充てるため、22単位以上を修得すること。
 (4) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当する。

英語観光学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	Ⅰ	教職必修
体育	2	健康科学	1	Ⅰ	2科目教職選択必修
		健康スポーツ1	1	Ⅰ	
		健康スポーツ2	1	Ⅰ	
外国語コミュニケーション	2	フランス語1	1	Ⅰ	2科目教職選択必修
		フランス語2	1	Ⅰ	
		中国語1	1	Ⅰ	
		中国語2	1	Ⅰ	
		韓国語1	1	Ⅰ	
		韓国語2	1	Ⅰ	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	Ⅰ	1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	Ⅰ	

- 備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。
 (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

英語観光学科 第1表 (教職に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教職の意義等に関する科目	2	☆教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	*教育原理	2	II	教職必修
		○教育心理学	2	I	教職必修
		○教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	中12 高6	○英語科教育法Ⅰ	2	I	教職必修
		○英語科教育法Ⅱ	2	II	教職必修
		○英語科教育法Ⅲ	2	III	教職必修
		○英語科教育法Ⅳ	2	III	教職必修
		○道徳教育指導論	2	III	中一種のみ教職必修
		特別活動論	2	II	教職必修
		○教育課程論	2	II	教職必修
		○教育方法論	2	II	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導論(進路指導を含む)	2	III	教職必修
		○教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	IV	教職必修
教育実習	中5	教育実習の研究	1	IV	教職必修
	高3	教育実習	4	IV	教職必修
計	中31 高23		35		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

- (2) ☆印の付された科目の単位は教職課程履修者に限り、「共通科目」として卒業要件上の単位に算入する。
ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は「その他」の科目として卒業要件上の単位に算入する。
*印の付された科目は、教職課程履修者に限り、「その他」の「他学科受講科目」として卒業要件上の単位に算入する。ただし、単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。
- (3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。
- (4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。
- (5) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当される。

英語観光学科 第2表 (教科又は教職に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教科又は教職に関する科目	中8 高16	*人権教育論	2	II	教職必修
		介護等の体験(事前指導)	1	II	中一種のみ教職必修
		介護等の体験(事後指導含む)	1	III	中一種のみ教職必修
		○道徳教育指導論	2	III	高一種のみ教職必修

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

- (2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。
- (3) ○印の付された科目は、英語観光学科の「専門科目」として開講。
- (4) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教職に関する科目」及び第3表「教科に関する科目」の余剰単位で充足する。

英語観光学科 第3表 (教科に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科	目	単位	本学授業科目名	単位	
英語学	20	英語学概論	2	Ⅱ	教職必修
		Pronunciation 504	2	Ⅲ	※
英米文学		英米文学入門	2	Ⅰ	必修
		英米文学研究	2	Ⅲ	教職必修
英語コミュニケーション		Oral Communication 300	2	Ⅱ	必修
		Oral Communication 400	2	Ⅱ	必修
		English and American Entertainment	2	Ⅰ	※
		Oral Communication 500	2	Ⅲ	※
		Oral Communication 600	2	Ⅲ	※
		Reading 501	2	Ⅲ	教職必修
		Reading 601	2	Ⅲ	教職必修
		Oral Communication 700	2	Ⅲ・Ⅳ	※
		English for Academic Purposes 801	2	Ⅳ	教職必修
		Oral Communication 800	2	Ⅳ	※
異文化理解		異文化理解	2	Ⅱ	必修
計			30	22 単位以上を修得すること。	

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、英語観光学科の必修科目。
 (3) 「教科に関する科目」の法定必要単位は20単位であるが、第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充てるため、22単位以上を修得すること。
 (4) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当する。

英語観光学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	Ⅰ	教職必修
体育	2	健康科学	1	Ⅰ	} 2 科目教職選択必修
		健康スポーツ 1	1	Ⅰ	
		健康スポーツ 2	1	Ⅰ	
外国語コミュニケーション	2	フランス語 1	1	Ⅰ	} 2 科目教職選択必修
		フランス語 2	1	Ⅰ	
		中国語 1	1	Ⅰ	
		中国語 2	1	Ⅰ	
		韓国語 1	1	Ⅰ	
		韓国語 2	1	Ⅰ	
情報機器の操作	2	情報リテラシー 1	2	Ⅰ	} 1 科目教職選択必修
		情報リテラシー 2	2	Ⅰ	

- 備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。
 (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

【小学校教諭】

1. 「教育実習（小学校）」について

- (1) 第1表から第4表に定める科目のうち、Ⅰ・Ⅱ年次配当科目の全て、Ⅲ年次春学期配当科目の全ての単位を修得（但し、2科目まで修得見込み可）し、Ⅲ年次秋学期配当科目を履修中でなければ「教育実習（小学校）」を履修することはできない。

なお、条件の判定は該当委員会にて行う。

- (2) 教育実習を履修するには、教育実習を申請する前年度末の累積G.P.A.が2.0以上でなければならない。
- (3) 教育実習を希望する者は、教職への適性を見極めるため、1年次の年度末に教育実習担当教員の面談を受け、その指導を仰がなければならない。
- (4) 「教育実習」を履修するには教育実習費が別途必要になる。
- (5) 実習期間は4週間で、通常9月～10月に実施される。
- (6) 教育実習中の就職活動による実習欠席は一切認めない。

2. 「介護等の体験」について

- (1) 平成10年4月1日より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」が施行され、小学校教諭の免許状を取得する場合、7日間（社会福祉施設5日間、特別支援学校2日間）の介護等体験が必要となる。
- (2) 「介護等の体験」を履修するには介護等体験費が別途必要になる。

心理こども学科 第1表 (教科及び教科の指導法に関する科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項	単位	本学授業科目	単位	配当 年次	
教科に関する専門的事項	国 語 (書写を含む。)	30	○日本語表現法	2	I	必修 3 科目 教職選択必修
	社 会		児童文学	2	II	
	算 数		社会科学概論	2	II	
	理 科		算数科概論	2	II	
	生 活		自然科学概論	2	II	
	音 楽		生活文化概論	2	I	
	図画工作		初等音楽 1	2	I	
	家 庭		初等音楽 2	2	I	
	体 育		図画工作	2	I	
	外国語		家政学概論	2	II	
			初等体育	2	II	
			初等英語	2	I	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含む。)	国 語 (書写を含む。)	30	初等国語科指導法	2	III	教職必修
	社 会		初等社会科指導法	2	II	教職必修
	算 数		初等算数科指導法	2	II	教職必修
	理 科		初等理科指導法	2	II	教職必修
	生 活		初等生活科指導法	2	II	教職必修
	音 楽		初等音楽科指導法	2	III	教職必修
	図画工作		初等図画工作科指導法	2	III	教職必修
	家 庭		初等家庭科指導法	2	III	教職必修
	体 育		初等体育科指導法	2	III	教職必修
	外国語		初等英語科指導法	2	II	教職必修
			計	44		

- 備考 (1) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。
- (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
- (3) ○印の付された科目は、「共通科目」、それ以外の科目は心理こども学科の専門科目として開講。
- (4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第2表 (教育の基礎的理解に関する科目等) (令和元年度以降入学生適用)

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	Ⅱ	教職必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2	Ⅰ	教職必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	2	Ⅲ	教職必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	Ⅰ	教職必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		発達心理学	2	Ⅰ	必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育	2	Ⅱ	教職必修
			(教育課程及び総合的な学習の時間の指導法)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導論	2	Ⅱ	教職必修
	総合的な学習の時間の指導法		教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2	Ⅱ	教職必修
	特別活動の指導法		特別活動論	2	Ⅱ	教職必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論	2	Ⅱ	教職必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)	2	Ⅲ	教職必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)	2	Ⅲ	教職必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導(小学校)	1	Ⅲ	教職必修
			教育実習(小学校)	4	Ⅲ	教職必修
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	Ⅳ	教職必修
計		27	計	31		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第3表 (大学が独自に設定する科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			備考
科目区分	単位	本学授業科目	単位	配当年次	
大学が独自に設定する科目	2	介護等の体験（事前指導）	1	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験（事後指導含む）	1	Ⅲ	教職必修
		*人権教育論	2	Ⅱ	

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

心理こども学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			履修方法
科目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康スポーツ1	1	I	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ2	1	I	
		健康科学	1	I	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	I	} 2科目教職選択必修
		英語2	1	I	
		英語3	1	I	
		英語4	1	I	
		フランス語1	1	I	
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
情報機器の操作	2	韓国語2	1	I	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー1	2	I	
		情報リテラシー2	2	I	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

心理こども学科 第1表（教職に関する科目）〔平成30年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
教職の意義等に関する科目	2	教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理	2	II	教職必修
		教育・学校心理学	2	I	教職必修
		発達心理学	2	I	必修
		教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	22	教育課程論	2	II	教職必修
		初等国語科指導法	2	III	教職必修
		初等社会科指導法	2	II	教職必修
		初等算数科指導法	2	II	教職必修
		初等理科指導法	2	II	教職必修
		初等生活科指導法	2	II	教職必修
		初等音楽科指導法	2	III	教職必修
		初等図画工作科指導法	2	III	教職必修
		初等家庭科指導法	2	III	教職必修
		初等体育科指導法	2	III	教職必修
		道德教育指導論	2	II	教職必修
		特別活動論	2	II	教職必修
		教育方法論	2	II	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導論（進路指導を含む）	2	III	教職必修
		教育相談（カウンセリングを含む）	2	III	教職必修
教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	2	IV	教職必修
教育実習	5	教育実習指導（小学校）	1	III	教職必修
		教育実習（小学校）	4	III	教職必修
計	41	計	47		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。

(3) 全科目、心理こども学科の専門科目として開講。

(4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

(5) 第1表「教職に関する科目」の余剰単位（6単位）は第2表「教科又は教職に関する科目」の法定必要単位数に充当する。

心理こども学科 第2表（教科又は教職に関する科目）〔平成30年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
教科又は教職に関する科目	10	人権教育論	2	Ⅱ	
		初等英語	2	Ⅰ	
		初等英語科指導法	2	Ⅱ	
		介護等の体験(事前指導)	1	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験(事後指導含む)	1	Ⅲ	教職必修

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) *印の付された科目は、心理こども学科の専門科目として卒業要件単位に算入される。
 (3) ○印の付された科目は、「共通科目」として開講。
 (4) 教職必修（計2単位）以外の8単位は第1表「教職に関する科目」の余剰単位（6単位）と、第2表「教科又は教職に関する科目」の選択科目または第3表「教科に関する科目」の余剰単位で充足すること。

心理こども学科 第3表（教科に関する科目）〔平成30年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
国語(書写を含む)	8	○日本語表現法	2	Ⅰ	必修 6単位教職選択必修
		児童文学	2	Ⅱ	
社会		社会科学概論	2	Ⅱ	
算数		算数科概論	2	Ⅱ	
理科		自然科学概論	2	Ⅱ	
生活		生活文化概論	2	Ⅰ	
音楽		初等音楽1	2	Ⅰ	
		初等音楽2	2	Ⅰ	
図画工作		図画工作	2	Ⅰ	
家庭		家政学概論	2	Ⅱ	
体育		初等体育	2	Ⅱ	

- 備考 (1) 備考欄の「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、本学学生全員の必修科目。
 (3) ○印の付された科目は、「共通科目」として開講。
 (4) 第3表「教科に関する科目」の法定必要単位数は8単位であるが、第2表「教科又は教職に関する科目」の不足単位数を第3表「教科に関する科目」で充足する場合は10単位を修得すること。

心理こども学科 第4表（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）〔平成30年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	Ⅰ	教職必修
体育	2	健康科学	1	Ⅰ	2科目教職選択必修
		健康スポーツ1	1	Ⅰ	
		健康スポーツ2	1	Ⅰ	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	Ⅰ	2科目教職選択必修
		英語2	1	Ⅰ	
		英語3	1	Ⅰ	
		英語4	1	Ⅰ	
		フランス語1	1	Ⅰ	
		フランス語2	1	Ⅰ	
		中国語1	1	Ⅰ	
		中国語2	1	Ⅰ	
		韓国語1	1	Ⅰ	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	Ⅰ	1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	Ⅰ	

- 備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。
 (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

心理こども学科 第1表（教職に関する科目）〔平成29年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	配当 年次	備 考
教職の意義等に関する科目	2	教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理	2	II	教職必修
		教育心理学	2	I	教職必修
		学習・発達論	2	II	教職必修
		発達心理学	2	I	必修
		教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	22	教育課程論	2	II	教職必修
		初等国語科指導法	2	III	教職必修
		初等社会科指導法	2	II	教職必修
		初等算数科指導法	2	II	教職必修
		初等理科指導法	2	II	教職必修
		初等生活科指導法	2	II	教職必修
		初等音楽科指導法	2	III	教職必修
		初等図画工作科指導法	2	III	教職必修
		初等家庭科指導法	2	III	教職必修
		初等体育科指導法	2	III	教職必修
		道徳教育指導論	2	II	教職必修
		特別活動論	2	II	教職必修
		教育方法論	2	II	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒指導論(進路指導を含む)	2	III	教職必修
		教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	IV	教職必修
教育実習	5	教育実習指導(小学校)	1	III	教職必修
		教育実習(小学校)	4	III	教職必修
計	41	計	49		

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。
 (3) 全科目、心理こども学科の専門科目として開講。
 (4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。
 (5) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当する。

心理こども学科 第2表（教科又は教職に関する科目）〔平成29年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
教科又は教職に関する科目	10	○オフィス情報処理1	2	Ⅱ	} 教職選択必修
		*教育情報学	2	Ⅲ	
		◎児童英語教育概論	2	Ⅰ	
		キッズ・イングリッシュⅠ	2	Ⅱ	
		介護等の体験(事前指導)	1	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験(事後指導含む)	1	Ⅲ	教職必修

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (2) *印の付された科目は、心理こども学科の専門科目として卒業要件単位に算入される。
 (3) ○印の付された科目は、「共通科目」として開講。
 (4) ◎印の付された科目は、英語観光学科の専門科目として開講。修得した単位は「その他」科目として卒業要件単位に算入される。
 (5) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教職に関する科目」及び第3表「教科に関する科目」の単位で充足する。

心理こども学科 第3表（教科に関する科目）〔平成29年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
国語(書写を含む)	8	○日本語表現法	2	Ⅰ	} 6単位教職選択必修
児童文学		児童文学	2	Ⅱ	
社会科学概論		社会科学概論	2	Ⅱ	
算数科概論		算数科概論	2	Ⅱ	
自然科学概論		自然科学概論	2	Ⅱ	
生活文化概論		生活文化概論	2	Ⅰ	
初等音楽1		初等音楽1	2	Ⅰ	
初等音楽2		初等音楽2	2	Ⅰ	
図画工作		図画工作	2	Ⅰ	
家政学概論		家政学概論	2	Ⅱ	
初等体育		初等体育	2	Ⅱ	
図画工作		図画工作	2	Ⅰ	

- 備考 (1) 備考欄の「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって選択必修となる科目。
 (2) 備考欄の「必修」とは、本学学生全員の必修科目。
 (3) ○印の付された科目は、「共通科目」として開講。
 (4) 法定必要単位数を越えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の必要単位数に充当する。

心理こども学科 第4表（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）〔平成29年度入学生適用〕

免許法施行規則に定められた科目		本学該当科目及び単位数			
科 目 名	単位	科 目 名	単位	配当 年次	備 考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	Ⅰ	教職必修
体育	2	健康科学	1	Ⅰ	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ1	1	Ⅰ	
		健康スポーツ2	1	Ⅰ	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	Ⅰ	} 2科目教職選択必修
		英語2	1	Ⅰ	
		英語3	1	Ⅰ	
		英語4	1	Ⅰ	
		フランス語1	1	Ⅰ	
		フランス語2	1	Ⅰ	
		中国語1	1	Ⅰ	
		中国語2	1	Ⅰ	
		韓国語1	1	Ⅰ	
		韓国語2	1	Ⅰ	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	Ⅰ	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	Ⅰ	

- 備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。
 (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

中学校教諭 2 種免許状（英語）の取得について（小学校教諭 1 種免許状取得希望者限定）

- (1) 本学において、小学校教諭 1 種免許状の取得を希望する学生に限り、中学校教諭 2 種免許状（英語）の取得を認める。
中学校教諭 2 種免許状のみの取得はできない。（所属学科は問わない。）
- (2) 中学校教諭 2 種免許状取得に必要な単位数、及び履修方法は以下のとおりとする。

〔令和元年度以降入学生適用〕

科目	必要 単位数	科目	本学開講科目	単位	配当	履修方法
教育の基礎的理解 に関する科目等	6	教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	2	I	必修 ※ 1
			教育原理	2	II	必修 ※ 1
			教育・学校心理学	2	I	必修 ※ 1
	6	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目	特別活動論	2	II	必修
			生徒指導論(進路指導を含む)＜中等＞	2	III	必修
			教育相談（カウンセリングを含む）	2	III	必修 ※ 1
	7	教育実践に関する科目	教育実習指導（中・高）	1	IV	必修
			教育実習 ※ 2	4	IV	必修
			教職実践演習（中・高）	2	IV	必修
教科及び教科の指 導法に関する科目	12	各教科の指導法	英語科教育法Ⅳ	2	III	必修
		英語学	英語学概論	2	II	必修
		英米文学	英米文学入門	2	I	必修
		英語コミュニケーション	★Oral Communication 300 ※ 3	2	II	1 科目選択必修
			★Oral Communication 400 ※ 3			
			★Reading 501	2	III	1 科目選択必修
			★Reading 601			
		異文化理解	異文化理解	2	II	必修
大学が独自に設定 する科目	4		人権教育論	2	II	必修
			介護等の体験（事前指導）	1	II	必修 ※ 1
			介護等の体験（事後指導含む）	1	III	必修 ※ 1

※ 1 小学校 1 種免許状取得のために修得した単位が流用可能である。

※ 2 教育実習（中学校 3 週間）に参加する者は以下の条件を満たしていること。

- ①教育実習を行う前々学期末、または前学期末に累積G.P.A.が2.0以上、または前年度のG.P.A.が2.5以上であること。
- ②教育実習を行う前年度末までにTOEICで450点以上を獲得していること。
- ③その他、教育実習に係る注意事項については学生要覧P. 101（教職課程【中学校・高等学校教諭】）を確認すること。

※ 3 Oral Communication 300、Oral Communication 400（英語観光学科コア・イングリッシュ科目）については通常、他学科履修を認めていないが、小学校 1 種免許状及び中学校 2 種免許状（英語）を取得希望の心理こども学科生に限り、履修を認める。

※ ★印の科目を心理こども学科の学生が履修する場合のクラス（レベル）については英語観光学科主任に相談すること。

〔平成30年度入学生適用〕

科目	必要 単位数	科目	本学開講科目	単位	配当	履修方法
教職に関する科目	21	2 教職の意義等に関する科目	教職概論	2	I	必修 ※ 1
		4 教育の基礎理論に関する科目	教育原理	2	II	必修 ※ 1
			教育・学校心理学	2	I	必修 ※ 1
			教育経営論	2	III	必修 ※ 1
		4 教育課程及び指導法に関する科目	英語科教育法Ⅲ	2	III	必修
			英語科教育法Ⅳ	2	III	必修
		4 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)〈中等〉	2	III	必修
			教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	必修 ※ 1
		5 教育実習	教育実習指導(中・高)	1	IV	必修
			教育実習 ※ 2	4	IV	必修
	2	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	IV	必修
教科に関する科目	10	英語学	英語学概論	2	II	必修
		英米文学	英米文学入門	2	I	必修
		英語コミュニケーション	★Oral Communication 300 ※ 3	2	II	1科目選択必修
			★Oral Communication 400 ※ 3			
			★Reading 501	2	III	1科目選択必修
			★Reading 601			
		異文化理解	異文化理解	2	II	必修
教科または教職に関する科目	4		人権教育論	2	II	必修
			介護等の体験(事前指導)	1	II	必修 ※ 1
			介護等の体験(事後指導含む)	1	III	必修 ※ 1

※ 1 小学校教諭 1 種免許状取得のために修得した単位が流用可能である。

※ 2 教育実習(中学校 3 週間)に参加する者は以下の条件を満たしていること。

①教育実習を行う前々学期末、または前学期末に累積G.P.A. が2.0以上、または前年度のG.P.A.が2.5以上であること。

②教育実習を行う前年度末までにTOEICで450点以上を獲得していること。

③その他、教育実習に係る注意事項については学生要覧P. 101(教職課程【中学校・高等学校教諭】)を確認すること。

※ 3 Oral Communication 300、Oral Communication 400(英語観光学科 コア・イングリッシュ科目)については通常、他学科履修を認めていないが、小学校 1 種免許状及び中学校 2 種免許状(英語)を取得希望の心理こども学科生に限り、履修を認める。

※ ★印の科目を心理こども学科の学生が履修する場合のクラス(レベル)については英語観光学科主任に相談すること。

〔平成29年度入学生適用〕

科目	必要 単位数	科目	本学開講科目	単位	配当	履修方法
教職に関する科目	21	2 教職の意義等に関する科目	教職概論	2	I	必修 ※ 1
		4 教育の基礎理論に関する科目	教育原理	2	II	必修 ※ 1
			教育心理学	2	I	必修 ※ 1
			教育経営論	2	III	必修 ※ 1
		4 教育課程及び指導法に関する科目	英語科教育法Ⅲ	2	III	必修
			英語科教育法Ⅳ	2	III	必修
		4 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)〈中等〉	2	III	必修
			教育相談 (カウンセリングを含む)	2	III	必修 ※ 1
		5 教育実習	教育実習の研究	1	IV	必修
			教育実習 ※ 2	4	IV	必修
	2	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2	IV	必修
教科に関する科目	10	英語学	英語学概論	2	II	必修
		英米文学	英米文学入門	2	I	必修
		英語コミュニケーション	★Oral Communication 300 ※ 3	2	II	1 科目選択必修
			★Oral Communication 400 ※ 3			
			★Reading 501	2	III	1 科目選択必修
			★Reading 601			
		異文化理解	異文化理解	2	II	必修
教科または教職に関する科目	4		人権教育論	2	II	必修
			介護等の体験 (事前指導)	1	II	必修 ※ 1
			介護等の体験 (事後指導含む)	1	III	必修 ※ 1

※ 1 小学校教諭 1 種免許状取得のために修得した単位が流用可能である。

※ 2 教育実習 (中学校 3 週間) に参加する者は以下の条件を満たしていること。

①教育実習を行う前々学期末、または前学期末に累積G.P.A. が2.0以上、または前年度のG.P.A.が2.5以上であること。

②教育実習を行う前年度末までにTOEICで450点以上を獲得していること。

③その他、教育実習に係る注意事項については学生要覧P. 101 (教職課程【中学校・高等学校教諭】)を確認すること。

※ 3 Oral Communication 300、Oral Communication 400 (英語観光学科 コア・イングリッシュ科目) については通常、他学科履修を認めていないが、小学校 1 種免許状及び中学校 2 種免許状 (英語) を取得希望の心理こども学科生に限り、履修を認める。

※ ★印の科目を心理こども学科の学生が履修する場合のクラス (レベル) については英語観光学科主任に相談すること。

【幼稚園教諭】

〔令和元年度以降入学生適用〕

1. 「教育実習」について

- (1) 「教育実習Ⅰ」を履修するには第1表～第4表のうち、Ⅰ年次配当科目の全て、Ⅱ年次春学期配当科目の全てを修得（但し、2科目まで修得見込み可）し、Ⅱ年次秋学期配当科目を履修中であること。
「教育実習Ⅱ」を履修するには第1表～第4表のうち、Ⅰ・Ⅱ年次配当科目の全てを修得（但し、2科目まで修得見込み可）し、Ⅲ年次春学期配当科目の全てを履修中であること。なお、条件の判定は該当委員会にて行う。
- (2) 教育実習を希望する者は、1年次と2年次の年度末に、教職の適性と教職への意欲を確認するため、教育実習担当教員の面接と指導を受けなければならない。
- (3) 教育実習を履修するには教育実習費が別途必要になる。
- (4) 実習期間は4週間（1週間＋3週間）で通常、2年次11月と3年次9月に実施される。
- (5) 教育実習中の就職活動等による欠席は一切認めない。

〔平成30年度以前入学生適用〕

1. 「教育実習」について

- (1) 「教育実習Ⅰ」を履修するには第1表～第4表のうち、Ⅰ年次配当科目の全て、Ⅱ年次春学期配当科目の全てを修得（但し、2科目まで修得見込み可）し、Ⅱ年次秋学期配当科目を履修中であること。
「教育実習Ⅱ」を履修するには第1表～第4表のうち、Ⅰ・Ⅱ年次配当科目の全て、Ⅲ年次春学期配当科目の全てを修得（但し、2科目まで修得見込み可）し、Ⅲ年次秋学期配当科目を履修中であること。
なお、条件の判定は該当委員会にて行う。
- (2) 教育実習を履修するには教育実習費が別途必要になる。
- (3) 実習期間は4週間（1週間＋3週間）で、通常2月～3月と11月～12月に実施される。
- (4) 教育実習中の就職活動等による欠席は一切認めない。

心理こども学科 第1表 （領域及び保育内容の指導法）〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		単位	左記に対応する本学の開講科目	単位	配当 年次	備考
			本学授業科目			
領域に関する 専門的事項	国 語	16	○日本語表現法	2	I	必修
			児童文学	2	II	
	算 数		算数科概論	2	II	
	生 活		生活文化概論	2	I	
	音 楽		初等音楽 1	2	I	教職必修
			初等音楽 2	2	I	教職必修
			初等音楽 3	2	III	
			初等音楽 4	2	IV	
図画工作	図画工作		2	I	教職必修	
体 育	初等体育		2	II	教職必修	
保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			保育内容総論	2	I	必修
			保育内容の研究・健康	2	III	教職必修
			保育内容の研究・人間関係	2	II	教職必修
			保育内容の研究・環境	2	III	教職必修
			保育内容の研究・言葉	2	II	教職必修
			保育内容の研究・表現（造形表現）	1	III	教職必修
		保育内容の研究・表現（身体表現）	1	II	教職必修	
		保育内容の研究・表現（音楽表現）	1	II	教職必修	
		幼児教育指導法	2	III	教職必修	
	計			35		

- 備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。
- (2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。
- (3) ○印の付された科目は、「共通科目」、それ以外の科目は心理こども学科の専門科目として開講。
- (4) 第1表「領域及び保育内容の指導法」の法定必要単位は16単位であるが、それを超えて修得した単位は、第3表「大学が独自に設定する科目」の単位に充当する。
- (5) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第2表 (教育の基礎的理解に関する科目等)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	本学授業科目	単位数	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	Ⅱ	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		幼児教育学原理	2	Ⅱ	教職必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教職概論	2	Ⅰ	教職必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育経営論	2	Ⅲ	教職必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育・学校心理学	2	Ⅰ	教職必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		発達心理学	2	Ⅰ	必修
			特別支援教育	2	Ⅱ	教職必修
			幼児教育課程論	2	Ⅱ	教職必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2	Ⅱ	教職必修
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法(教育相談を含む)	2	Ⅲ	教職必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導(幼稚園)Ⅰ	1	Ⅱ	教職必修
			教育実習Ⅰ	1	Ⅱ	教職必修
			教育実習指導(幼稚園)Ⅱ	1	Ⅲ	教職必修
			教育実習Ⅱ	3	Ⅲ	教職必修
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	Ⅳ	教職必修
計		21	計		28	

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。

(3) 第2表「教育の基礎的理解に関する科目等」の法定必要単位は21単位であるが、それを超えて修得した単位は第3表「大学が独自に設定する科目」の単位に充当する。

心理こども学科 第3表 （大学が独自に設定する科目）〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開講科目	備考
科目区分	単位数	本学授業科目	
大学が独自に設定する科目	14以上	「領域及び保育内容の指導法に関する科目」 「教育の基礎的理解に関する科目」 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」 「教育実践に関する科目」 について、併せて14単位以上を修得	最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の余剰単位を流用する。

備考 法定必要単位数は、最低必要単位を超えて修得した第1表「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、第2表「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位で充足するのでそれぞれの余剰単位に留意すること。

心理こども学科 第4表 （教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			履修方法
科目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康スポーツ1	1	I	2科目教職選択必修
		健康スポーツ2	1	I	
		健康科学	1	I	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	I	2科目教職選択必修
		英語2	1	I	
		英語3	1	I	
		英語4	1	I	
		フランス語1	1	I	
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	I	1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	I	

- 備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。
(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

心理こども学科 第1表 (教職に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教職の意義等に関する科目	2	教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理	2	II	
		幼児教育学原理	2	II	教職必修
		教育・学校心理学	2	I	教職必修
		発達心理学	2	I	必修
		教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	18	保育内容総論	2	I	教職必修
		幼児教育課程論	2	II	教職必修
		保育内容の研究・健康	2	III	教職必修
		保育内容の研究・人間関係	2	II	教職必修
		保育内容の研究・環境	2	III	教職必修
		保育内容の研究・言葉	2	II	教職必修
		保育内容の研究・表現(造形表現)	1	I	教職必修
		保育内容の研究・表現(身体表現)	1	II	教職必修
		保育内容の研究・表現(音楽表現)	1	II	教職必修
		幼児教育指導法	2	III	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	2	幼児指導論(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	IV	教職必修
教育実習	5	教育実習指導(幼稚園)Ⅰ	1	II	教職必修
		教育実習Ⅰ	1	II	教職必修
		教育実習指導(幼稚園)Ⅱ	1	III	教職必修
		教育実習Ⅱ	3	III	教職必修
計	35	計	41		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。

(3) 全科目、心理こども学科の専門科目として開講。

(4) 第1表「教職に関する科目」の法定必要単位は35単位であるが、それを超えて修得した単位は、第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充当する。

(5) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第2表 (教科又は教職に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教科又は教職に関する科目	10	その他の教科・教職に関する科目	8		「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」の 余剰単位を充当

備考 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教職に関する科目」及び第3表「教科に関する科目」の単位で充足するので、それぞれの余剰単位に留意すること。

心理こども学科 第3表 (教科に関する科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考	
科	目	単位	本学授業科目名	単位		配当 年次
国語	生活 音楽 図画工作 体育 算数	6	*日本語表現法	2	I	必修
			児童文学	2	II	
			生活文化概論	2	I	
			初等音楽 1	2	I	教職必修
			初等音楽 2	2	I	教職必修
			初等音楽 3	2	III	
			初等音楽 4	2	III	
			図画工作	2	I	教職必修
			初等体育	2	II	教職必修
			算数科概論	2	II	
計				20		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、本学学生全員の必修科目。

(3) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

(4) 第3表「教科に関する科目」の法定必要単位は6単位であるが、それを超えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充当する。

心理こども学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目) [平成30年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康科学	1	I	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ1	1	I	
		健康スポーツ2	1	I	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	I	} 2科目教職選択必修
		英語2	1	I	
		英語3	1	I	
		英語4	1	I	
		フランス語1	1	I	
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
		韓国語2	1	I	
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	I	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	I	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

心理こども学科 第1表 (教職に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教職の意義等に関する科目	2	教職概論	2	I	教職必修
教育の基礎理論に関する科目	6	教育原理	2	II	
		幼児教育学原理	2	II	教職必修
		教育心理学	2	I	教職必修
		学習・発達論	2	II	教職必修
		発達心理学	2	I	必修
		教育経営論	2	III	教職必修
教育課程及び指導法に関する科目	18	保育内容総論	2	I	教職必修
		幼児教育課程の研究	2	II	教職必修
		保育内容の研究・健康	2	III	教職必修
		保育内容の研究・人間関係	2	II	教職必修
		保育内容の研究・環境	2	III	教職必修
		保育内容の研究・言葉	2	II	教職必修
		保育内容の研究・表現(造形表現)	1	I	教職必修
		保育内容の研究・表現(身体表現)	1	II	教職必修
		幼児教育指導法	2	III	教職必修
		教育方法論	2	II	教職必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	2	幼児指導論(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	IV	教職必修
教育実習	5	教育実習の研究Ⅰ	1	II	教職必修
		教育実習Ⅰ	1	II	教職必修
		教育実習の研究Ⅱ	1	III	教職必修
		教育実習Ⅱ	3	III	教職必修
計	35	計	42		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。

(3) 全科目、心理こども学科の専門科目として開講。

(4) 第1表「教職に関する科目」の法定必要単位は35単位であるが、それを超えて修得した単位は、第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充当する。

(5) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第2表 (教科又は教職に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当 年次	
教科又は教職に関する科目	10	○オフィス情報処理Ⅰ	2	II	} 教職選択必修
		*教育情報学	2	III	
		その他の教科・教職に関する科目	8		「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」の中から8単位選択

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、心理こども学科の専門科目として開講。

(3) ○印の付された科目は、「共通科目」として開講。

(4) 法定必要単位数に不足する分は、最低必要単位を超えて修得した第1表「教職に関する科目」及び第3表「教科に関する科目」の単位で充足する。

心理こども学科 第3表 (教科に関する科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考	
科	目	単位	本学授業科目名	単位		配当 年次
国語	生活 音楽 図画工作 体育 算数	6	*日本語表現法	2	I	必修
			児童文学	2	II	
生活			生活文化概論	2	I	
音楽			初等音楽 1	2	I	教職必修
			初等音楽 2	2	I	教職必修
			初等音楽 3	2	III	
			初等音楽 4	2	III	
図画工作			図画工作	2	I	教職必修
体育			初等体育	2	II	教職必修
算数	算数科概論	2	II			
			計	20		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 備考欄の「必修」とは、本学学生全員の必修科目。

(3) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

(4) 第3表「教科に関する科目」の法定必要単位は6単位であるが、それを超えて修得した単位は第2表「教科又は教職に関する科目」の単位に充当する。

心理こども学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目) [平成29年度入学生適用]

免許法施行規則に定める科目及び所要単位		左記に対応する本学の開設科目			備 考
科 目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	I	教職必修
体育	2	健康科学	1	I	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ1	1	I	
		健康スポーツ2	1	I	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	I	} 2科目教職選択必修
		英語2	1	I	
		英語3	1	I	
		英語4	1	I	
		フランス語1	1	I	
		フランス語2	1	I	
		中国語1	1	I	
		中国語2	1	I	
		韓国語1	1	I	
情報機器の操作	2	韓国語2	1	I	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー1	2	I	
		情報リテラシー2	2	I	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

教職課程に必要な科目一覧表

【中学校・高等学校教諭1種免許状】 令和2年度入学生

科目名	教職に関する単位数		配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修		
教職概論	2		I	○
教育・学校心理学	2		I	○
英語科教育法Ⅰ	2		I	○
日本国憲法	2		I	○
健康科学		1 △	I	○
健康スポーツ1		1 △	I	○
健康スポーツ2		1 △	I	○
フランス語1		1 ☆	I	○
フランス語2		1 ☆	I	○
中国語1		1 ☆	I	○
中国語2		1 ☆	I	○
韓国語1		1 ☆	I	○
韓国語2		1 ☆	I	○
情報リテラシー 1		2 □	I	○
情報リテラシー 2		2 □	I	○
英米文学入門	2		I	○
異文化理解	2		I	○
人権教育論	2		Ⅱ	○
英語科教育法Ⅱ	2		Ⅱ	○
特別活動論	2		Ⅱ	
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2		Ⅱ	○
特別支援教育	2		Ⅱ	
教育原理	2		Ⅱ	○ *
教育方法論	2		Ⅱ	○
介護等の体験（事前指導）	1		Ⅱ	
英語学概論	2		Ⅱ	○
Oral Communication 300	2		Ⅱ	○
Oral Communication 400	2		Ⅱ	○
Oral Communication 500		2 ▼	Ⅱ	○
Oral Communication 600		2 ▼	Ⅲ	○
Reading 501	2		Ⅱ	○
Reading 601	2		Ⅲ	○
Pronunciation 104		2 ▼	I	○
Oral Communication 700		2 ▼	Ⅲ	○
英米文学研究	2		Ⅲ	○
教育経営論	2		Ⅲ	○
英語科教育法Ⅲ	2		Ⅲ	○
英語科教育法Ⅳ	2		Ⅲ	○
道德教育指導論	2		Ⅲ	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2		Ⅲ	
教育相談（カウンセリングを含む）	2		Ⅲ	○
介護等の体験（事後指導含む）	1		Ⅲ	
English for Academic Purposes 801	2		Ⅳ	○
Oral Communication 800		2 ▼	Ⅳ	○
教育実習指導（中・高）	1		Ⅳ	
教育実習	4		Ⅳ	
教職実践演習（中・高）	2		Ⅳ	

○・・・修得した単位は卒業要件として認められる。

△・・・2科目選択必修

☆・・・2科目選択必修

□・・・1科目選択必修

▼・・・4単位選択必修

*・・・単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

教職課程に必要な科目一覧表

【中学校・高等学校教諭1種免許状】 令和元年度入学生

科目名	教職に関する単位数		配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修		
教職概論	2		I	○
教育・学校心理学	2		I	○
英語科教育法 I	2		I	○
日本国憲法	2		I	○
健康科学		1 △	I	○
健康スポーツ1		1 △	I	○
健康スポーツ2		1 △	I	○
フランス語1		1 ☆	I	○
フランス語2		1 ☆	I	○
中国語1		1 ☆	I	○
中国語2		1 ☆	I	○
韓国語1		1 ☆	I	○
韓国語2		1 ☆	I	○
情報リテラシー 1		2 □	I	○
情報リテラシー 2		2 □	I	○
英米文学入門	2		I	○
異文化理解	2		II	○
人権教育論	2		II	○
英語科教育法 II	2		II	○
特別活動論	2		II	
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2		II	○
特別支援教育	2		II	
教育原理	2		II	○ *
教育方法論	2		II	○
介護等の体験（事前指導）	1		II	
英語学概論	2		II	○
Oral Communication 300	2		II	○
Oral Communication 400	2		II	○
Oral Communication 500		2 ▼	III	○
Oral Communication 600		2 ▼	III	○
Reading 501	2		III	○
Reading 601	2		III	○
Pronunciation 504		2 ▼	III	○
Oral Communication 700		2 ▼	III	○
英米文学研究	2		III	○
教育経営論	2		III	○
英語科教育法 III	2		III	○
英語科教育法 IV	2		III	○
道徳教育指導論	2		III	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2		III	
教育相談（カウンセリングを含む）	2		III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1		III	
English for Academic Purposes 801	2		IV	○
Oral Communication 800		2 ▼	IV	○
教育実習指導（中・高）	1		IV	
教育実習	4		IV	
教職実践演習（中・高）	2		IV	

○・・・修得した単位は卒業要件として認められる。

△・・・2科目選択必修

☆・・・2科目選択必修

□・・・1科目選択必修

▼・・・4単位選択必修

*・・・単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

教職課程に必要な科目一覧表

【中学校・高等学校教諭1種免許状】 平成30年度入学生

科目名	教職に関する単位数		配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修		
教職概論	2		I	○
教育・学校心理学	2		I	○
英語科教育法 I	2		I	○
日本国憲法	2		I	○
健康科学		1 △	I	○
健康スポーツ1		1 △	I	○
健康スポーツ2		1 △	I	○
フランス語1		1 ☆	I	○
フランス語2		1 ☆	I	○
中国語1		1 ☆	I	○
中国語2		1 ☆	I	○
韓国語1		1 ☆	I	○
韓国語2		1 ☆	I	○
情報リテラシー 1		2 □	I	○
情報リテラシー 2		2 □	I	○
英米文学入門	2		I	○
異文化理解	2		II	○
人権教育論	2		II	○
英語科教育法 II	2		II	○
特別活動論	2		II	
教育課程論	2		II	○
教育原理	2		II	○ *
教育方法論	2		II	○
介護等の体験（事前指導）	1		II	
英語学概論	2		II	○
Oral Communication 300	2		II	○
Oral Communication 400	2		II	○
Oral Communication 500		2 ▼	III	○
Oral Communication 600		2 ▼	III	○
Reading 501	2		III	○
Reading 601	2		III	○
Pronunciation 504		2 ▼	III	○
Oral Communication 700		2 ▼	III	○
英米文学研究	2		III	○
教育経営論	2		III	○
英語科教育法 III	2		III	○
英語科教育法 IV	2		III	○
道德教育指導論	2		III	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2		III	
教育相談（カウンセリングを含む）	2		III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1		III	
English for Academic Purposes 801	2		IV	○
Oral Communication 800		2 ▼	IV	○
教育実習指導（中・高）	1		IV	
教育実習	4		IV	
教職実践演習（中・高）	2		IV	

○・・・修得した単位は卒業要件として認められる。

△・・・2科目選択必修

☆・・・2科目選択必修

□・・・1科目選択必修

▼・・・4単位選択必修（「教科又は教職に関する科目」を充足するため4単位以上を修得）

*・・・単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

教職課程に必要な科目一覧表

【中学校・高等学校教諭1種免許状】 平成29年度入学生

科目名	教職に関する単位数		配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修		
教職概論	2		I	○
教育心理学	2		I	○
英語科教育法 I	2		I	○
日本国憲法	2		I	○
健康科学		1 △	I	○
健康スポーツ1		1 △	I	○
健康スポーツ2		1 △	I	○
フランス語1		1 ☆	I	○
フランス語2		1 ☆	I	○
中国語1		1 ☆	I	○
中国語2		1 ☆	I	○
韓国語1		1 ☆	I	○
韓国語2		1 ☆	I	○
情報リテラシー 1		2 □	I	○
情報リテラシー 2		2 □	I	○
英米文学入門	2		I	○
English and American Entertainment		2 ▼	I	○
異文化理解	2		II	○
人権教育論	2		II	○
英語科教育法 II	2		II	○
特別活動論	2		II	
教育課程論	2		II	○
教育原理	2		II	○ *
教育方法論	2		II	○
介護等の体験（事前指導）	1		II	
英語学概論	2		II	○
Oral Communication 300	2		II	○
Oral Communication 400	2		II	○
Oral Communication 500		2 ▼	III	○
Oral Communication 600		2 ▼	III	○
Reading 501	2		III	○
Reading 601	2		III	○
Pronunciation 504		2 ▼	III	○
Oral Communication 700		2 ▼	III	○
英米文学研究	2		III	○
教育経営論	2		III	○
英語科教育法 III	2		III	○
英語科教育法 IV	2		III	○
道德教育指導論	2		III	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2		III	
教育相談（カウンセリングを含む）	2		III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1		III	
English for Academic Purposes 801	2		IV	○
Oral Communication 800		2 ▼	IV	○
教育実習の研究	1		IV	
教育実習	4		IV	
教職実践演習（中・高）	2		IV	

○・・・修得した単位は卒業要件として認められる。

△・・・2科目選択必修

☆・・・2科目選択必修

□・・・1科目選択必修

▼・・・4単位選択必修（「教科又は教職に関する科目」を充足するため4単位以上を修得）

*・・・単位修得後に教職課程を辞退した場合は卒業要件から除外される。

【小学校教諭1種免許状】 令和元年度以降入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教職概論	2			I	○
教育・学校心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
生活文化概論		2 △		I	○
初等音楽1		2 △		I	○
初等音楽2		2 △		I	○
図画工作		2 △		I	○
初等英語	2			I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 ☆		I	○
健康スポーツ1		1 ☆		I	○
健康スポーツ2		1 ☆		I	○
日本語表現法	2			I	○
英語1		1 □		I	○
英語2		1 □		I	○
英語3		1 □		I	○
英語4		1 □		I	○
フランス語1		1 □		I	○
フランス語2		1 □		I	○
中国語1		1 □		I	○
中国語2		1 □		I	○
韓国語1		1 □		I	○
韓国語2		1 □		I	○
情報リテラシー1		2 ▼		I	○
情報リテラシー2		2 ▼		I	○
人権教育論			2	II	○
教育原理	2			II	○
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2			II	○
特別支援教育	2			II	○
初等国語科指導法	2			III	○
初等社会科指導法	2			II	○
初等算数科指導法	2			II	○
初等理科指導法	2			II	○
初等生活科指導法	2			II	○
初等英語科指導法	2			II	○
特別活動論	2			II	○
教育方法論	2			II	○
介護等の体験（事前指導）	1			II	○
児童文学		2 △		II	○
社会科学概論		2 △		II	○
算数科概論		2 △		II	○
自然科学概論		2 △		II	○
家政学概論		2 △		II	○
初等体育		2 △		II	○
教育経営論	2			III	○
初等音楽科指導法	2			III	○
初等図画工作科指導法	2			III	○
初等家庭科指導法	2			III	○
初等体育科指導法	2			III	○
道德教育指導論	2			II	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2			III	○
教育相談（カウンセリングを含む）	2			III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1			III	○
教育実習指導（小学校）	1			III	○
教育実習（小学校）	4			III	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			IV	○

△：6単位選択必修 ☆：2単位選択必修 □：2単位選択必修 ▼：2単位選択必修

【小学校教諭1種免許状】 平成30年度入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教職概論	2			I	○
教育・学校心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
生活文化概論		2 △		I	○
初等音楽1		2 △		I	○
初等音楽2		2 △		I	○
図画工作		2 △		I	○
初等英語			2	I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 ☆		I	○
健康スポーツ1		1 ☆		I	○
健康スポーツ2		1 ☆		I	○
日本語表現法	2			I	○
英語1		1 □		I	○
英語2		1 □		I	○
英語3		1 □		I	○
英語4		1 □		I	○
フランス語1		1 □		I	○
フランス語2		1 □		I	○
中国語1		1 □		I	○
中国語2		1 □		I	○
韓国語1		1 □		I	○
韓国語2		1 □		I	○
情報リテラシー1		2 ▼		I	○
情報リテラシー2		2 ▼		I	○
人権教育論			2	II	○
教育原理	2			II	○
教育課程論	2			II	○
初等国語科指導法	2			III	○
初等社会科指導法	2			II	○
初等算数科指導法	2			II	○
初等理科指導法	2			II	○
初等生活科指導法	2			II	○
特別活動論	2			II	○
教育方法論	2			II	○
初等英語科指導法			2	II	○
介護等の体験（事前指導）	1			II	○
児童文学		2 △		II	○
社会科学概論		2 △		II	○
算数科概論		2 △		II	○
自然科学概論		2 △		II	○
家政学概論		2 △		II	○
初等体育		2 △		II	○
教育経営論	2			III	○
初等音楽科指導法	2			III	○
初等図画工作科指導法	2			III	○
初等家庭科指導法	2			III	○
初等体育科指導法	2			III	○
道德教育指導論	2			II	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2			III	○
教育相談（カウンセリングを含む）	2			III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1			III	○
教育実習指導（小学校）	1			III	○
教育実習（小学校）	4			III	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			IV	○

△：6単位選択必修 ☆：2単位選択必修 □：2単位選択必修 ▼：2単位選択必修

注意事項：「教科又は教職に関する科目」の不足単位（2単位）は選択科目や△印で修得した6単位以外の科目で充足すること

【小学校教諭1種免許状】 平成29年度入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教職概論	2			I	○
教育心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
生活文化概論		2 △		I	○
初等音楽1		2 △		I	○
初等音楽2		2 △		I	○
図画工作		2 △		I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 ☆		I	○
健康スポーツ1		1 ☆		I	○
健康スポーツ2		1 ☆		I	○
日本語表現法	2			I	○
英語1		1 □		I	○
英語2		1 □		I	○
英語3		1 □		I	○
英語4		1 □		I	○
フランス語1		1 □		I	○
フランス語2		1 □		I	○
中国語1		1 □		I	○
中国語2		1 □		I	○
韓国語1		1 □		I	○
韓国語2		1 □		I	○
情報リテラシー1		2 ▼		I	○
情報リテラシー2		2 ▼		I	○
児童英語教育概論（英語観光学科専門科目）			2	I	○（その他科目）
オフィス情報処理1		2 ○		II	○
教育原理	2			II	○
学習・発達論	2			II	○
教育課程論	2			II	○
初等国語科指導法	2			III	○
初等社会科指導法	2			II	○
初等算数科指導法	2			II	○
初等理科指導法	2			II	○
初等生活科指導法	2			II	○
特別活動論	2			II	○
教育方法論	2			II	○
キッズ・イングリッシュI			2	II	○
介護等の体験（事前指導）	1			II	○
児童文学		2 △		II	○
社会科学概論		2 △		II	○
算数科概論		2 △		II	○
自然科学概論		2 △		II	○
家政学概論		2 △		II	○
初等体育		2 △		II	○
教育経営論	2			III	○
初等音楽科指導法	2			III	○
初等図画工作科指導法	2			III	○
初等家庭科指導法	2			III	○
初等体育科指導法	2			III	○
道德教育指導論	2			II	○
生徒指導論（進路指導を含む）	2			III	○
教育相談（カウンセリングを含む）	2			III	○
教育情報学		2 ○		III	○
介護等の体験（事後指導含む）	1			III	○
教育実習指導（小学校）	1			III	○
教育実習（小学校）	4			III	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			IV	○

△：6単位選択必修 ☆：2単位選択必修 □：2単位選択必修 ▼：2単位選択必修 ○：2単位選択必修

【幼稚園教諭1種免許状】 令和元年度以降入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教育・学校心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
保育内容の研究・表現（造形表現）	1			Ⅲ	○
日本語表現法	2			I	○
生活文化概論			2	I	○
初等音楽1	2			I	○
初等音楽2	2			I	○
図画工作	2			I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 △		I	○
健康スポーツ1		1 △		I	○
健康スポーツ2		1 △		I	○
英語1		1 ☆		I	○
英語2		1 ☆		I	○
英語3		1 ☆		I	○
英語4		1 ☆		I	○
フランス語1		1 ☆		I	○
フランス語2		1 ☆		I	○
中国語1		1 ☆		I	○
中国語2		1 ☆		I	○
韓国語1		1 ☆		I	○
韓国語2		1 ☆		I	○
情報リテラシー1		2 □		I	○
情報リテラシー2		2 □		I	○
教職概論	2			I	○
保育内容総論	2			I	○
教育原理			2	Ⅱ	○
幼児教育学原理	2			Ⅱ	○
特別支援教育	2			Ⅱ	○
幼児教育課程論	2			Ⅱ	○
保育内容の研究・人間関係	2			Ⅱ	○
保育内容の研究・言葉	2			Ⅲ	○
保育内容の研究・表現（身体表現）	1			Ⅱ	○
保育内容の研究・表現（音楽表現）	1			Ⅱ	○
児童文学			2	Ⅱ	○
初等体育	2			Ⅱ	○
算数科概論			2	Ⅱ	○
教育方法論	2			Ⅱ	○
初等音楽3			2	Ⅱ	○
初等音楽4			2	Ⅲ	○
教育経営論	2			Ⅲ	○
保育内容の研究・健康	2			Ⅲ	○
保育内容の研究・環境	2			Ⅲ	○
幼児教育指導法	2			Ⅲ	○
幼児理解の理論と方法（教育相談を含む）	2			Ⅲ	○
教育実習指導（幼稚園）Ⅰ	1			Ⅱ	○
教育実習Ⅰ	1			Ⅱ	○
教育実習指導（幼稚園）Ⅱ	1			Ⅲ	○
教育実習Ⅱ	3			Ⅲ	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			Ⅳ	○

△：2科目選択必修

☆：2科目選択必修

□：1科目選択必修

▼：1科目選択必修

【幼稚園教諭1種免許状】 平成30年度入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教育・学校心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
保育内容の研究・表現（造形表現）	1			I	○
日本語表現法	2			I	○
生活文化概論			2	I	○
初等音楽1	2			I	○
初等音楽2	2			I	○
図画工作	2			I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 △		I	○
健康スポーツ1		1 △		I	○
健康スポーツ2		1 △		I	○
英語1		1 ☆		I	○
英語2		1 ☆		I	○
英語3		1 ☆		I	○
英語4		1 ☆		I	○
フランス語1		1 ☆		I	○
フランス語2		1 ☆		I	○
中国語1		1 ☆		I	○
中国語2		1 ☆		I	○
韓国語1		1 ☆		I	○
韓国語2		1 ☆		I	○
情報リテラシー1		2 □		I	○
情報リテラシー2		2 □		I	○
教職概論	2			I	○
保育内容総論	2			I	○
教育原理			2	II	○
幼児教育学原理	2			II	○
幼児教育課程論	2			II	○
保育内容の研究・人間関係	2			II	○
保育内容の研究・言葉	2			II	○
保育内容の研究・表現（身体表現）	1			II	○
保育内容の研究・表現（音楽表現）	1			II	○
児童文学			2	II	○
初等体育	2			II	○
算数科概論			2	II	○
教育方法論	2			II	○
初等音楽3			2	II	○
初等音楽4			2	III	○
教育経営論	2			III	○
保育内容の研究・健康	2			III	○
保育内容の研究・環境	2			III	○
幼児教育指導法	2			III	○
幼児指導論（カウンセリングを含む）	2			III	○
教育実習指導（幼稚園）Ⅰ	1			II	○
教育実習Ⅰ	1			II	○
教育実習指導（幼稚園）Ⅱ	1			III	○
教育実習Ⅱ	3			III	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			IV	○

△：2科目選択必修

☆：2科目選択必修

□：1科目選択必修

▼：1科目選択必修

【幼稚園教諭1種免許状】 平成29年度入学生

科目名	教職に関する単位数			配当年次	卒業要件算入
	必修	選択必修	選択		
教育心理学	2			I	○
発達心理学	2			I	○
保育内容の研究・表現（造形表現）	1			I	○
日本語表現法	2			I	○
生活文化概論			2	I	○
初等音楽1	2			I	○
初等音楽2	2			I	○
図画工作	2			I	○
日本国憲法	2			I	○
健康科学		1 △		I	○
健康スポーツ1		1 △		I	○
健康スポーツ2		1 △		I	○
英語1		1 ☆		I	○
英語2		1 ☆		I	○
英語3		1 ☆		I	○
英語4		1 ☆		I	○
フランス語1		1 ☆		I	○
フランス語2		1 ☆		I	○
中国語1		1 ☆		I	○
中国語2		1 ☆		I	○
韓国語1		1 ☆		I	○
韓国語2		1 ☆		I	○
情報リテラシー1		2 □		I	○
情報リテラシー2		2 □		I	○
教職概論	2			I	○
保育内容総論	2			I	○
オフィス情報処理1		2 ▼		II	○
教育原理			2	II	○
幼児教育学原理	2			II	○
学習・発達論	2			II	○
幼児教育課程の研究	2			II	○
保育内容の研究・人間関係	2			II	○
保育内容の研究・言葉	2			II	○
保育内容の研究・表現（身体表現）	1			II	○
児童文学			2	II	○
初等体育	2			II	○
算数科概論			2	II	○
教育方法論	2			II	○
初等音楽3			2	II	○
初等音楽4			2	III	○
教育経営論	2			III	○
保育内容の研究・健康	2			III	○
保育内容の研究・環境	2			III	○
幼児教育指導法	2			III	○
幼児指導論（カウンセリングを含む）	2			III	○
教育情報学		2 ▼		III	○
教育実習の研究Ⅰ	1			II	○
教育実習Ⅰ	1			II	○
教育実習の研究Ⅱ	1			III	○
教育実習Ⅱ	3			III	○
保育・教職実践演習（幼・小）	2			IV	○

△：2科目選択必修

☆：2科目選択必修

□：1科目選択必修

▼：1科目選択必修

資 格 課 程

保育士

情報処理士

実践キャリア実務士

観光ビジネス実務士・観光実務士
(令和2年度入学生より、資格名称変更)

認定心理士

公認心理師

資格課程

保育士

保育士資格取得

- 1 本学において、保育士資格を取得するには、別表「心理こども学科保育士養成課程授業科目及び単位の修得方法」にあげた所定科目の単位を修得して、心理こども学科を卒業することが必要である。
- 2 本学における授業科目と履修に関する注意点
各科目は必ず配当年次に履修し、修得しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上、学科の必修科目などと重複して履修できなくなる場合があるので、計画を立てて履修することが必要である。必修と記載している科目はすべて修得しなければならない。
- 3 保育実習について
(1) 保育実習を履修する学生は保育職に就く強い意志を持ち、幅広い資質能力を有すること。また、「保育実習ⅠA・ⅠB・Ⅱ」については、(1)に加え、それぞれ、以下(2)～(4)の条件を満たさなければ履修することができない。なお、条件の判定は該当委員会にておこなう。

<令和元年度以降入学生適用>

- (2) 保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）
別表その2に定める科目のうち、Ⅰ年次開講科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。Ⅱ年次春学期配当科目を履修中であること。
- (3) 保育実習ⅠA（保育所実習）
別表その2に定める科目のうち、Ⅰ年次開講科目とⅡ年次春学期科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。Ⅱ年次秋学期配当科目を履修中であること。
- (4) 保育実習Ⅱ（保育所実習）
別表その2に定める科目のうち、Ⅰ・Ⅱ年次開講科目とⅢ年次春学期科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。Ⅲ年次秋学期配当科目を履修中であること。

<平成30年度以前入学生適用>

- (2) 保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）
別表その2に定める科目のうち、Ⅰ・Ⅱ年次開講科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。Ⅲ年次春学期配当科目を履修中であること。
- (3) 保育実習ⅠA（保育所実習）
別表その2に定める科目のうち、Ⅰ・Ⅱ年次開講科目とⅢ年次春学期科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。Ⅲ年次秋学期配当科目を履修中であること。
- (4) 保育実習Ⅱ（保育所実習）
別表その2に定める科目のうち、「保育・教職実践演習（幼・小）」を除く全ての科目を修得していること（2科目まで修得見込みの場合も可）。

別表 心理こども学科保育士養成課程授業科目及び単位の修得方法

※ 別表における必修・選択の区分は保育士資格に関する区分であり、卒業要件とは異なる。

〔令和元年度以降入学生適用〕

その1

告示による教科目			本学開講授業科目及びその履修方法				備考		
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数				
					必修	選択		計	
教養科目	外国語、体育以外の科目	6 以上	情報リテラシー 1	I	2		2	いずれか 2 単位選択必修	
			情報リテラシー 2	I	2		2		
			キリスト教入門	I	2		2		
			欧米文化入門	II		2	2		
			日本文化史	II		2	2		
			現代家族関係論	II		2	2		
			ジェンダー論	I	2	2	2		
	外国語	2 以上	英語 1	I		1	1		
			英語 2	I		1	1		
			フランス語 1	I		1	1		
			フランス語 2	I		1	1		
			中国語 1	I		1	1		
			中国語 2	I		1	1		
			韓国語 1	I		1	1		
			韓国語 2	I		1	1		
	体育	1	健康科学	I	1		1		いずれか 1 単位選択必修
		1	健康スポーツ 1	I		1	1		
			健康スポーツ 2	I		1	1		
合計		10単位以上			7	18	25	必修・選必を含め、 <u>10単位以上</u> 修得すること。 (参) 指定基準は 8 単位以上	

いずれか 2 単位選択必修

必修・選必を含め、10単位以上修得すること。
(参) 指定基準は 8 単位以上

その2

告示による教科目			本学開講授業科目及びその履修方法					備考
系列	教科目	単位数	左に対応して 開設されている授業科目	開講 年次	単位数			
					必修	選択	計	
目的 に関する 科目	保育原理	2	保育原理	I	2			
	教育原理	2	幼児教育学原理	Ⅱ	2			
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	Ⅱ	2			
	社会福祉	2	社会福祉論	Ⅲ	2			
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	Ⅲ	2			
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	I	2			
	保育者論	2	教職概論	I	2			
理解 に関する 科目	保育の心理学	2	発達心理学	I	2			
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	Ⅲ	2			
	子どもの理解と援助	1	子どもの理解と援助	Ⅲ	1			
	子どもの保健	2	子どもの保健	Ⅱ	2			
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	Ⅲ	2			
保育の 内容・ 方法に 関する 科目	保育の計画と評価	2	幼児教育課程論	Ⅱ	2			
	保育内容総論	1	保育内容総論	I	2			
	保育内容演習	5	保育内容の研究・健康	Ⅲ	2			
			保育内容の研究・人間関係	Ⅱ	2			
			保育内容の研究・環境	Ⅲ	2			
			保育内容の研究・言葉	Ⅲ	2			
			保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅲ	1			
			保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ	1			
			保育内容の研究・表現（音楽表現）	Ⅱ	1			
	保育内容の理解と方法	4	日本語表現法	I	2			
			図画工作	I	2			
			初等体育	Ⅱ	2			
			初等音楽1	I	2			
			初等音楽2	I	2			
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	I	2			
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	Ⅱ	1			
	子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	Ⅲ	1			
	障害児保育	2	障害児保育	Ⅳ	2			
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	Ⅲ	1				
子育て支援	1	子育て支援	Ⅳ	1				
保育 実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅱ	2		1単位40時間	
			保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅱ	2			
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導ⅠA	Ⅱ	1			
			保育実習指導ⅠB	Ⅱ	1			
総合 演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ	2			
合計		51			64		64	全必修科目64単位を修得すること。 （参）指定基準は51単位

その3

告示による教科目			本学開講授業科目及びその履修方法					備考
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている教科目	開講年次	単位数			
					必修	選択	計	
目的に関する科目	養成施設において設定	15以上	乳幼児心理学	Ⅱ		2	2	
方法に関する科目			教育相談（カウンセリングを含む）	Ⅲ		2	2	
			情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2	2	
			幼児理解の理論と方法（教育相談を含む）	Ⅲ	2		2	
			教育方法論	Ⅱ	2		2	
			地域子育て支援Ⅰ	Ⅳ		1	1	
			地域子育て支援Ⅱ	Ⅳ		1	1	
			初等音楽Ⅲ	Ⅲ		2	2	
初等音楽Ⅳ	Ⅳ		2	2				
保育実習	保育実習Ⅱ	2	保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅲ	2		2	1単位40時間
	保育実習指導Ⅱ	1	保育実習指導Ⅱ	Ⅲ	1		1	
合計					7	12	19	必修・選必を含め、 <u>12単位以上</u> 修得すること。 (参)指定基準は8単位以上

〔平成30年度入学生適用〕

その1

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数		備考	
					必修	選択		計
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	6 以上	情報リテラシー 1	I	2		2	
			情報リテラシー 2	I	2		2	
			キリスト教入門	I	2		2	
			欧米文化入門	II		2	2	
			日本文化史	II		2	2	
			現代家族関係論	II		2	2	
			ジェンダー論	I		2	2	
	外国語	2 以上	英語 1	I		1	1	いずれか 2 単位選択必修
			英語 2	I		1	1	
			フランス語 1	I		1	1	
			フランス語 2	I		1	1	
			中国語 1	I		1	1	
			中国語 2	I		1	1	
			韓国語 1	I		1	1	
			韓国語 2	I		1	1	
	体育	1	健康科学	I	1		1	
		1	健康スポーツ 1	I		1	1	
			健康スポーツ 2	I		1	1	
合 計		10単位 以上	計		7	16	23	必修・選択必修を含め、 <u>12単位以上</u> 修得すること。 (参) 指定基準は 8 単位以上

その2

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	計	
目的に関する科目 保育の本質・社会的養護	保育原理	2	保育原理Ⅰ	Ⅰ	2		2	
	教育原理	2	教育原理	Ⅱ	2		2	
	児童家庭福祉	2	児童家庭福祉	Ⅱ	2		2	
	社会福祉	2	社会福祉論	Ⅰ	2		2	
	相談援助	1	相談援助	Ⅲ	1		1	
	社会的養護	2	社会的養護	Ⅱ	2		2	
	保育者論	2	教職概論	Ⅰ	2		2	
理解に関する科目 保育の対象の子ども	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学	Ⅰ	2		2	
	保育の心理学Ⅱ	1	教育・学校心理学	Ⅰ	2		2	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健ⅠA	Ⅱ	2		4	
			子どもの保健ⅠB	Ⅲ	2			
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅱ	Ⅱ	1		1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	Ⅱ	2		2	
	家庭支援論	2	家庭支援論	Ⅲ	2		2	
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	2	幼児教育課程論	Ⅱ	2		2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	Ⅰ	2		2	
	保育内容演習	5	保育内容の研究・健康	Ⅲ	2		10	
			保育内容の研究・人間関係	Ⅱ	2			
			保育内容の研究・環境	Ⅲ	2			
			保育内容の研究・言葉	Ⅱ	2			
			保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅰ	1			
			保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ	1			
	乳児保育	2	乳児保育	Ⅰ	2		2	
	障害児保育	2	障害児保育	Ⅱ	2		2	
	社会的養護内容	1	社会的養護内容	Ⅲ	1		1	
保育相談支援	1	保育相談支援	Ⅲ	1		1		
表現技術 保育の表現技術	保育の表現技術	4	日本語表現法	Ⅰ	2		10	
			図画工作	Ⅰ	2			
			初等体育	Ⅱ	2			
			初等音楽1	Ⅰ	2			
			初等音楽2	Ⅰ	2			
			保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅲ	2			4
保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅲ	2						
保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導A	Ⅲ	2		2		
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ	2		2	
合 計					64		64	全必修科目64単位を修得すること。 （参）指定基準は51単位

その3

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	計	
目的に関する科目・ 理解に関する科目・ 方法に関する科目・ 養育の環境	養成施設において設定	15 単 位 以 上	幼児教育学原理	Ⅱ		2	2	※
			乳幼児心理学	Ⅱ		2	2	※
			臨床心理学概論	Ⅱ		2	2	※
			教育相談(カウンセリングを含む)	Ⅲ		2	2	※
			情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2	2	※
			幼児指導論(カウンセリングを含む)	Ⅲ	2		2	
			こどもと遊び	Ⅱ		2	2	※
			教育方法論	Ⅱ		2	2	※
			フィールドワーク概論	Ⅰ		2	2	※
			ボランティア論	Ⅰ		2	2	※
			子育て支援と地域社会	Ⅲ		2	2	※
			初等音楽3	Ⅱ		2	2	※
			初等音楽4	Ⅲ		2	2	※
実習 保育	保育実習Ⅱ	2	保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅳ	2		2	1 単位40時間
	保育実習指導Ⅱ	1	保育実習指導B	Ⅳ	1		1	
合 計					5	24	29	合計14単位以上を修得すること。 (参) 指定基準は9単位

〔平成29年度入学生適用〕

その1

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数		備考	
					必修	選択		計
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	情報リテラシー1	I	2		2	
			情報リテラシー2	I	2		2	
			キリスト教入門	I	2		2	
			欧米文化入門	II		2	2	
			日本文化史	II		2	2	
			現代家族関係論	II		2	2	
			ジェンダー論	I		2	2	
	外国語	2以上	英語1	I		1	1	いずれか2単位選択必修
			英語2	I		1	1	
			フランス語1	I		1	1	
			フランス語2	I		1	1	
			中国語1	I		1	1	
			中国語2	I		1	1	
			韓国語1	I		1	1	
			韓国語2	I		1	1	
	体育	1	健康科学	I	1		1	
		1	健康スポーツ1	I		1	1	
			健康スポーツ2	I		1	1	
合 計		10単位以上	計		7	16	23	必修・選択必修を含め、 <u>12単位以上</u> 修得すること。 (参) 指定基準は8単位以上

その2

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	計	
目的に関する科目 保育の本質・	保育原理	2	保育原理Ⅰ	Ⅰ	2		2	
	教育原理	2	教育原理	Ⅱ	2		2	
	児童家庭福祉	2	児童家庭福祉	Ⅱ	2		2	
	社会福祉	2	社会福祉論	Ⅰ	2		2	
	相談援助	1	相談援助	Ⅲ	1		1	
	社会的養護	2	社会的養護	Ⅱ	2		2	
	保育者論	2	教職概論	Ⅰ	2		2	
理解に関する科目 保育の対象の	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学	Ⅰ	2		2	
	保育の心理学Ⅱ	1	教育心理学	Ⅰ	2		2	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健ⅠA	Ⅱ	2		4	
			子どもの保健ⅠB	Ⅲ	2			
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅱ	Ⅱ	1		1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	Ⅱ	2		2	
	家庭支援論	2	家庭支援論	Ⅲ	2		2	
方法に関する科目 保育の内容・	保育課程論	2	幼児教育課程の研究	Ⅱ	2		2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	Ⅰ	2		2	
	保育内容演習	5	保育内容の研究・健康	Ⅲ	2		10	
			保育内容の研究・人間関係	Ⅱ	2			
			保育内容の研究・環境	Ⅲ	2			
			保育内容の研究・言葉	Ⅱ	2			
			保育内容の研究・表現（造形表現）	Ⅰ	1			
			保育内容の研究・表現（身体表現）	Ⅱ	1			
	乳児保育	2	乳児保育	Ⅰ	2		2	
	障害児保育	2	障害児保育	Ⅱ	2		2	
社会的養護内容	1	社会的養護内容	Ⅲ	1		1		
保育相談支援	1	保育相談支援	Ⅲ	1		1		
表現技術 保育の	保育の表現技術	4	日本語表現法	Ⅰ	2		10	
			図画工作	Ⅰ	2			
			初等体育	Ⅱ	2			
			初等音楽1	Ⅰ	2			
			初等音楽2	Ⅰ	2			
実習 保育	保育実習Ⅰ	4	保育実習ⅠA（保育所実習）	Ⅲ	2		4	1単位40時間
		保育実習ⅠB（児童福祉施設実習）	Ⅲ	2				
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導A	Ⅲ	2		2	
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	Ⅳ	2		2	
合 計					64		64	全必修科目64単位を修得すること。 （参）指定基準は51単位

その3

告示による教科目			本学開講授業科目及びその修得方法					
系列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	計	
目的に関する科目	養成施設において設定	15単位以上	幼児教育学原理	Ⅱ		2	2	※
理解に関する科目			乳幼児心理学	Ⅱ		2	2	※
			学習・発達論	Ⅱ		2	2	※
			臨床心理学	Ⅱ		2	2	※
			臨床発達心理学実習	Ⅲ		1	1	※
			教育相談(カウンセリングを含む)	Ⅲ		2	2	※ ※印から9単位以上を選択必修
			情緒・学習障害の心理	Ⅲ		2	2	※
方法に関する科目			幼児指導論(カウンセリングを含む)	Ⅲ	2		2	
			こどもと遊び	Ⅱ		2	2	※
			教育方法論	Ⅱ		2	2	※
			フィールドワーク概論	Ⅰ		2	2	※
			ボランティア論	Ⅰ		2	2	※
	子育て支援と地域社会	Ⅲ		2	2	※		
表現技術	初等音楽3	Ⅱ		2	2	※		
	初等音楽4	Ⅲ		2	2	※		
実習	保育実習Ⅱ	2	保育実習Ⅱ（保育所実習）	Ⅳ	2		2	1単位40時間
	保育実習指導Ⅱ	1	保育実習指導B	Ⅳ	1		1	
合 計					5	27	32	合計14単位以上を修得すること。 (参) 指定基準は9単位

情報処理士

- 「情報処理士」とは、全国大学実務教育協会によって認定される「情報処理士」資格のことである。
- 全国大学実務教育協会によって定められている規則に基づき、以下の条件を満たしている場合に申請が可能である。
 - 本学学生あるいは科目等履修生であること。
 - 本学において、別表に掲げる資格取得単位を修得した者。

＜令和 2 年度入学生適用＞	必修科目 14 単位、選択科目 10 単位以上、合計 24 単位以上
＜平成 30 年度・令和元年度入学生適用＞	必修科目 10 単位、選択科目 10 単位以上、合計 20 単位以上
＜平成 29 年度入学生適用＞	必修科目 4 単位、選択科目 12 単位以上、合計 16 単位以上
- 申請手続きについては、以下のとおりである。
 - 申請受付は年に 2 回行っている。申請受付時期は掲示にて告知する。別表に掲げる資格取得単位を既に修得している者、または当該学期末に修得見込みの者のみが申請申込みをすることが出来る。
 - 申請希望者は申請書を教務課で受け取る。
 - 申請希望者は教務課に申請書を提出し、認定料 3,300 円を払い込む。
 - 認定証の申請は、大学で一括して行う。
 - 教務課より申請者に認定証を配布する。
- 卒業年次でなくても資格認定が可能であるので、就職活動等に活用できる。

別 表

＜令和 2 年度入学生適用＞

1. 情報処理士 資格取得 必修科目（領域 1 から 4 単位、領域 2 から 6 単位、領域 3 から 4 単位）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	情報リテラシー 1	I	必修	2	
	情報リテラシー 2	I	必修	2	
領域 2	キャリアデザイン入門	I	必修	2	
	日本語表現法	I	必修	2	
	人間学 2	III	必修	2	
領域 3	演習 I	III	必修	2	
	演習 II	III	必修	2	

2. 情報処理士 資格取得 選択科目（領域 1 と領域 2 から 10 単位以上）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	情報活用の基礎知識	I	選択	2	
	オフィス情報処理 1	II	選択	2	
	オフィス情報処理 2	II	選択	2	
	統計学入門	I	選択	2	
領域 2	教育・学校心理学	I	選択	2	
	心理学概論	I	選択	2	

<平成30年度・令和元年度入学生適用>

1. 情報処理士 資格取得 必修科目（領域 1 から 4 単位、領域 2 から 6 単位）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	情報リテラシー 1	I	必修	2	
	情報リテラシー 2	I	必修	2	
領域 2	キャリアデザイン入門	I	必修	2	
	日本語表現法	I	必修	2	
	人間学 2	Ⅲ	必修	2	

2. 情報処理士 資格取得 選択科目（領域 1 と領域 2 から 10 単位以上）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	情報活用の基礎知識	I	選択	2	
	オフィス情報処理 1	Ⅱ	選択	2	
	オフィス情報処理 2	Ⅱ	選択	2	
	統計学入門	I	選択	2	
領域 2	教育・学校心理学	I	選択	2	
	心理学概論	I	選択	2	

<平成29年度入学生適用>

1. 情報処理士 資格取得 必修科目（2 科目 4 単位）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
情報リテラシー 1		I	必修	2	
情報リテラシー 2		I	必修	2	

2. 情報処理士 資格取得 選択科目（Ⅰ群 2 単位以上、Ⅱ群 2 単位以上 計 12 単位以上）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
Ⅰ 群	情報活用の基礎知識	I	選択	2	
	統計学入門	I	選択	2	
	オフィス情報処理 1	Ⅱ	選択	2	
	オフィス情報処理 2	Ⅱ	選択	2	
Ⅱ 群	キャリアデザイン入門	I	必修	2	
	日本語表現法	I	必修	2	
	心理学概論	I	選択	2	
	教育心理学	I	選択	2	
	人間学 2	Ⅲ	必修	2	

実践キャリア実務士

- 1 「実践キャリア実務士」とは、全国大学実務教育協会によって認定される「実践キャリア実務士」資格のことである。
- 2 全国大学実務教育協会によって定められている規則に基づき、以下の条件を満たしている場合に申請が可能である。
 - (1) 本学学生あるいは科目等履修生であること。
 - (2) 本学において、別表に掲げる資格取得必修科目 4 単位、選択科目 12 単位以上、合計 16 単位以上を修得した者。
- 3 申請手続きについては、以下のとおりである。
 - (1) 申請受付は年に 2 回行っている。申請受付時期は掲示にて告知する。別表の 16 単位以上を既に修得している者、または当該学期末に 16 単位以上を修得見込みの者のみが申請することが出来る。
 - (2) 申請希望者は申請書を教務課で受け取る。
 - (3) 申請希望者は教務課に申請書を提出し、認定料 5,500 円を払い込む。
 - (4) 認定証の申請は、大学で一括して行う。
 - (5) 教務課より申請者に認定証を配布する。
- 4 卒業年次でなくても資格認定が可能であるので、就職活動等に活用できる。

別 表

<平成30年度以降入学生適用>

1. 実践キャリア実務士 資格取得 必修科目（領域 1 から 2 単位、領域 2 から 2 単位）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	日本語表現法	I	必修	2	
領域 2	キャリアデザイン入門	I	必修	2	

2. 実践キャリア実務士 資格取得 選択科目（領域 1 と領域 2 から 12 単位以上）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	情報リテラシー 1	I	必修	2	
	情報リテラシー 2	I	必修	2	
	ホスピタリティ精神論	I	必修	2	
	女性と社会	Ⅲ	選択	2	
	人間学 2	Ⅲ	必修	2	
	心理学概論	I	選択	2	
	ホスピタリティ・マネジメント	Ⅲ	選択	2	令和 2 年度以降入学生はⅡ年次配当
	企業研究	Ⅱ	選択	2	令和 2 年度以降入学生はⅢ年次配当
領域 2	観光ビジネス実務論	Ⅱ	選択	2	
	インターンシップ（国内）	Ⅲ	選択	2	
	ボランティア論	I	選択	2	

＜平成29年度入学生適用＞

1. 実践キャリア実務士 資格取得 必修科目 (3 科目 4 単位)

科目名	配当年次	本学による区分	単位数	備考
キャリアデザイン入門	I	必修	2	
海星学 I	II	必修	1	
海星学 II	II	必修	1	

2. 実践キャリア実務士 資格取得 選択科目 (I, II 群から 12 単位以上)

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
Ⅰ 群	人間学 1	I	必修	2	
	情報リテラシー 1	I	必修	2	
	情報リテラシー 2	I	必修	2	
	日本語表現法	I	必修	2	
	ホスピタリティ精神論	I	必修	2	
	心理学概論	I	選択	2	
	日本語文章構成法	Ⅱ	選択	2	
	簿記会計学	Ⅱ	選択	2	
	Business English	Ⅱ	選択	2	
	企業研究	Ⅱ	選択	2	
	人間学 2	Ⅲ	必修	2	
	比較文化論	Ⅲ	選択	2	
Ⅱ 群	ボランティア論	I	選択	2	
	インターンシップ（国内）	Ⅲ	選択	2	

観光ビジネス実務士・観光実務士（令和２年度入学生より、資格名称変更）

- 「観光ビジネス実務士」・「観光実務士」とは、全国大学実務教育協会によって認定される「観光ビジネス実務士」・「観光実務士」資格のことである。
- 全国大学実務教育協会によって定められている規則に基づき、以下の条件を満たしている場合に申請が可能である。
 - 本学学生あるいは科目等履修生であること。
 - 本学において、別表に掲げる資格取得単位を修得した者。
 - ＜令和２年度入学生適用＞ 必修科目 8 単位、選択科目 12 単位以上、合計 20 単位以上
 - ＜令和元年度以前入学生適用＞ 必修科目 4 単位、選択科目 20 単位以上、合計 24 単位以上
- 申請手続きについては、以下のとおりである。
 - 申請受付は年 2 回行っている。申請受付時期は掲示にて告知する。別表に掲げる資格取得単位を既に修得している者、または当該学期末に修得見込みの者のみが申請申込みをすることが出来る。
 - 申請希望者は申請書を教務課で受け取る。
 - 申請希望者は教務課に申請書を提出し、認定料 5,500 円を払い込む。
 - 認定証の申請は、大学で一括して行う。
 - 教務課より申請者に認定証を配布する。
- 卒業年次でなくても資格認定が可能であるので、就職活動等に活用できる。

別 表

＜令和２年度入学生適用＞

1. 観光実務士 資格取得 必修科目（領域 1 から 2 単位、領域 2 から 4 単位、領域 3 から 2 単位）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	観光概論	I	必修	2	
領域 2	観光ビジネス実務論	II	選択	2	
	観光事業総論	I	選択	2	
領域 3	演習 I	III	必修	2	観光系のゼミ

2. 観光実務士 資格取得 選択科目（領域 1・領域 2・領域 3 から 12 単位以上）

科目名		配当年次	本学による区分	単位数	備考
領域 1	国際観光交流論	I	選択	2	
	ホスピタリティ精神論	I	必修	2	
	キャリアデザイン入門	I	必修	2	
領域 2	観光マーケティング論	II	選択	2	
	環境ツーリズム論	II	選択	2	
	宿泊事業論	III	選択	2	
	航空ツーリズム論	III	選択	2	
	WEB トラベル・プレゼンテーション	III	選択	2	
	観光英検 2 級	I	選択	1	
領域 3	インターンシップ（国内）	III	選択	2	

<令和元年度以前入学生適用>

1. 観光ビジネス実務士 資格取得 必修科目 (2科目 4単位)

科目名	配当年次	本学による区分	単位数	備考
観光概論	I	選択	2	
観光ビジネス実務論	II	選択	2	

2. 観光ビジネス実務士 資格取得 選択科目 (I、II、III群から4単位以上 計20単位以上)

科目名	配当年次	本学による区分	単位数	備考
I 群	観光事業総論	II	選択	2
	観光マーケティング論	III	選択	2
	環境ツーリズム論	II	選択	2
II 群	宿泊事業論	III	選択	2
	航空ツーリズム論	III	選択	2
	インターンシップ(国内)	III	選択	2
	観光英検3級	I	選択	1
	観光英検2級	I	選択	1
III 群	日本語表現法	I	必修	2
	ホスピタリティ精神論	I	必修	2
	キャリアデザイン入門	I	必修	2
	演習I	III	必修	2 観光系のゼミ

認定心理士

1 「認定心理士」の正式な名称は「日本心理学会認定心理士」といい、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」、と日本心理学会が認定した人のことである。

2 公益社団法人日本心理学会認定心理士認定資格細則に基づき、本学学生は以下の条件を満たしている場合に申請が可能である。

(1) 16歳以降少なくとも2年以上日本国に滞在した経験を有する者。

(2) 本学において、別表の一覧に掲げる科目を履修し、必要単位を修得し、卒業した者。

※(1)(2)の条件を卒業見込みの学年度において満たしている者は、申請をすることができる。

必要単位については以下のとおりである。

ア 別表の科目名について以下の条件を考慮しながらa～hの合計36単位以上を修得すること。

イ 「基礎科目」a、c領域それぞれ4単位以上、b、c領域の合計が8単位以上となること。なお、c領域の科目について、実験的方法で知覚や認知、社会などの基本的な内容の課題を4つ以上含む計6課題について標準的レポートを作成していること。

ウ 「選択科目」d、f、gの3領域で各領域4単位以上修得し、「選択科目」が合計16単位以上を満たしていること。

エ d、f、g3領域の各領域で少なくとも4単位以上「基本主題」に属する単位であること。

オ 残り8単位はa～hの任意の科目で充当すること。

(3) 科目等履修生は、4年制の大学を卒業した者で、上記の必要単位数を修得した者のみが申請を認められる。

3 単位に関する注意

各領域ごとに「基本主題」「副次主題」という項があるが、前者は資格にとって重要な必修知識または技術を意味し、後者は「基本」とは認められないがその範疇に入れることのできる単位とみなされる。よって、「基礎科目」や「選択科目」として単位を算定する場合は、この「基本」と「副次」という類別に基づいて前者は大学で修得した単位数そのまま、後者は修得単位数の2分の1が認定の対象とされることになる。

4 申請の方法

2の資格条件を満たし、必要全科目を修得済みの4年次生は、卒業前に認定心理士の「仮認定」を受けることができる。

「仮認定」を申請したい学生は、下記のとおり手続きをすること。

(1) 教務課で「認定心理士申請書類セット」(200円)を入手する。

(2) 申請書類を作成する。

申請書類作成に関しては、「認定心理士申請書類セット」の中に含まれている「申請書類作成について」の書類をよく読むこと。

(3) 申請書類が整ったら審査料10,000円を振り込んで、認定委員会に審査を申し込む。

(審査には3か月程度かかる。)

(4) 仮認定料30,000円を払い込む。

(5) 卒業後に、卒業証明書を認定委員会に送付することにより、「認定心理士証」が交付される。

(卒業できなかった場合、再度認定手続きを行うことになる。)

申請手続きを行う前に再度公益社団法人日本心理学会ホームページを確認すること。

<https://psych.or.jp/>

別表 認定心理士認定資格所要単位と本学開設科目の対照表

〈平成30年度以降入学生適用〉

認定心理士認定資格細則に定める科目名および所要単位				左記に対応する本学の開講科目		
科目			単位	本学授業科目	単位	配当年次
基礎科目	a 心理学概論	基本主題	2	心理学概論	2	I
		副次主題	1	発達心理学	2	I
			1	臨床心理学概論	2	II
	b 心理学研究法	基本主題	2	心理学統計法	2	II
			2	心理調査・データ処理法	2	II
			2	心理学研究法	2	III
		副次主題	1	統計学入門	2	I
	c 心理学実験実習	基本主題	2	心理学実験	2	II
			2	心理的アセスメント	2	II
		副次主題	0.5	臨床心理学実習（心理テスト法）	1	III
			0.5	心理学的支援法	1	III
選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	基本主題	2	知覚・認知心理学	2	II
			2	学習・言語心理学	2	II
	e 生理心理学・比較心理学	基本主題	2	神経・生理心理学	2	II
	f 教育心理学・発達心理学	基本主題	2	教育・学校心理学	2	I
			2	乳幼児心理学	2	II
	g 臨床心理学・人格心理学	基本主題	2	感情・人格心理学	2	I
			2	司法・犯罪心理学	2	II
			2	心理演習	2	IV
	h 社会心理学・産業心理学	基本主題	2	社会・集団・家族心理学	2	III
			2	産業・組織心理学	2	IV
その他	i 心理学関連科目 卒業論文・卒業研究	基本主題	4	卒業研究	4	IV

※「その他」i 心理学関連科目卒業論文・卒業研究は申請する時に修得単位として認められるが、a～hの科目を36単位修得しておくこと。

〈平成29年度入学生適用〉

認定心理士認定資格細則に定める科目名および所要単位				左記に対応する本学の開講科目		
科目			単位	本学授業科目	単位	配当年次
基礎科目	a 心理学概論	基本主題	2	心理学概論	2	I
			2	教育心理学	2	I
		副次主題	1	発達心理学	2	I
			1	臨床心理学	2	II
	b 心理学研究法	基本主題	2	心理統計学	2	II
			2	心理調査・データ処理法	2	II
		副次主題	1	統計学入門	2	I
	c 心理学実験・実習	基本主題	2	心理学基礎実験	2	II
			2	心理検査法実習	2	II
		副次主題	0.5	臨床心理学実習1（心理テスト法）	1	III
			0.5	臨床心理学実習2（カウンセリング法）	1	III
選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	基本主題	2	感情心理学	2	II
			2	認知心理学	2	II
			2	ことばの発達・学習	2	II
	e 生理心理学・比較心理学	基本主題		対応科目なし		
	f 教育心理学・発達心理学	基本主題	2	心理学文献講読1	2	III
			2	学習・発達論	2	II
			2	乳幼児心理学	2	II
	g 臨床心理学・人格心理学	基本主題	2	性格心理学	2	I
			2	人格発達障害論	2	III
			2	教育相談（カウンセリングを含む）	2	III
			2	情緒・学習障害の心理	2	III
		副次主題		対応科目なし		
	h 社会心理学・産業心理学	基本主題		対応科目なし		
その他	i 心理学関連科目 卒業論文・卒業研究	基本主題	4	卒業研究	4	IV

※「その他」i 心理学関連科目卒業論文・卒業研究は申請する時に修得単位として認められるが、a～hの科目を36単位修得しておくこと。

公認心理師

- 1 「公認心理師」とは、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって心理に関する支援を行う、心理職の国家資格である。
- 2 公認心理師法に基づき、以下の3つの条件を全て満たした場合に「公認心理師」資格を取得することができる。
 - (1) 大学において、心理学及びその他の公認心理師となるために必要な科目として公認心理師法施行規則で定める別表の25科目を修めて卒業した者。
 - (2) 大学院において、必要な科目を修めてその課程を修了した者、又は文科大臣・厚労大臣が認めるプログラムにのっとって業務が実施されている施設において、2年以上の実務経験を有する者。
 - (3) 上記(1)(2)の条件を満たした場合に、公認心理師試験受験資格が与えられるが、その試験を受験し合格した者。

別表 公認心理師資格取得のために本学で修得が必要な科目と単位数

科目コード	科目名	配当年次	本学による区分	単位数
17843	公認心理師の職責	IV	選択	2
11317	心理学概論	I	選択	2
17327	臨床心理学概論	II	選択	2
17387	心理学研究法	III	選択	2
17339	心理学統計法	II	選択	2
17342	心理学実験	II	選択	2
17331	知覚・認知心理学	II	選択	2
17447	学習・言語心理学	II	選択	2
17311	感情・人格心理学	I	選択	2
17827	神経・生理心理学	II	選択	2
17399	社会・集団・家族心理学	III	選択	2
17201	発達心理学	I	必修	2
17783	障害者・障害児心理学	II	選択	2
17344	心理的アセスメント	II	選択	2
17383	心理学的支援法	III	選択	1
17835	健康・医療心理学	III	選択	2
17543	福祉心理学	IV	選択	2
17411	教育・学校心理学	I	選択	2
17831	司法・犯罪心理学	II	選択	2
17847	産業・組織心理学	IV	選択	2
17855	人体の構造と機能及び疾病	IV	選択	2
17851	精神疾患とその治療	IV	選択	2
17859	関係行政論	IV	選択	2
17839	心理演習	IV	選択	2
17861	心理実習	III	選択	2

※ 心理実習は最大10名の参加とし、原則としてG.P.A.3.0以上の学生を対象とします。

学生に関する 規 程 一 覧

・ 学費に関する規程	P. 339
・ 給付奨学金規程	P. 339
・ ステラ・マリス奨学生に関する規程 ...	P. 340
・ 試験に関する規程	P. 341
・ 卒業研究に関する内規	P. 341
・ 学生の留学に関する規程	P. 342
・ 科目等履修生に関する規程	P. 343
・ 聴講生に関する規程	P. 343
・ 転科に関する規程	P. 344
・ 健康診断規程	P. 344
・ 保健センター規程	P. 344
・ 図書館規程	P. 345
・ 図書館利用規程	P. 345
・ 図書管理規程	P. 346

学費に関する規程

- (目的)
- 第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学学則第49条に基づき、学費の取扱いに関する必要事項を定めることを目的とする。
- 2 入学初年度の学費の納入については、入学志願者募集要項に示したとおりとする。
- (学費)
- 第2条 学費の費目及び額は、別表のとおりとする。
- (学費の納入)
- 第3条 学費は、所定の金額を春学期、秋学期に分け、春学期分は4月1日から4月30日まで、秋学期分は10月1日から10月31日までの間に納入する。
- 2 前項の規定に拘わらず、特別の事情がある場合は、分納又は延納することができる。分納又は延納を希望する者は、原則として、各学期の開始までに願い出、承認を得なければならない。
- 3 納入した学費は、返還しない。
- (単位の付与及び卒業)
- 第4条 学費の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者は除籍することができる。
- 2 学費未納入期間の単位の修得は認められない。この場合、原則として卒業見込証明書の発行は、行わない。
- 3 所定の学費を完納した後でなければ卒業することができない。
- (学籍異動に伴う学費の納入)
- 第5条 修業年限を超えた者で、未修得単位が春学期又は秋学期のみで修得できる場合の学費は、その学期の学費のみとする。
- 2 修業年限を超えた者で、春学期又は秋学期の登録単位がそれぞれ4単位以下の場合は、その学期の学費の半額とする。

- 第6条 学期の途中において休学又は復学する者は、その学期の学費を納入しなければならない。
- 2 春学期又は秋学期若しくは学年を通じて休学する場合は、在籍料として、一学期60,000円、年間120,000円を納入しなければならない。
- 第7条 学期の途中で退学する者は、その学期の学費を納入しなければならない。
- (規程の改廃)
- 第8条 この規程の改廃は、理事会が決定する。
- 別 表 (第2条関係)

学 科	費 目	金 額
英語観光学科	入学金	300,000
	授業料(年額)	840,000
	施設設備費(年額)	200,000
心理こども学科	入学金	300,000
	授業料(年額)	840,000
	施設設備費(年額)	200,000

※ 編入学生に適用する学費は、編入する学年に適用されている学費と同額とする。

給付奨学金規程

- (目的)
- 第1条 この規程は、本学の学生で、修学の熱意はありながら、経済的理由により修学が困難と認められた者に対して、修学を継続させることを目的とする。この規程による奨学金は給付とする。
- (種別)
- 第2条 給付奨学金は、1種給付奨学金、2種給付奨学金、緊急給付奨学金の3種類とする。
- (年額及び採用者数)
- 第3条 1種給付奨学金の額は、年間授業料の2分の1とし、採用者数は4名以内とする。(各学年1名で在学中に1回限りを原則とする。)
- 2 2種給付奨学金の額は、年間授業料の4分の1とし、採用者数は4名以内とする。(各学年1名で在学中に1回限りを原則とする。)
- 3 緊急給付奨学金の額は、年間授業料の2分の1とし、採用者数は若干名とする。(在学中に1回限りを原則とする。)
- (出願資格)
- 第4条 給付奨学金を受ける者(以下「奨学生」という。)の資格は、神戸海星女子学院大学に在籍する学生で、向学心に富むが、学資の支弁の困難な者とする。学力および家計基準については、別に定める。
- (募集)
- 第5条 奨学生の募集は、1年1回、一定の期間掲示により募集する。なお、緊急給付奨学金申請の場合は、この限りではない。
- (申請手続)
- 第6条 この規程により、1種又は2種給付奨学金を受けようとする者は、所定の期日までに書類を提出しなければならない。
- (1) 願書(所定様式)
- (2) 家庭の経済状況を証明するもの
- 2 緊急給付奨学金を受けようとする者は、前項(1)(2)の書類の他に大

- 学の定める書類を提出しなければならない。
- (選考)
- 第7条 奨学生の採用は、日本学生支援機構基準を参考に、学生委員会で選考し、学長が決定する。
- (採用手続)
- 第8条 奨学生として採用された者はすみやかに所定の手続を取り、誓約書を提出しなければならない。手続を怠った場合は、採用を取り消すものとする。
- (奨学金の給付)
- 第9条 奨学金の給付は、採用手続完了後、届出口座へ振込みで行う。ただし、奨学金給付決定後、当該時点において納付すべき学納金に未納がある場合、奨学金の一部又は全部を届出口座へ振り込むことなく学納金に充当することがある。
- (奨学金の取消し及び返還)
- 第10条 学長は、奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、学生委員会の議を経て、奨学金の給付を取消し、返還を求めることがある。
- (1) 休学又は退学となったとき、もしくは除籍となったとき
- (2) 願書及び提出書類に虚偽の記載を行ったとき
- (3) その他奨学生の資格に著しく欠けるものがあると認められたとき
- (4) 奨学金を必要としなくなったとき
- (規程の改廃)
- 第11条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、理事会の議決を要する。

国の「高等教育の修学支援新制度」(令和2年4月開始)において授業料等の減免を受ける学生が本学の制度を併用する場合、調整を行います。

ステラ・マリス奨学生に関する規程

- (目的)
- 第1条 この規程は、ステラ・マリス奨学生の認定に関する事項を定めることを目的とする。
- (申請資格)
- 第2条 申請資格については以下のとおりである。
- (1) 1年以上在籍していること。
 - (2) 学生生活でクラブや学校行事及び大学の広報活動に積極的であること。
 - (3) 2～4年次春学期の申請については、前学期に18単位以上を修得し、G.P.A.が3.4以上であること。
 - (4) 成績が全学生中、上位5%以内であること。
 - (5) 4年次秋学期の申請については、3年次春・秋学期ともに18単位以上を修得し、成績が基準を満たしていることを条件とし、4年次春学期の学校行事及び大学の広報活動と演習Ⅲの出席状況、成績を考慮する。
 - (6) 英語観光学科の学生の場合、TOEICにおいて別表2に示す所要の得点を達成していること。
 - (7) 心理こども学科の学生の場合、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の資格取得等を明確な目標としていること。
- (授業料の減免)
- 第3条 授業料の減免額は別表1を目安として学内活動等を合わせて評価し、決定する。
- 2 本学の給付奨学金規程及び貸与奨学金規程に定められた奨学金と重複して、減免を受けることはできない。
- (申請手続き)
- 第4条 申請資格を有する学生で、ステラ・マリス奨学生として授業料の減免を受けようとする者は、授業料免除申請書に所要の事項を記入して教務課に提出をするものとする。
- (選考)
- 第5条 授業料免除者の選考委員は、大学改革運営会議の構成員とする。
- 2 選考は、大学改革運営会議構成員のうち学長から指名された委員が、学修計画や学内のクラブ及び学校行事等での活動について面談して調

- 査し、各申請者の可否と免除額についての意見を学長に伝える。
- 3 採用は、選考委員の意見を参考として、学長が決定する。
- 4 ステラ・マリス奨学生に採用された学生は、所定の宣誓書を提出しなければならない。
- (奨学生の心構え)
- 第6条 ステラ・マリス奨学生は、適宜、教務部長に学修状況を報告しなければならない。
- 2 ステラ・マリス奨学生は、オープンキャンパス、進学相談会及びクラブ活動等に積極的に参加して、大学行事において主導的役割を果たすよう努めなければならない。
- (規程の改廃)
- 第7条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、理事会で決定する。

別表1 (第2条関連)
前学期のGPAに伴う学費免除額の目安

GPAの基準	授業料の免除額
3.8以上	全額免除
3.6以上	半額免除
3.5以上	10万円免除
3.4以上	5万円免除

- 各学科の全学生中上位5%以内であること(申請を希望する者は教務課で確認すること)
- 4年次生は3年次の春・秋学期両方のG.P.A.が基準値以上の者。
- 別表2 (第2条関連)
英語観光学科のTOEIC申請条件

2年次	500点以上
3年次	550点以上
4年次	600点以上

学生の留学に関する規程

- (目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学（以下「**本学**」という）学生の外国の大学等への長期、中期、短期留学、特別認定留学、認定留学及び交換留学に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

(留学先、期間及び留学資格)

第2条 留学先、期間及び留学資格については、別表のとおりとする。

(応募書類)

第3条 応募に必要な書類は、次のとおりとする。

(1) 長期、中期留学

・応募申込書 ・留学計画書 ・健康診断書 ・その他関係書類

(2) 短期留学

・応募申込書

(3) 特別認定留学

・応募申込書 ・留学計画書 ・健康診断書 ・その他関係書類

(4) 認定留学

・認定留学申請書 ・留学計画書 ・研修内容を明示したパンフレットの写し

(5) 交換留学

・応募申込書 ・留学計画書 ・健康診断書 ・その他関係書類

(書類の提出・審査)

第4条 留学に応募する者は、前条に定める書類を教務課に提出し、国際交流委員会及び在籍学科会議において留学の可否の審査を受けなければならない。

2 国際交流委員会は、前項の審査結果を学長に報告し、学長が留学の可否を決定する。

(留学中の学費等)

第5条 留学を許可された者は、在学中と同額の学費を本学に納入するものとする。

2 英語観光学科在籍の留学を許可された者に対して、留学費用を補助するため、留学奨学金又は留学支援金を給付する。

3 英語観光学科学生対象の留学奨学金・支援金の取扱いについては、
- 別に定める。

4 認定留学を留学支援金の対象外とする。

5 霊山大学への留学に関しては、交換留学であるため、留学先での学費は本学に納入した学費を充当する。

(単位認定願)

第6条 帰国した学生が、留学先で修得した単位を本学の単位として認定を受けようとする場合は、単位認定願に留学先が作成した成績証明書等を教務課に提出し、国際交流委員会及び在籍学科会議において単位認定の審査を受けなければならない。

(単位の認定)

第7条 留学先で修得した単位は、それぞれ所定の単位を超えない範囲で、本学において修得したものとして読み替えることができる。

ただし、それぞれ所定の単位を超えない範囲とは、次のとおりとする。

・長期留学

30単位（読替）

・中期留学

15単位（読替）

・短期留学

4単位（学外科目）

・認定留学

2単位（学外科目）

・特別認定留学

長期の場合30単位（読替）
中期の場合15単位（読替）

在学中の読替単位は、30単位までとする。

2 認定留学については、留学先において60時間以上の授業を受講するとともに、帰国後2週間以内に修了証書及び授業プログラムを教務課に提出しなければならない。なお、単位の認定は、夏季休業期間中に留学した場合は、当該年度の秋学期、春季休業期間中に留学した場合は、翌年度の春学期とする。

3 国際交流委員会は、認定願及び添付書類の審査を行う他、必要のある場合は、試験等を行うことができる。

4 国際交流委員会は、前項の審査結果を学長に報告し、学長が単位認定の可否を決定する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

別表 （第2条関連）

区 分	留 学 先	期 間	留 学 資 格
長期留学	・コロラド州立大学（アメリカ） ・リーズ・トリニティ大学（イギリス）	約8カ月間、ただし復帰する学期の開始に支障がない期間延長が可能	1 年次修了後の学生で次の条件を満たす者 ・本学が指定する試験を受け一定のレベルに達している者 ・留学の趣旨を本人及び保護者が理解する者
中期留学		春学期又は秋学期の4カ月間、ただし復帰する学期の開始に支障がない期間延長が可能	
短期留学	・クィーンズランド大学（オーストラリア） ・トリニティ・ウエスタン大学（カナダ）	夏季休業期間中の約4週間	本学学生で次の条件を満たす者 ・留学の趣旨を本人及び保護者が理解する者 ・海外での研修に耐える心身の健康を持ち合わせている者
認定留学	大学、大学附属語学学校及び専門学校等から学生の希望により選定、ただし、本学が特別に認定した留学先を除く	夏季休業期間中又は3月中	
特別認定留学	・カンタベリー・クライスト・チャーチ大学（イギリス） ・クィーンズランド大学（オーストラリア） ・オカナガン・カレッジ（カナダ） ・レーン・コミュニティ・カレッジ（アメリカ）	・中期 春学期又は秋学期の3～4カ月間 ・長期 9カ月間 ※ただし中・長期とも復帰する学期の開始に支障がない期間延長が可能	1 年次修了後の学生で次の条件を満たす者 ・本学が指定する試験を受け一定のレベルに達している者 ・留学の趣旨を本人及び保護者が理解する者
交換留学	霊山大学（韓国）	・中期 春学期又は秋学期の約4カ月間 ・長期 約8カ月間 ※ただし中・長期とも復帰する学期の開始に支障がない期間延長が可能	1 年次修了後の学生で次の条件を満たす者 ・本学が指定する試験を受け一定のレベルに達している者 ・留学の趣旨を本人及び保護者が理解する者

科目等履修生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学学則45条に基づき、科目等履修生に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(提供科目)

第2条 広く一般社会人に学修の機会を提供するため、本学の特定の授業科目の履修を希望する者があるときは、学長は教務部長に諮り、科目等履修生としてこれを許可することができる。ただし、原則として、卒業研究及び演習を履修することはできない。

2 教職課程及び保育士養成課程、その他免許資格取得に必要な科目の履修は本学の卒業生に限ることとする。

(履修資格)

第3条 科目等の履修を希望する者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1) 高等学校の卒業者

ただし、3年次、4年次配当科目については、短期大学を卒業した者又は大学において2年間の課程を修了した者

(2) 上記(1)と同等の学力があると認められる者

(履修手続)

第4条 科目等の履修を希望する者は、検定料を添えて次の書類を提出しなければならない。

(1) 科目等履修願書

(2) 履歴書

(3) 健康診断書

(4) 科目等の履修資格を有することの証明書

(履修期間)

第5条 科目等履修の期間は半年とし、継続履修を希望するときは、改めて願出しなければならない。

(履修単位)

第6条 科目等履修生が1学期間に履修できる科目等の単位数の合計は、10単位以内とする。

(単位認定)

第7条 科目等履修生が、受講した授業科目の試験を受けて合格すれば、当該授業科目の単位を認定する。ただし、科目等履修生としての在籍期間は、本大学の正規の在学期間に加えることはできない。

(受講料)

第8条 科目等の履修を許可された者は、受講料を納入しなければならない。その金額は別途これを定める。

(履修生証)

第9条 科目等履修生は、履修生証の交付を受け、これを携帯しなければならない。ただし、科目等履修生には学生運賃割引証の交付等、正規学生と同様の特典は認められない。

(義務)

第10条 科目等履修生は、本大学の諸規則を遵守しなければならない。なお、履修生としてふさわしくない行為があった者には、科目等履修の許可を取り消すことがある。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

聴講生に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学学則46条に基づき、聴講生に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(提供科目)

第2条 本学の特定の授業科目について、聴講を希望する者があるときは、学長は教務部長に諮り、聴講生としてこれを許可することができる。ただし、原則として、卒業研究、演習、実験・実習を伴う科目、及び教職課程並びに保育士養成課程については、聴講を認めない。

(聴講資格)

第3条 聴講を希望する者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

(1) 高等学校卒業者

(2) その他、上記と同等の学力があると認められる者

(聴講手続)

第4条 聴講を希望する者は、検定料を添えて次の書類を提出しなければならない。

(1) 聴講願書

(2) 履歴書

(3) 健康診断書

(4) 聴講の資格を有することの証明書

(聴講期間)

第5条 聴講の期間は半年とし、聴講継続を希望するときは、改めて願

い出なければならない。

(聴講科目数)

第6条 聴講生が1学期間に聴講できる科目数は、6単位相当以内とする。

(単位認定)

第7条 聴講生は受講した授業科目の試験を受けることができる。また、試験に合格した授業科目については、願出に基づき証明書を発行するが、単位は与えられない。

(受講料)

第8条 聴講を許可された者は、聴講料を納入しなければならない。その金額は別途これを定める。

(聴講生証)

第9条 聴講生は、聴講生証の交付を受け、これを携帯しなければならない。ただし、聴講生には学生運賃割引証の交付等、正規学生と同様の特典は認められない。

(義務)

第10条 聴講生は本大学の諸規則を遵守しなければならない。なお、聴講生としてふさわしくない行為があった者には、聴講の許可を取り消すことがある。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は教授会の議を経て、学長が行う。

転科に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学学則第10章第39条の2に基づき、転科について必要な事項を定めるものとする。

(許可)

第2条 転科は、転科希望対象学科に欠員があり、教育上支障を生ずる恐れがない場合に許可される。ただし、第2志望で入学した学生には、原則として転科は認められない。

(転科願)

第3条 秋学期からの転科を希望する場合は当該年度の7月末までに、春学期からの転科を希望する場合は前年度の1月末までに、別紙様式により、学長にその旨を願い出なければならない。

第4条 転科願を提出する前に、担任教員と面談し、許可を得なければならない。

(審査)

第5条 転科の可否は、学長、教務部長、両学科主任が面接を行い、その結果を教授会に報告し、教授会で審議・決定する。

(回数)

第6条 転科は、各学生につき1回しか許可されない。

(在籍年次)

第7条 転科した者は、在籍年数の年次に所属する。転科に伴う単位認定については、別に定める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

健康診断規程

(趣旨)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学の学生に対する健康診断及び事後措置等について必要な事項を定めるものとする。

(実施機関)

第2条 健康診断は、神戸海星女子学院保健センター（以下「保健センター」という。）が主管する。

(健康診断の種類)

第3条 健康診断は、定期健康診断及び臨時健康診断とする。

2 定期健康診断は、毎年定期に行う。

3 臨時健康診断は、保健センターが必要と認めたときに行う。

(受診の義務)

第4条 学生は健康診断を受けなければならない。

2 学生は、やむを得ない理由により健康診断を受けることができないときは、速やかに保健センター員に申し出て、指示を受けなければならない。

(健康診断の結果の通知)

第5条 保健センター員は、健康診断の結果を学長に報告するとともに、

学生に通知し健康に異常のある学生には必要な医療を受けるように指示するものとする。

(事後処理)

第6条 学長は、健康診断の結果、健康に異常があると通知された学生に対して保健センター員と協議のうえ、学生の健康回復に必要な指導を行わなければならない。

2 健康診断の結果、健康に異常が認められた学生は、前項の指導に従わなければならない。

(健康診断票)

第7条 健康診断の結果は、健康診断票に記録し、卒業後5年間はこれを保存するものとする。

(証明書の発行)

第8条 第3条の健康診断を受けた者が、健康診断証明書の発行を願い出たときは、健康診断証明書を発行するものとする。

(規程の改廃)

第9条 この規程は、教授会の議を経て、学長が行う。

保健センター規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院保健センター（以下「保健センター」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 保健センターは、神戸海星女子学院の児童、生徒、学生及び教職員の心身の健康維持及び増進を図ることを目的として設置する。

(業務)

第3条 保健センターは、次の業務を行う。

(1) 定期及び臨時の健康診断に関すること。

(2) 救急処置に関すること。

(3) 健康相談及び保健の指導助言に関すること。

(4) 学生の健康診断証明書の発行に関すること。

(5) その他保健管理に関すること。

図 書 館 規 程

(名称及び目的)

第1条 神戸海星女子学院大学学則第52条第2項の規程に基づき、本学に神戸海星女子学院大学図書館（以下「図書館」という。）を置く。

2 図書館は研究・教育に必要な資料を組織的に保管・管理し、本学教職員、学生、その他図書館館長（以下「館長」という。）の許可を得た者に対し、情報サービスを行い、本学の研究・教育の円滑な実施に寄与することを目的とする。

3 本学の研究・教育に必要な資料（以下「資料」という。）はすべてを図書館に収蔵する。
(館長)

第2条 図書館に館長を置く。

2 館長は学長が教授会に諮ったうえ、理事会の承認を得て、理事長がこれを任命する。

3 館長は学長の委任を受け、館務を総括する。

4 館長の任期は3年とする。

(事務職員)

第3条 図書館に事務職員等を置く。

2 事務職員等の職務区分及び事務分掌規程、業務細則については別に定める。

3 図書館に課長又は係長をおくことができる。

4 課長又は係長は、学長と事務長が合議のうえ、理事会に推薦し、理事会の承認を得て、これを任命する。

5 課長又は係長は、館長の命を受け、館務を処理する。
(図書委員会)

第4条 図書館に館長の諮問及び資料の購入選択のための機関として、図書委員会を置く。

2 図書委員会については、図書委員会規程に定める。

(図書資料の管理)

第5条 図書資料の管理については、図書管理規程に定める。

(図書館利用)

第6条 閲覧・帯出等利用については、図書館利用規程に定める。

(規程の改廃)

第7条 本規程の改正には、館長がこれを提案し、教授会の議を経た後、理事会の承認を得なければならない。

図 書 館 利 用 規 程

(目的)

第1条 神戸海星女子学院大学図書館規程第6条にもとづく図書館利用については、この規程の定めるところによる。

(利用者の資格)

第2条 図書館を利用することができるものは、次の各号に掲げるものとする。

(1) 学校法人海星女子学院の教職員

(2) 神戸海星女子学院大学（以下「本学」という。）の学生

(3) 神戸海星女子学院高等学校（以下「高校」という。）の生徒

(4) 本学及び高校の卒業生

(5) その他、特に館長が許可した者

(身分証明証等の提示)

第3条 図書館を利用する者は、次の証明証を携行しなければならない。

(1) 本学教職員及び学生は身分証明証

(2) 本学卒業生は利用許可証

(3) 前条第4号に該当する者は館長が交付する利用許可証

2 前項の証明証等は、図書館職員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

(休館日)

第4条 定期休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 大学が定める休日

(3) 夏季・冬季休業中の一定期間

(4) 蔵書整理日（毎月1回）

2 臨時に休館するときは、そのつど館長が定めて掲示する。

(開館時間)

第5条 開館時間は、授業のある期間は図書館利用案内に示し、授業のない期間は9時から17時とする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めたときは、開館時間を臨時変更することがある。

(館内利用)

第6条 図書資料は原則として開架されているから、利用者は自由に書架から取り出して閲覧することができる。閲覧が終われば、返却台に戻さなければならない。

2 開架されてない図書資料を閲覧するには、身分証明証を係員に提出しなければならない。

(館外利用)

第7条 第2条によって利用資格を認められた者は、係員から渡された

図書資料を館外に帯出することができる。ただし、本学教職員を除き次の各号に掲げる図書資料は帯出を許されない。

(1) 禁帯出の印のある図書資料

(2) 新聞、雑誌、大学紀要

(3) その他、館長が帯出を不適当と認める図書資料

2 視聴覚資料及び機材は、館内で利用するものとし、貸出は行わない。ただし、館長が特に必要と認めるときは、所定の手続きにより貸出を受けることができる。

第8条 館外帯出の期間及び冊数は次のとおりとする。ただし、期間内であっても必要に応じて返却を求めることがある。

(1) 本学教職員 1年 30冊

(2) 本学学生及び高校生 14日 5冊

(3) 卒業研究用貸出 30日 5冊

(4) その他の利用者 30日 3冊

2 夏季・冬季休業中の本学学生に対する特別貸出期間は、別に定め、掲示板、ホームページに掲載する。

3 本学教員にあっても、年度末には資料を一度返納するものとする。

4 館長が必要と認めるときは、前項の帯出期間又は冊数について特別の取り扱いをすることができる。

5 卒業しようとする者は、卒業式の前日までに、帯出図書資料を返却しなければならない。

第9条 館外に帯出した図書資料は、帯出者が保管し、他人に転貸してはならない。

第10条 帯出期限を越えても返却しない者には、延滞日数だけ貸出を停止する。

第11条 督促を受けた者は、直ちに帯出図書資料を返却しなければならない。帯出期限から30日を超えても返却しない場合は、紛失とみなす。
(弁償)

第12条 図書資料を紛失又は著しく汚損したときは、現品をもって弁償しなければならない。ただし、事情によりこれに相当する代価を支払わせることがある。

(利用の停止)

第13条 この規程に違反した者は、利用を停止することがある。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、館長がこれを提案し、図書委員会及び教授会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

図 書 管 理 規 程

(目的)

第1条 この規程は、神戸海星女子学院大学図書館規程第5条に掲げる図書資料の収集及び管理の基準を定める。

(用語)

第2条 この規程にいう収集とは、図書資料の発注と検収をいい、管理とは、図書資料の登録、保管、点検及び除籍をいう。

(責任)

第3条 図書資料の収集及び管理の責任は、図書館長にある。

(図書資料の所属)

第4条 この規程にいう図書資料とは、神戸海星女子学院大学の資産に属する。

(資産区分)

第5条 図書資料は固定資産として計上する。ただし、次の各号に掲げるものは、固定資産とせず、消耗図書とする。

- (1) 事務用として使用するもの
- (2) 消耗度の高いもの
- (3) 長期保存を要しないもの
- (4) 個人研究費で購入したもの
- (5) その他、保存に適さないもの

2 第1項各号の認定は、司書の判断にもとづいて、館長がこれを行う。
(価格評価)

第6条 図書資料の価格は、取得に要する価格とする。

2 交換又は寄贈によるものについては、その定価による。ただし、定価表示のないもの、又は古書については、時価又は評価額によって算定する。

3 合冊製本されたものについては、各冊の製本代とする。

(収書)

第7条 収書については、図書委員会規程第3条に定めるところによる。
(発注)

第8条 図書資料を購入するときは、司書が発注書によって、これを行う。

2 価格を確認する必要があるときは、発注に先立って見積書をとらなければならない。

3 特に契約を必要とするときは、契約書をもって発注書にかえること

ができる。

(検収)

第9条 図書資料の受け入れに当たっては、発注書又は契約書と照合して、現品を検収しなければならない。

(登録)

第10条 検収された図書資料は、目録分類によって整理し、これに所定の蔵書印を押印し図書原簿に登録する。

2 第5条によって消耗図書とする図書資料は、その旨原簿において表示する。

(保管)

第11条 前条によって登録された図書資料は、所定の場所に保管される。

2 図書館以外の場所に保管されるものについては、帳簿に記録し、その所在を明確にしなければならない。

3 保管された図書資料の利用については、別に定める図書館利用規程による。

(点検)

第12条 保管の実状を確認するため、毎年一回点検を行う。

2 点検の結果について、館長は経理担当者及び学長に報告しなければならない。

(除籍)

第13条 固定資産とした図書資料で、次の各号に該当するものは、除籍することができる。

- (1) 紛失図書であって、所在不明となつてから3年を経過したもの
- (2) 破損、汚損または摩耗度が甚だしく修理不能のもの
- (3) 図書資料として価値を失ったもの

(除籍時の処理)

第14条 固定資産とした図書資料を除籍するときは、その事由を具し、図書委員会の議に附し、学長の承認を受けなければならない。

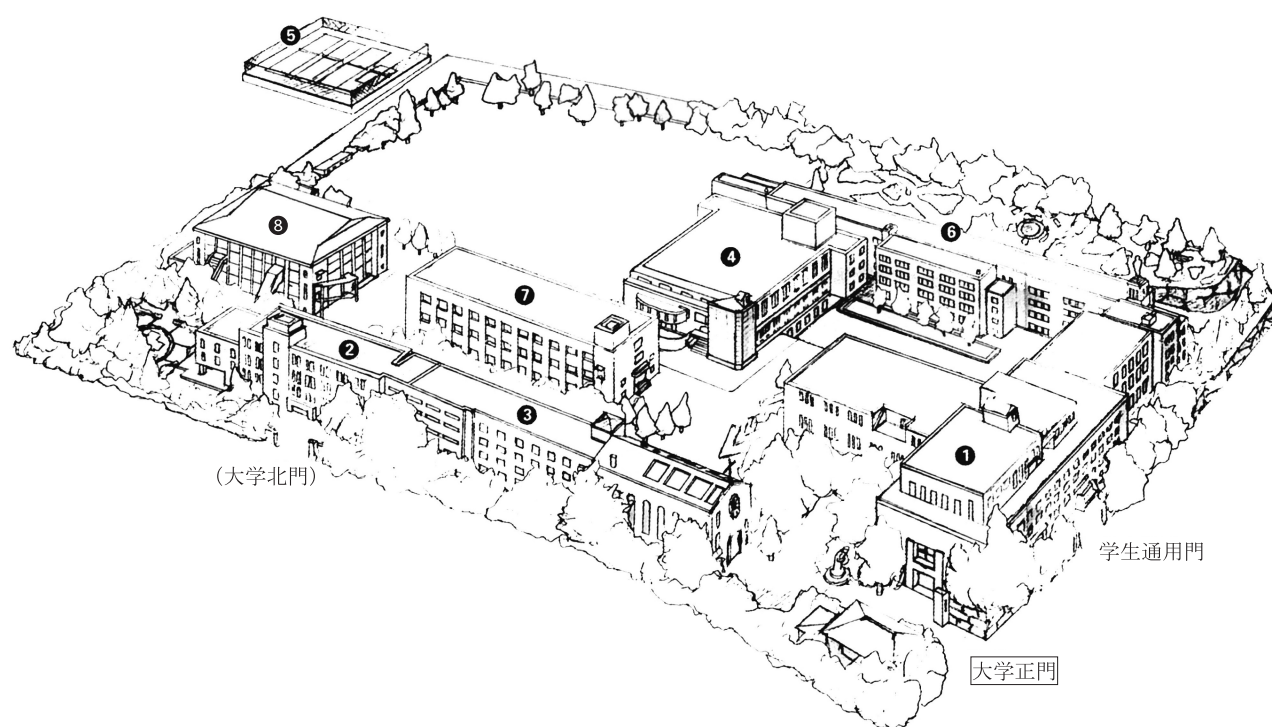
2 除籍した図書資料は、原簿から抹消され、除籍簿に記入される。

3 除籍した図書資料は、廃棄しなければならない。

(改廃)

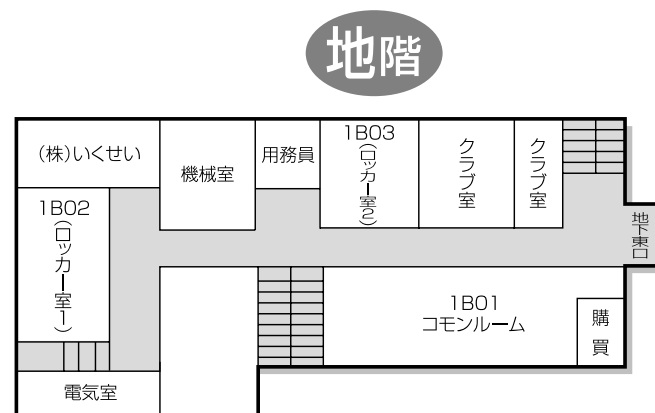
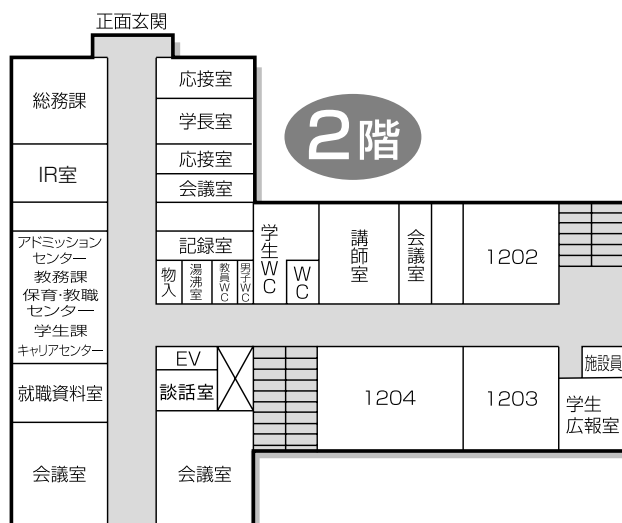
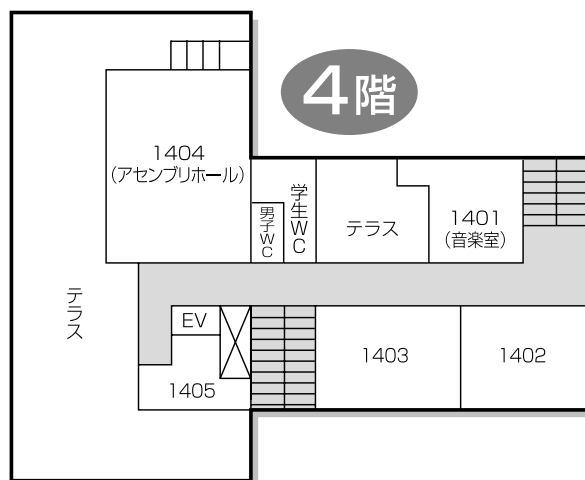
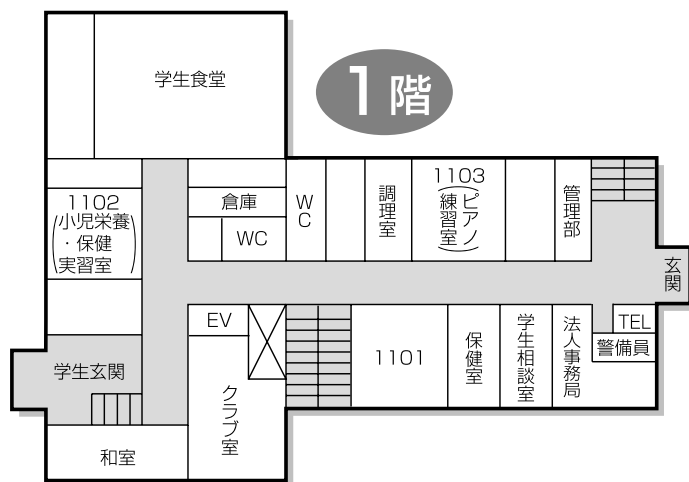
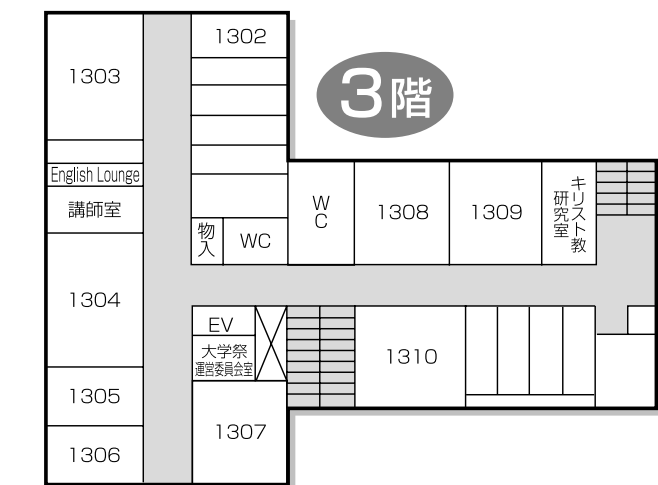
第15条 この規程の改廃は、館長がこれを提案し、大学の事務長と協議のうえ、学長の承認を得なければならない。

建 物 配 置 図



- ❶ 本館
- ❷ 2号館
- ❸ 図書館棟
- ❹ 講堂棟
- ❺ テニスコート
- ❻ 中学校・高等学校棟
- ❼ 小学校棟
- ❽ 小中高体育館

本館見取図

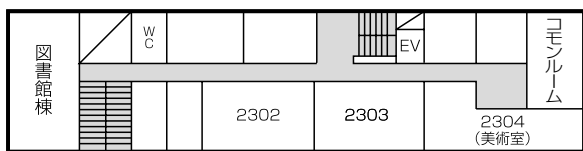


建
物
配
置
図

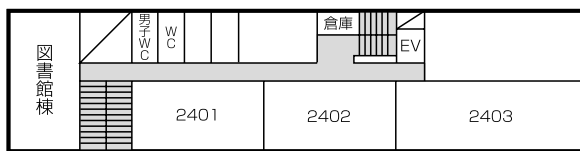
2 号 館 見 取 図



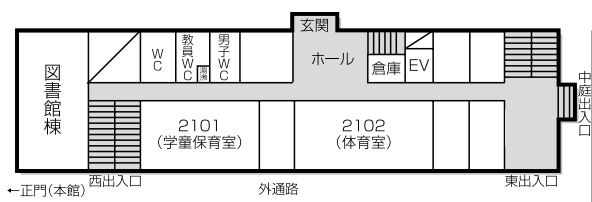
3階



4階



1階



2階

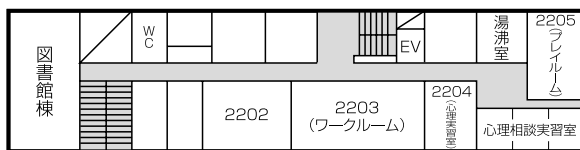


図 書 館 棟 見 取 図



3階



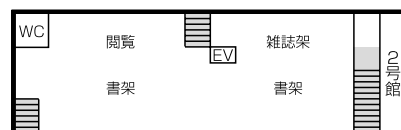
4階



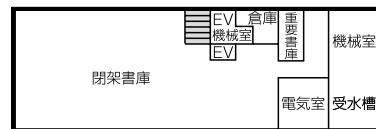
1階



2階



地階



神戸海星女子学院大学

〒657-0805 兵庫県神戸市灘区青谷町2-7-1
TEL 078-801-2277(代) FAX 078-801-5190